

NICS SYLLABUS

講義要項：2016 年（秋）

http://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/ic/jasin_nics/nics.html



VIA VERITAS VITA

長崎外国語大学
国際交流センター事務室

作成：2016 年 9 月 15 日

NICS 科目名一覧(2016 年秋)(A:秋学期開講科目)

日本語科目

科目名	担当者		単位	ページ
日本語 5A (口頭表現)	宮崎 聡子	(みやざき さとこ)	1	1
日本語 5A (文章表現)	小谷 裕子	(こたに ゆうこ)	1	3
日本語 5A (読解【漢字圏対象】)	和田 一菜	(わだ ひとな)	1	5
日本語 5A (読解【非漢字圏対象】)	田島 紀子	(たじま のりこ)	1	7
日本語 5A (聴解)	宮瀬 美紀	(みやせ みき)	1	9
日本語 6A (口頭表現)	未定		1	11
日本語 6A (文章表現)	小谷 裕子	(こたに ゆうこ)	1	13
日本語 6A (読解)	宮崎 聡子	(みやざき さとこ)	1	15
日本語 6A (聴解)	田島 紀子	(たじま のりこ)	1	17
日本語 7A (口頭表現)	川崎 加奈子	(かわさき かなこ)	1	19
日本語 7A (文章表現)	宮崎 聡子	(みやざき さとこ)	1	21
日本語 7A (読解)	未定		1	23
日本語 7A (聴解)	大谷 鉄平	(おおたに てっぺい)	1	25
応用日本語Ⅰ(落語)	川崎 加奈子	(かわさき かなこ)	1	27
応用日本語Ⅱ(論文読解)	宮崎 聡子	(みやざき さとこ)	1	29
応用日本語Ⅲ(古典日本語文法)	松本 真輔	(まつもと しんすけ)	1	31
応用日本語Ⅳ(時事日本語)	安田 真由美	(やすだ まゆみ)	1	33
応用日本語Ⅴ(論文作成)	新居田 純野	(にいだ すみの)	1	35
応用日本語Ⅵ(ビジネス日本語)	大谷 鉄平	(おおたに てっぺい)	1	37
応用日本語Ⅶ(日本の近・現代小説)	宮崎 聖乃	(みやざき きよの)	1	39
日中翻訳演習 1A	クラス1 楊 曉安	(よう ぎょうあん)	1	41
	クラス2 趙 紅林	(ちょう こうりん)		
日中翻訳演習 2A	楊 曉安	(よう ぎょうあん)	1	43
日韓翻訳演習 A	梁 正善	(やん じょんそん)	1	45
資格試験日本語 2A	田島 紀子	(たじま のりこ)	1	47
資格試験日本語 3A	宮崎 聖乃	(みやざき きよの)	1	49
漢字語彙 4A	非漢字圏 大谷 鉄平	(おおたに てっぺい)	1	51
	漢字圏 宮崎 聡子	(みやざき さとこ)	1	
ビジネス日本語 A	大谷 鉄平	(おおたに てっぺい)	1	55
講座日本事情 1A	堀川 瑛司	(ほりかわ えいじ)	2	57
講座日本事情 2A	大谷 鉄平	(おおたに てっぺい)	2	59
アクティブ日本事情 A	宮崎 聖乃	(みやざき きよの)	2	61

日本研究科目

科目名	担当者	単位	ページ
日本の文化 A	宮崎 賢太郎 (みやざき けんたろう)	2	63
日本の文学 A	常吉 幸子 (つねよし さちこ)	2	65
日本の社会 A	石川 昭仁 (いしかわ あきひと)	2	67
長崎と世界 A	本田 貞勝 (ほんだ さだかつ)	2	69
日本のビジネス A	庵谷 治男 (おおたに はるお)	2	71
自由課題研究 A	小島居 伸介 (ことりい しんすけ)	2	73
	野田 雄史 (のだ たけし)		
	松本 真輔 (まつもと しんすけ)		
NICS 特別演習 A	未定	2	—
実習・日本の伝統文化 1 ＜書道・茶道・将棋＞	出口 すゞ美 (でぐち すずみ) 高橋 富美子 (たかはし ふみこ) 下里 亘 (しもさと わたる)	1	75
実習・日本の伝統文化 2 ＜華道・着付・カルタ＞	白井 恭子 (しらい きょうこ) 藤間 弥寿幸 (ふじま やすゆき) 佐々木 美沙 (ささき みさ)	1	77
実習・日本の伝統文化 3 ＜琴＞	吉岡 雅翠 (よしおか がすい)	1	79
実習・日本の武道 ＜合気道・剣道・相撲講義＞	鎬木 幸次郎 (かぶらぎ こうじろう) 下里 亘 (しもさと わたる) Tiedemann, Mark	1	81

日本研究科目(英語で授業)

科目名	担当者	単位	ページ
Japanese Culture A	Grajadian, Maria	2	83
Seminar in Japanese Studies A	Grajadian, Maria	2	85
Japanese Linguistics A	Yamak, Pascal	2	87
Contemporary Japanese Literature A	Tiedemann, Mark	2	91
Peace Studies	Tiedemann, Mark	2	93
Japanese Literary History A	Marra, Claudia	2	95
Overview of Japanese History A	Marra, Claudia	2	97
Introduction to Japanese Society	Tiedemann, Mark	2	99
Japanese Business A	Umali, Celia	2	101
Japanese Management A	Umali, Celia	2	103
Japanese Film A	Gale, Paul	2	105
Modern Japanese History	Burke-Gaffney, Brian Tiedemann, Mark Kumar, Krishan	2	107
Nagasaki Fieldwork A	Himeno, Junichi (姫野 順一)	2	109
Teaching English as a Foreign Language (TEFL)	Kumar, Krishan	2	111

科目名	日本語 5A《口頭表現》			科目NO	300
担当教員	宮崎 聡子	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
			○	○	◎
履修要件	プレースメントテストでプレースされた短期留学生。				
科目規定	習熟度別に口頭表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。				
授業の概要	あるトピックについて、グループディスカッションを行い、ディスカッションの内容を踏まえて、自分の考えをまとめたエッセイを作成する。作成したエッセイは、クラス内で発表を行う。発表者は自己評価をし、聞いている人はコメントシートを書く。期末試験は行わず、エッセイ、発表、ディスカッション参加度で評価する。				
授業の目標	C: ディスカッションの内容を踏まえて、自分の考えをまとめたエッセイを作成することができる。 D: グループワークやペアワークで協調して作業を進めることができる。 E: 日常会話レベル以上の内容について、自分の意見や考えを述べることができる。				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習時間と内容の指示	
1	オリエンテーション／印象に残る自己紹介をしよう			復習(1 時間)	
2	家族について(トピック1:子供のころの思い出)			グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる (1 時間)	
3	家族について(トピック2:一人暮らし)			グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる／ 発表者は発表の準備(1 時間)	
4	結婚について(トピック3:理想時期)／トピック1発表			グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる／ 発表者は発表の準備(1 時間)	
5	結婚について(トピック4:役割)／トピック2発表			グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる／ 発表者は発表の準備(1 時間)	
6	家族・結婚についてまとめ／トピック3発表			復習／発表者は発表の準備(1 時間)	
7	教育について(トピック5:しつけは先生より先輩から)／トピック4発表			グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる／ 発表者は発表の準備(1 時間)	
8	教育について(トピック6:高校時代の思い出)			グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる／ 発表者は発表の準備(1 時間)	
9	教育について(トピック7:大学4 年間で何を)／トピック5発表			グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる／ 発表者は発表の準備(1 時間)	
10	教育についてまとめ／トピック6発表			復習／発表者は発表の準備(1 時間)	
11	若者と社会(トピック8:周りの目が気になることも)／トピック7発表			グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる／ 発表者は発表の準備(1 時間)	
12	若者と社会(トピック9:1 個ももらえなかったことも)			グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる／ 発表者は発表の準備(1 時間)	
13	若者と社会(トピック 10: 男だってきれいになりたいし)／トピック8発表			グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる／ 発表者は発表の準備(1 時間)	
14	若者と社会まとめ／トピック9発表			復習／発表者は発表の準備(1 時間)	
15	全体のまとめ／トピック10発表			復習(1 時間)	

評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など	
期末レポートなど			授業への参加度など	20
小テストなど			その他①()	
宿題など		40	その他②()	
プレゼンテーションなど		40	その他③()	
教科書	授業開始後指示する。			
参考文献等	授業開始後指示する。			
関連科目など	日本語5B/A 文章表現・聴解・読解			
履修の留意点	ここに記載したトピックは2014年度のものである。クラスの状態に応じて、扱うトピックの内容や順番を変更することがある。また、詳細な評価方法は授業開始後に改めて指示する。			
連絡先／オフィスアワー	宮崎 聡子 研究室:331 オフィスアワー:木曜4限 メール: smiyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			

科目名	日本語 5A 《文章表現》			科目NO	300
担当教員	小谷 裕子	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
○	○			◎	
履修要件	JASIN／NICSプログラムにおいて日本語5にプレイスされた学生				
科目規定	習熟度別に文章表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする				
授業の概要	日本語のポイントを学びながら短いエッセイを書く作業を通して、日本語の文章を書く力を伸ばす。授業で取り扱う課題の予習、エッセイ作成、発表の準備などの自宅学習も必須とする。また、場合に応じてグループワークによるエッセイの内容への意見交換や文章の修正などを行う。				
授業の目標	A: 既習未習の文法項目を確実に理解し、段落のある文章の中でそれらを正確に使いこなすことができる B: それぞれのエッセイへのpeer reviewを通して、論理的に考えたり問題を解決したりすることができる E: エッセイを作成する作業およびエッセイの発表と質疑応答などを通して、適切な表現を用いて文章を書いたり、自己の意見を的確に表現したりできる				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習の指示他	
1	シラバスの確認、自己紹介、自己紹介シート記入、グループでエッセイのテーマ決めのディスカッション			原稿用紙の使い方の確認、第3課「自動詞・他動詞・受身」と第4課「呼応」の予習(1時間)	
2	自動詞・他動詞の形のルール、自動詞・他動詞・受身の使い分け、副詞/接続詞/主語/疑問詞との呼応			400字程度のエッセイ(1)作成(1時間)	
3	エッセイ(1)の peer review (構成・内容・表現・文法・誤字等のチェック)			エッセイ(1)の修正・発表準備(1時間)	
4	エッセイ(1)の 発表、質疑応答、評価シート記入			第11課「辞書の危険性」と第12課「専門用語の選び方」の予習(1時間)	
5	文脈に合った言葉の選び方、学術的な文章を書く時の専門用語の選び方			400字程度のエッセイ(2)作成(1時間)	
6	エッセイ(2)の peer review、エッセイ(1)の返却(個人的に評価・解説)			エッセイ(2)の修正・発表準備(1時間)	
7	エッセイ(2)の 発表、質疑応答、評価シート記入			第15課「接続詞と文章の構成」と第16課「読み手への配慮」の予習(1時間)	
8	接続詞の使い方、情報不足でわかりにくい文章を直す方法			600字程度のエッセイ(3)作成(1時間)	
9	エッセイ(3)の peer review、エッセイ(2)の返却(個人的に評価・解説)			エッセイ(3)の修正・発表準備(1時間)	
10	エッセイ(3)の発表、質疑応答、評価シート記入			第18課「レポートの基本的な書き方」の予習(1時間)	
11	複雑な内容を整理して書く方法			600字～800程度のエッセイ(4)作成(1時間)	
12	エッセイ(4)の peer review、エッセイ(3)の返却(個人的に評価・解説)			エッセイ(4)の修正・発表準備(1時間)	
13	エッセイ(4)の発表、質疑応答、評価シート記入			エッセイ(4)の修正・発表準備(1時間)	
14	エッセイ(4)の発表、質疑応答、評価シート記入			小論文の作成メモの作成練習(1時間)	
15	まとめと振り返り			まとめと振り返り(1時間)	

評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)		30	授業時態度など		10
期末レポートなど			授業への参加度など		10
小テストなど			その他①(授業で書いたエッセイ)		20
宿題など		20	その他②()		
プレゼンテーションなど		10	その他③()		
教科書	『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』 スリーエーネットワーク				
参考文献等	『小論文への12のステップ』 スリーエーネットワーク				
関連科目など	日本語5B/A 文章表現・聴解・読解				
履修の留意点	クラスの状況に応じて、扱うトピックの内容や順番を変更することがある。				
連絡先／オフィスアワー		小谷 裕子 研究室:340(日本語教育準備室) オフィスアワー: 授業時間前後 メール: yukoktn@ybb.ne.jp			

科目名	日本語 5A 《読解》【漢字圏対象】			科目NO	300
担当教員	和田 一葉	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A		B		C	
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力		学習に取り組む 態度・意欲	
○		○		◎	
履修要件	日本語5にプレイスされた短期留学生（漢字圏の学生に限る）				
科目規定	習熟度別に読解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。				
授業の概要	テキスト『中級を学ぼう 中級中期』を用い、600字から1000字程度の長さの文章を読むことを通して、読解力の向上を目指す。文章の内容を理解することはもちろん、事実関係や物事の経緯の把握、筆者の意図や主張をつかむ練習をする。そして、読んだ文章に関しては意見交換も行う。また、語彙を増やすために、毎回の授業のはじめに漢字・語彙の小テストを行う。授業の前には、必ず自宅でテキストの音読練習を行い、読めない漢字や分からない言葉の意味を調べてくることを必須とする。				
授業の目標	A: 語彙や表現を増やすことで まとまった長さの文章が読めるようになる B: 事実関係や物事の経緯を正確に理解し、筆者の主張や意図を把握できる E: 文章の内容に関してコメントしたり、意見交換をしたりすることができる				
授 業 計 画					
回数	授業内容			授業外の学習時間と内容の指示	
1	オリエンテーション 第2課 ユーモア・ジョーク			「扉のページ」「本文のキーワード」「本文」CDを聞き音読する(1時間)	
2	第2課 ユーモア・ジョーク			語彙や学習した文法の復習、本文の音読(1時間)	
3	第2課 ユーモア・ジョーク			語彙や学習した文法の復習、本文の音読(1時間)	
4	第4課 算数			「扉のページ」「本文のキーワード」「本文」CDを聞き音読する(1時間)	
5	第4課 算数			語彙や学習した文法の復習、本文の音読(1時間)	
6	第6課 お金			「扉のページ」「本文のキーワード」「本文」CDを聞き音読する(1時間)	
7	第6課 お金			語彙や学習した文法の復習、本文の音読(1時間)	
8	復習 第2課、4課、6課			復習 第2課、4課、6課(1 時間)	
9	第8課 遺産			「扉のページ」「本文のキーワード」「本文」CD を聞き音読する(1 時間)	
10	第8課 遺産			語彙や学習した文法の復習、本文の音読(1時間)	
11	第8課 遺産			語彙や学習した文法の復習、本文の音読(1時間)	
12	第10課 ヒトと動物			「扉のページ」「本文のキーワード」「本文」CDを聞き音読する(1時間)	
13	第10課 ヒトと動物			語彙や学習した文法の復習、本文の音読(1時間)	
14	第10課 ヒトと動物			語彙や学習した文法の復習、本文の音読(1時間)	
15	総復習			総復習(1時間)	
評価方法			配分(%)	評価方法	
試験(中間・期末)			70	授業時態度など	
期末レポートなど				授業への参加度など	
小テストなど			10	その他①()	
宿題など			5	その他②()	
プレゼンテーションなど				その他③()	

教科書	『中級を学ぼう 中級中期』 スリーエーネットワーク * 必ず購入すること
参考文献等	授業内で適宜指示する
関連科目など	日本語5B/A 文章表現 口頭表現 聴解
履修の留意点	・教科書を必ず買うこと。・分からない言葉を調べられるもの(電子辞書・アプリなど)を用意すること。・ノートを必ず持ってくること。 ・試験の評価配分は中間35%、期末35%とする
連絡先／オフィスアワー	和田一菜 メール: wdlhtr08@hotmail.co.jp

科目名	日本語 5A 《読解》【非漢字圏対象】			科目NO	300
担当教員	田島 紀子	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
○	○			◎	

履修要件	日本語5にプレイスされた学生(非漢字圏の学生に限る)			
科目規定	習熟度別に読解能力の向上を目的とする。			
	ある程度の長さの文章もていこうなく読めるよう、ポイントを抑えながら読む練習を行う。			
	評価方法	配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)	漢字の力をつける。	60	授業時態度など	10
期末レポートなど	A: 各課で学んだ知識を深め、自らの言葉で説明したり意見を述べたりすることができる。		授業への参加度など	10
小テストなど	B: 各課のテーマについて、その原因や対策について学んだ知識を世に知らせることができる。()			
授業の目標	E: 授業で取り上げられているテーマについて、論理的な議論を行うことができる。()			
宿題など				
プレゼンテーションなど			その他③()	
授 業 計 画				
教科書	荒井礼子ほか『テーマ別中級から学ぶ日本語』(三訂版)研究社		授業外の学習時間と内容の指示	
参考文献等	本(授業計画、評価方法)の確認 授業前アンケート		漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)	
関連科目など	能力試験Ⅲ/N2レベル程度の読解確認テスト 日本語 3B/5A《日本語口頭表現Ⅰ/Ⅱ》《日本語聴解Ⅰ/Ⅱ》			
履修の留意点	漢文法及び本文内容確認 授業の予習復習とは、その課で取り上げる新出語彙や文法の確認		漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間) 短文作文・漢字学習などを指します。	
連絡先/オフィスアワー	研究室:340 (日本語教育準備室) オフィスアワー		漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)	
	第10課文法及び本文内容確認		漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)	
5	第8課文法及び本文内容確認		次の授業に向けての予習(1時間)	
6	生教材(新聞・エッセイ)の読み取り		中間試験に向けての準備(1時間)	
7	中間試験		漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)	
8	第10課文法及び本文内容確認		漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)	
9	第12課文法及び本文内容確認		漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)	
10	第14課文法及び本文内容確認		次の授業に向けての予習(1時間)	
11	生教材(新聞・エッセイ)の読み取り		漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)	
12	第16課文法及び本文内容確認		漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)	
13	第18課文法及び本文内容確認		漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)	
14	第20課文法及び本文内容確認		次の授業に向けての準備(1時間)	
15	生教材(新聞・エッセイ)の読み取り		期末試験に向けての準備(1時間)	

科目名	日本語 5A 《聴解》			科目NO	300
担当教員	宮瀬 美紀	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
○			○		◎
履修要件	JASIN／NICSプログラムにおいて日本語5にプレイスされた学生				
科目規定	習熟度別に聴解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。				
授業の概要	CDを聞きながらメモを取り、要点を意識しながら話を聞き取る技術を身につける。また、聞き取った内容を他者に伝え共有することで理解を深めることができる。メインテキスト以外に、副教材や生の映像を使ってニュース等を視聴し、時事問題を聞き取る練習をする。自宅での復習はシャドウイングを中心に行う。				
授業の目標	A: 耳から入ってくる情報としての既習語彙や文法を正しく理解することができる C: 未習語彙の混ざったまとまった文章を最後まで集中して聞くことができる E: 聞きとった日本語の主旨を正しく把握し、自分のことばに言い換えて他者に発信することができる				
授 業 計 画					
回数	授業内容			授業外の学習時間と内容の指示	
1	オリエンテーション			シラバスを読んで授業の目的を知る(1時間)	
2	『ニュースの日本語2課(一足先に夏、ビアガーデンオープン)』 グループによるキーワードのブレインストーミング・シャドウイングについて説明・練習 『毎日の聞きとり2課(旗のデザイン)』トピックの情報整理			復習(シャドウイング)練習(1時間)	
3	シャドウイング発表、『ニュースの日本語4課(避難訓練)』グループによるキーワードのブレインストーミング、 『毎日の聞きとり4課(カラスのカー子ちゃん)』トピックの情報整理			復習(シャドウイング)練習(1時間)	
4	シャドウイング発表、『ニュースの日本語6課(お盆の帰省ラッシュ)』 グループによるキーワードのブレインストーミング 『毎日の聞きとり6課(日本人と果物)』トピックの情報整理			復習(シャドウイング)練習(1時間)	
5	シャドウイング発表、『ニュースの日本語8課(北海道で激しい雷雨)』 グループによるキーワードのブレインストーミング 『毎日の聞きとり8課(震度3)』トピックの情報整理			復習(シャドウイング)練習(1時間)	
6	シャドウイング発表、テストフィードバック 『ニュースの日本語 10 課(意外と少ないジュニアブライド)』グループによるキーワードのブレインストーミング・聞き取り・ディクテーション、シャドウイング 『毎日の聞きとり 10 課(牛丼の作り方)』トピックの情報整理 復習テスト			復習(シャドウイング)練習(1時間)	
7	シャドウイング発表、『ニュースの日本語 12 課(「日本は安全な国、大きく増える」)』グループによるキーワードのブレインストーミング 『毎日の聞きとり 12 課(日本の地方都市)』トピックの情報整理			復習(シャドウイング)練習(1時間)	
8	シャドウイング発表、『ニュースの日本語 14 課(インフラ老朽化)』 グループによるキーワードのブレインストーミング 『毎日の聞きとり 14 課(弁当の日)』トピックの情報整理			復習(シャドウイング)練習(1時間)	

科目名	日本語 6A 《口頭表現》	科目NO	300	
9	シャドウイング発表、『ニュースの日本語 16 課(手を汚さずトウモロコシが食べられる「コーンホルダー」)』グループによるキーワードのブレインストーミング、『毎日の聞きとり 16 課(右回りの時計)』トピックの情報整理	復習(シャドウイング練習(1時間))		
10	シャドウイング発表 『ニュースの日本語 18 課(スーパー銭湯に2ヶ月、代金を払わず宿泊)』グループによるキーワードのブレインストーミング 『毎日の聞きとり 18 課(上手に泣いて、ストレス解消)』トピックの情報整理	復習(シャドウイング練習(1時間))		
11	シャドウイング発表 『ニュースの日本語 20 課(熱中症に注意)』グループによるキーワードのブレインストーミング 『毎日の聞きとり 20 課(富士山が見えるところ)』トピックの情報整理 復習テスト	復習(シャドウイング練習(1時間))		
12	シャドウイング発表 『ニュースの日本語 22 課(電子書籍、マンガがリード)』グループによるキーワードのブレインストーミング 『毎日の聞きとり 22 課(十二支の話)』トピックの情報整理	復習(シャドウイング練習(1時間))		
13	シャドウイング発表 『ニュースの日本語 24 課(独身男性の6割以上、「交際相手がいない」)』グループによるキーワードのブレインストーミング 『毎日の聞きとり 24 課(どんな結婚披露宴がいい?)』トピックの情報整理	復習(シャドウイング練習(1時間))		
14	シャドウイング発表 『ニュースの日本語 26 課(一夜で銅像 19 体に赤い服)』グループによるキーワードのブレインストーミング	復習(シャドウイング練習(1時間))		
15	シャドウイング発表 『ニュースの日本語 28 課(ベイエリアの高層マンション、売れ行き好調)』グループによるキーワードのブレインストーミング 復習	復習(シャドウイング練習(1時間))		
評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)		50	授業時態度など	15
期末レポートなど			授業への参加度など	15
小テストなど		20	その他①()	
宿題など			その他②()	
プレゼンテーションなど			その他③()	
教科書	『中級からはじめるニュースの日本語 聴解40』スリーエーネットワーク			
参考文献等	『新 毎日の聞きとり50日 上』 凡人社			
関連科目など	日本語5読解・日本語5口頭表現・日本語5文章表現			
履修の留意点	『中級からはじめるニュースの日本語 聴解40』は必ず購入すること ・授業中の携帯電話は使用不可 ・遅刻3回で欠席1回とみなす ・教室内での飲食は厳禁 ・クラス状況によっては、授業スケジュールを変更する可能性がある			
連絡先／オフィスアワー		場所: 306	オフィスアワー(及び時間帯): 月曜4限	メールアドレス: miyase@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

担当教員	未定※	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
		○	○	◎	
履修要件	JASIN／NICSプログラムにおいて日本語6にプレイスされた学生				
科目規定	習熟度別に口頭表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。				
授業の概要	日本社会に関する一冊の本を章ごとに分担し、担当箇所の内容についてリレー発表を行うことにより、まとまった文章を理解し、それを伝えるためのキーワードを発掘し、わかりやすく伝える工夫を考える。発表担当者以外には質の高い質問の提出を求め、それぞれの発表後に文章の内容について深く討議を行う。				
授業の目標	C: リレー発表・質疑応答・ピア評価を通じて、クラス内での責任を全うしより質の高い発表について考え続けることができるようになる D: 発表者への質問とピア評価によって、プレゼンテーション力及びコミュニケーション力をクラス全体で相互に高め合う協働学習の効果を 知る E: 自分の社会背景や考えを、自分のことばで効果的に伝えるための言語技術及び発表技術を身につける				
授 業 計 画					
回数	授業内容		授業外の学習時間と内容の指示		
1	授業オリエンテーション、本の紹介(プロローグを読む)、第1～5章の発表者の選定		シラバスを読んで授業の目的を知る		
2	学生による第1～2章の発表、質疑応答、発表担当決定 発表の質について		発表者: 発表 PPT 原稿作成&発表前チュートリアル 発表者以外: 発表箇所を読んでくる		
3	学生による第3～5章の発表、質疑応答、教師コメント		発表者: 発表 PPT 原稿作成&発表前チュートリアル 発表者以外: 発表箇所を読んでくる		
4	学生による第6～8章の発表、質疑応答、教師コメント		発表者: 発表 PPT 原稿作成&発表前チュートリアル 発表者以外: 発表箇所を読んでくる		
5	学生による第9～11章の発表、質疑応答、教師コメント		発表者: 発表 PPT 原稿作成&発表前チュートリアル 発表者以外: 発表箇所を読んでくる		
6	学生による第12～14章の発表、質疑応答、教師コメント		発表者: 発表 PPT 原稿作成&発表前チュートリアル 発表者以外: 発表箇所を読んでくる		
7	学生による第15～17章の発表、質疑応答、教師コメント		発表者: 発表 PPT 原稿作成&発表前チュートリアル 発表者以外: 発表箇所を読んでくる		
8	学生による第18～20章の発表、質疑応答、教師コメント		発表者: 発表 PPT 原稿作成&発表前チュートリアル 発表者以外: 発表箇所を読んでくる		
9	学生による第21～23章の発表、質疑応答、教師コメント		発表者: 発表 PPT 原稿作成&発表前チュートリアル 発表者以外: 発表箇所を読んでくる		
10	学生による第24～最終1章の発表、質疑応答、教師コメント		発表者: 発表 PPT 原稿作成&発表前チュートリアル 発表者以外: 発表箇所を読んでくる		
11	学生による最終2～4の発表、質疑応答、教師コメント		発表者: 発表 PPT 原稿作成&発表前チュートリアル 発表者以外: 発表箇所を読んでくる		
12	学生による最終5章、別れ、エピローグの発表、質疑応答、教師コメント		発表者: 発表 PPT 原稿作成&発表前チュートリアル 発表者以外: 発表箇所を読んでくる		
13	グループによる「ガネーシャの課題」のまとめ		ガネーシャの課題を総合的に分析し、ポスターにまとめる		
14	グループによる「ガネーシャの課題」のまとめ		ガネーシャの課題を総合的に分析し、ポスターにまとめる 発表前チュートリアル		
15	グループによる「ガネーシャの課題」のまとめ発表・ピア評価		発表の準備(チュートリアル含む)		

評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など	5
期末レポートなど		10	授業への参加度など	15
小テストなど			その他①()	
宿題など			その他②()	
プレゼンテーションなど		70	その他③()	
教科書	『夢をかなえるゾウ』文庫版、水野敬也、飛鳥新社、648 円＋税			
参考文献	授業内で適宜紹介する			
関連科目など	日本語6の文章表現、聴解、読解			
履修の留意点	・本は必ず購入すること(コピー不可・注文は授業内で教師が取りまとめる) ・プレゼンテーションの評価は、一部ピア評価とする ・授業中の携帯電話は使用不可 ・遅刻3回で欠席一回とみなす ・教室内での飲食は厳禁 ・クラス状況によっては、授業スケジュールを変更する可能性がある			
連絡先／オフィスアワー	未定			

※カリキュラムも仮のものです。

教員が決まり次第、確定版を配布します。

科目名	日本語 6A 《文章表現》			科目NO	300
担当教員	小谷 裕子	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
○	○			◎	
履修要件	JASIN／NICSプログラムにおいて日本語6にプレイスされた学生				
科目規定	習熟度別に文章表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする				
授業の概要	日本語のポイントを学びながら短いエッセイを書く作業を通して、日本語の文章を書く力を伸ばす。授業で取り扱う課題の予習、エッセイ作成、発表の準備などの自宅学習も必須とする。また、場合に応じてグループワークによるエッセイの内容への意見交換や文章の修正などを行う。				
授業の目標	A: 既習未習の文法項目を確実に理解し、長い文章の中でそれらを正確に使いこなすことができる B: 各自の書いてきたエッセイに関してpeer reviewを通して洗練させるための思考力や問題解決力を高める E: エッセイを洗練させる作業およびエッセイの発表と質疑応答などを通して、高度なコミュニケーション力をつける				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習の指示他	
1	シラバスの確認、自己紹介、自己紹介シート記入、グループでエッセイのテーマ決めのディスカッション			原稿用紙の使い方の確認、第3課「自動詞・他動詞・受身」と第4課「呼応」の予習(1時間)	
2	自動詞・他動詞の形のルール、自動詞・他動詞・受身の使い分け、副詞/接続詞/主語/疑問詞との呼応			400字程度のエッセイ(1)作成(1時間)	
3	エッセイ(1)の peer review(構成・内容・表現・文法・誤字等のチェック)			エッセイ(1)の修正・発表準備(1時間)	
4	エッセイ(1)の 発表、質疑応答、評価シート記入			第11課「辞書の危険性」と第12課「専門用語の選び方」の予習(1時間)	
5	文脈に合った言葉の選び方、学術的な文章を書く時の専門用語の選び方			400字程度のエッセイ(2)作成(1時間)	
6	エッセイ(2)の peer review、エッセイ(1)の返却(個人的に評価・解説)			エッセイ(2)の修正・発表準備(1時間)	
7	エッセイ(2)の発表、質疑応答、評価シート記入			第15課「接続詞と文章の構成」と第16課「読み手への配慮」の予習(1時間)	
8	接続詞の使い方、情報不足でわかりにくい文章を直す方法			600字程度のエッセイ(3)作成(1時間)	
9	エッセイ(3)の peer review、エッセイ(2)の返却(個人的に評価・解説)			エッセイ(3)の修正・発表準備(1時間)	
10	エッセイ(3)の発表、質疑応答、評価シート記入			第18課「レポートの基本的な書き方」の予習(1時間)	
11	複雑な内容を整理して書く方法			600～800字程度のエッセイ(4)作成(1時間)	
12	エッセイ(4)の peer review、エッセイ(3)の返却(個人的に評価・解説)			エッセイ(4)の修正・発表準備(1時間)	
13	エッセイ(4)の発表、質疑応答、評価シート記入			エッセイ(4)の修正・発表準備(1時間)	
14	エッセイ(4)の発表、質疑応答、評価シート記入			小論文の作成メモの作成練習(1時間)	
15	まとめと振り返り			まとめと振り返り(1時間)	
評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)		30	授業時態度など		10
期末レポートなど			授業への参加度など		10
小テストなど			その他①(授業で書いたエッセイ)		20
宿題など		20	その他②()		
プレゼンテーションなど		10	その他③()		

教科書	『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』 スリーエーネットワーク
参考文献等	必要な場合は適宜紹介する。
関連科目など	日本語6B/A 文章表現・聴解・読解
履修の留意点	授業内で適宜指示する。
連絡先／オフィスアワー	340室(日本語教育準備室) オフィスアワー(及び時間帯):授業時間前後 メールアドレス: yukoktn@ybb.ne.jp

科目名	日本語 6A《読解》			科目NO	300
担当教員	宮崎 聡子	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
○	○			◎	
履修要件	プレイスメントテストで日本語6にプレイスされた短期留学生				
科目規定	習熟度別に読解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。				
授業の概要	テキスト『テーマ別上級で学ぶ日本語』を使い、2000字程度の長文を読む練習を通して、読解力をつけることを目指す。読解に必要な語彙や表現を増やすために、毎回の授業開始時にクイズを行なう。本文の読みは主に自宅学習とし、教室内では読んだ内容について説明したり、コメントしたりする場とする。				
授業の目標	A: 語彙や表現を増やすことで まとまった長さの文章が正確に速く読めるようになる B: 文章の内容を把握するために必要な情報を正確に把握し、それについて説明したり、自分の考えを述べたりすることができる E: 自分の意見や考えを他人に分かりやすく伝えることができる。また、他人の意見を正確に聞くことができる				
授 業 計 画					
回数			授業外の学習時間と内容の指示		
1	オリエンテーション 第2課 宇宙人のぼやき		リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習(1 時間)		
2	第2課 宇宙人のぼやき／第2課 語彙テスト		リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習(1 時間)		
3	第4課 健康ブームの光と影		語彙や学習した文法の復習(3 時間)		
4	第4課 健康ブームの光と影／第4課 語彙テスト		リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習(1 時間)		
5	第6課 神の手・人の手		語彙や学習した文法の復習(5 時間)		
6	第6課 神の手・人の手／第6課 語彙テスト		リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習(1 時間)		
7	第8課 コンピューター夢物語		語彙や学習した文法の復習/復習テストの準備 1 時間)		
8	復習テスト① 第2課、4課、6課		語彙や学習した文法の復習(1時間)		
9	第8課 コンピューター夢物語／第8課 語彙テスト		リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習(1時間)		
10	第10課 青春のひとこま		語彙や学習した文法の復習(1 時間)		
11	第10課 青春のひとこま／第10課 語彙テスト		リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習(1 時間)		
12	第12課 動物たちの嘆き		語彙や学習した文法の復習(1 時間)		
13	第12課 動物たちの嘆き／第12課 語彙テスト		リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習(1 時間)		
14	第14課 おばあちゃんのたんす		語彙や学習した文法の復習(1 時間)		
15	復習テスト② 第8課、10課、12課、14課		総復習(1 時間)		
評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)		60	授業時態度など		15
期末レポートなど			授業への参加度など		15
小テストなど		10	その他①()		
宿題など			その他②()		
プレゼンテーションなど			その他③()		

教科書	『テーマ別上級で学ぶ日本語』研究社
参考文献等	授業中に適宜指示する
関連科目など	日本語6 文章表現、口頭表現、聴解
履修の留意点	・教科書は必ず購入してください。 ・授業の前に、リーディングワークシートを完成させてください。 ・授業に欠席した場合、小テストや復習テストの再テストは行ないません。
連絡先／オフィスアワー	研究室: 331 オフィスアワー: 木曜4限 メール: smiyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名	日本語 6A《聴解》			科目NO	300
担当教員	田島 紀子	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
○			○		◎
履修要件	日本語6にプレイスされた短期留学生				
科目規定	習熟度別に聴解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。				
授業の概要	日本で身近に起きている出来事に対して、インターネットで配信されているニュースや動画、映画を使いながら、日本社会に対する深い理解とより高度な日本語能力を身につける。				
授業の目標	A: ニュースや動画、映画を見て理解するために、必要な語彙や表現を習得し、使用することができる C: 多様なメディア(特にインターネット)から必要な情報を選んで、まとめることができる E: 授業で扱うピックについて、理解を深めつつその内容について意見交換ができる				
授 業 計 画					
回数			授業外の学習時間と内容の指示		
1	オリエンテーション		興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1 時間)		
2	聴解の基礎① メモの取り方 教材聞き取り		興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1 時間)		
3	聴解の基礎② 教材聞き取り+生番組聞き取り		興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1 時間)		
4	教材聞き取り 再話		確認テストに向けての準備(1 時間)		
5	確認テスト①		興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1 時間)		
6	長文の聞き取り「3億円事件」		興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1 時間)		
7	長文の聞き取り「教育問題」		興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1 時間)		
8	生教材ドラマ「モンスターペアレント」		確認テストに向けての準備(1 時間)		
9	確認テスト②		興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1 時間)		
10	ニュースの聞き取り「無銭飲食」「JRの取り組み」		興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1 時間)		
11	ニュースの聞き取り「少子化」「待機児童」		確認テストに向けての準備(1 時間)		
12	確認テスト③		興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1 時間)		
13	情報番組の聞き取り①「ニッポン人は痩せずぎ?！」		興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1 時間)		
14	情報番組の聞き取り②「ニッポン人は痩せずぎ?！」		興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1 時間)		
15	情報番組の聞き取り③「ニッポン人は痩せずぎ?！」		興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1 時間)		
評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)		60	授業時態度など		10
期末レポートなど			授業への参加度など		10
小テストなど			その他①()		
宿題など		20	その他②()		
プレゼンテーションなど			その他③()		

教科書	プリント配布
参考文献等	特になし
関連科目など	その他の日本語6B/A授業
履修の留意点	時事ニュースや関連動画などに関する役立つ情報、授業の諸注意などは、オリエンテーションで詳しく説明する予定。 なお、毎回授業には、ヘッドホン/イヤホンを持参すること。
連絡先／オフィスアワー	場所: 340日本語教育準備室 オフィスアワー: 授業時間前後 メールアドレス: cloverdale1027@yahoo.co.jp

科目名	日本語 7A 《口頭表現》			科目NO	400
担当教員	川崎 加奈子	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A		B		C	
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力		学習に取り組む 態度・意欲	
				○	
				○	
				◎	
履修要件	JASIN／NICSプログラムにおいて日本語7にプレイスされた学生				
科目規定	習熟度別に口頭表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。				
授業の概要	場面に応じた効果的なコミュニケーションを、相手に対する配慮が日本語にどう現れるかを理論的に考察しながらグループで考える。“正しい日本語”を覚えるのではなく、グループ討議をすることを通してコミュニケーション力そのものの向上を目指す。同時に、学期を通して自分や周囲の発話を観察し分析する姿勢を養う。教材には、話し方の教科書と、生の日本語分析のためのテレビドラマ等の映像を用いる。				
授業の目標	C: リレー発表・質疑応答・ピア評価を通じて、クラス内での責任を全うしより質の高い発表について考え続けることができるようになる D: 発表者への質問とピア評価によって、プレゼンテーション力及びコミュニケーション力をクラス全体で相互に高め合う協働学習の効果を 知る E: 自分の社会背景や考えを効果的に伝えるための言語技術及び発表技術を高める				
授 業 計 画					
回数	授業内容			授業外の学習時間と内容の指示	
1	授業オリエンテーション、 トレーニング1「問い合わせをする」練習			シラバスを読んで授業の目的を知る、次の課題を選び考える (1時間)	
2	トレーニング1 グループ討議・発表			討議・発表内容を振り返る(1時間)	
3	トレーニング2「お店でお客を接待する」練習			次の課題を選び考える(1時間)	
4	トレーニング2 グループ討議・発表			討議・発表内容を振り返る(1時間)	
5	トレーニング4「お店やサークルの宣伝をする」練習			次の課題を選び考える(1時間)	
6	トレーニング4 グループ討議・発表			討議・発表内容を振り返る(1時間)	
7	トレーニング6「道や交通の案内をする」練習			次の課題を選び考える(1時間)	
8	トレーニング6 グループ討議・発表			討議・発表内容を振り返る(1時間)	
9	トレーニング8「雑談をする」練習			次の課題を選び考える(1時間)	
10	トレーニング8 グループ討議・発表			討議・発表内容を振り返る(1時間)	
11	トレーニング10「会議で発話する」練習			次の課題を選び考える(1時間)	
12	トレーニング10 グループ討議・発表			討議・発表内容を振り返る(1時間)	
13	トレーニング12「やさしい日本語で話す」グループ討議・発表			討議・発表内容を振り返る。次の課題を選び考える(1時間)	
14	トレーニング14「研究を発表する」発表			発表の準備(1時間)	
15	トレーニング14 発表			発表の準備(1時間)	
評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など		9
期末レポートなど		10	授業への参加度など		15
小テストなど			その他①()		
宿題など			その他②()		
プレゼンテーションなど		66	その他③()		

教科書	『日本語を話すトレーニング』野田尚史 1,100 円＋税		
参考文献	授業内で適宜紹介する		
関連科目など	日本語7の文章表現、聴解、読解		
履修の留意点	・プレゼンテーションの評価は、一部ピア評価とする ・授業中の携帯電話は使用不可 ・遅刻3回で欠席一回とみなす ・教室内での飲食は厳禁 ・クラス状況によっては、授業スケジュールを変更する可能性がある		
連絡先／オフィスアワー	研究室(302)	オフィスアワー(月曜日4時限目)	kawasaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名	日本語 7A 《文章表現》			科目NO	400
担当教員	宮崎 聡子	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
○		○			◎
履修要件	日本語7にプレイスされた、上級レベルの日本語力を持っている学生。				
科目規定	習熟度別に文章表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。				
授業の概要	本授業では、高度な日本語の知識に関して学習するとともに、相手に伝わりやすくわかりやすい文章を書くことを目指します。授業では、各自がテーマを設定し、そのテーマについて小論文を書いていきます。また本授業では、書くだけでなく、お互いにそれを読み、peer reviewを行うことで、書いている小論文をより洗練させていきます。				
授業の目標	A: 「高度な日本語で文章を書く際の総合的な知識について理解する」ことを目指します。 B: 「各自のテーマについて、理論立ててテーマを追求し、その結果を文章に表現できる」ことを目指します。 E: 「peer reviewを通して、建設的な意見交換を行うためのスキルとコミュニケーション力を身につける」ことを目指します。				
授 業 計 画					
回数	授業内容			授業外の学習時間と内容の指示	
1	オリエンテーション, テーマ設定のためのディスカッション			テーマ設定(1 時間)	
2	テーマ設定の peer review			テーマ発表用レジュメ(1 時間)	
3	テーマ発表			アウトラインの作成(1 時間)	
4	アウトラインの peer review			アウトラインの修正(1 時間)	
5	先行研究や資料のまとめ方(講義)			先行研究や資料のまとめ 1(1 時間)	
6	先行研究や資料のまとめ方(講義)			先行研究や資料のまとめ 1(1 時間)	
7	先行研究や資料のまとめ peer review			先行研究や資料のまとめ 2, 序論執筆(1 時間)	
8	個別指導			序論修正(1 時間)	
9	個別指導			序論修正(1 時間)	
10	アンケート等調査方法について(講義)			アンケート案の作成(1 時間)	
11	アンケート案の peer review			アンケート案の修正(1 時間)	
12	分析・結論について(講義)			調査実施(1 時間)	
13	個別指導			論文の執筆・修正(1 時間)	
14	個別指導			論文の執筆・修正(1 時間)	
15	論文内容の発表			まとめとふりかえり(1 時間)	
評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(期末)			授業時態度など		
期末レポートなど		40	授業への参加度など		20
小テストなど(漢字クイズ)			その他①()		
宿題など		20	その他②()		
プレゼンテーションなど		20	その他③()		

教科書	特定のものはありません
参考文献等	必要に応じて適宜紹介します
関連科目など	日本語7の口頭表現、聴解、読解
履修の留意点	本授業では、15回のコースを通して論文を作成することを目指します。かなりハードなスケジュールで進めますので、覚悟して履修してください。また、論文に関しては、最終的にネイティブチェックを経て提出してもらいます。ネイティブチェックをお願いできる日本語母語話者とのネットワークをあらかじめ構築しておいてください。
連絡先／オフィスアワー	研究室: 331 オフィスアワー: 木曜4限 メール: smiyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名	日本語 7A 《読解》			科目NO	400
担当教員	未定※	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
○		○			◎
履修要件	日本語7にプレイスされた短期留学生				
科目規定	習熟度別に読解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。				
授業の概要	新聞記事など生の素材を用いて、内容を正確に速く理解する練習を行う。そして、その内容について説明したり、自分の意見や考えを述べたりする。主に読む作業は自宅学習とし、教室内では、読んできた文章の内容確認を行った後、ディスカッションを通して、異なる視点からも理解を深める場とする。毎回の授業前にはリーディングワークシートの完成、授業後には文章の内容及びディスカッションの内容を踏まえたエッセイの提出を求める。				
授業の目標	A: 語彙や表現を増やすことで まとまった長さの文章が正確に速く読めるようになる B: 文章の内容を把握するために必要な情報を正確に把握し、それについて説明したり、自分の考えを述べたりすることができる E: 自分の意見や考えを他人に分かりやすく伝えることができる				
授 業 計 画					
回数	授業内容			授業外の学習時間と内容の指示	
1	オリエンテーション／読解1			読解1の感復習、読解2の予習(1 時間)	
2	読解2			読解2の復習、読解3の予習(1 時間)	
3	読解3			読解3の復習、読解4の予習(1 時間)	
4	読解4			読解4の復習、読解5の予習(1 時間)	
5	読解5			読解5の復習、読解6の予習(1 時間)	
6	読解6			読解6の復習、読解7の予習(1 時間)	
7	読解7			読解7の復習、読解8の予習(1 時間)	
8	読解8			読解8の復習、読解9の予習(1 時間)	
9	読解9			読解9の復習、読解10の予習(1 時間)	
10	読解10			読解10の復習、読解11の予習(1 時間)	
11	読解11			読解11の復習、読解12の予習(1 時間)	
12	読解12			読解12の復習、読解13の予習(1 時間)	
13	読解13			読解13の復習、読解14の予習(1 時間)	
14	読解14			読解14の復習(1 時間)	
15	まとめ			総復習(1 時間)	
評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など		5
期末レポートなど			授業への参加度など		15
小テストなど			その他①(リーディングワークシートの完成)		50
宿題など			その他②(エッセイ作成)		30
プレゼンテーションなど			その他③()		

		使用しない。授業中に教材となる読解資料を配布する。				科目NO		400	
科目名	日本語	7A《聴解》							
担当教員	大谷 鉄平	授業中に適宜指示する		使用言語	日本語	単位	1		
授業の到達目標									
A		B		C		D		E	
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力		学習に取り組む 態度・意欲		コラボレーションと リーダーシップ		効果的な コミュニケーション力	

※カリキュラムも仮のものです。
教員が決まり次第、確定版を配布します。

2019 長崎外国語大学

○		○		◎
履修要件	日本語7にプレイスされた学生			
科目規定	習熟度別に聴解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。			
授業の概要	日本で身近に起きている出来事に対して、インターネットで配信されているニュースや動画、映画を使いながら、日本社会・文化に対する深い理解とより高度な日本語能力を身につける。			
授業の目標	A: ニュース動画／ドラマ／映画などの教材から社会的・文化的背景を理解し、その内容をまとめることができる。 C: インターネットから興味・関心のあるニュースを選び、正確に内容を要約し、説明することができる。 E: 授業で扱うピックについて、理解を深めつつその内容について意見交換ができる。			
授 業 計 画				
回数		授業外の学習時間と内容の指示		
1	オリエンテーション	オリエンテーション時に配布した資料の熟読(1 時間)		
2	グループワーク①(第1 課)	内容の復習(1 時間)		
3	グループワーク①(第1 課)	内容の復習(1 時間)		
4	グループワーク①(第1 課)	内容の復習(1 時間)		
5	グループワーク①(第1 課)	小テストへの準備(1 時間)		
6	小テスト①	第1 課の振り返り(1 時間)		
7	グループワーク②(第2 課)	内容の復習(1 時間)		
8	グループワーク②(第2 課)	内容の復習(1 時間)		
9	グループワーク②(第2 課)	内容の復習(1 時間)		
10	グループワーク②(第2 課)	小テストへの準備(1 時間)		
11	小テスト②	第2 課の振り返り(1 時間)		
12	グループワーク③(第3 課)	内容の復習(1 時間)		
13	グループワーク③(第3 課)	内容の復習(1 時間)		
14	グループワーク③(第3 課)	内容の復習(1 時間)		
15	グループワーク③(第3 課)	小テストへの準備(1 時間)		

評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(確認テスト①②③)			授業時態度など	35
期末レポートなど			授業への参加度など	35
小テストなど		30	その他①()	
宿題など			その他②()	
プレゼンテーションなど			その他③()	
教科書	教員自作プリント			
参考文献等	授業で適宜紹介する。			
関連科目など	日本語7の文章表現、口頭表現、読解			
履修の留意点	辞書を必ず持ってくること。			
連絡先／オフィスアワー		研究室 :331 オフィスアワー: 火 4 限 メール: teppeikun09@yahoo.co.jp		

科目名	応用日本語 I (落語)			科目NO	400
担当教員	川崎 加奈子	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
◎		○			○
履修要件	プレイメントテストで日本語8のレベルにプレイされた学生				
科目規定	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、実践的な日本語の運用能力向上を目的とする。				
授業の概要	落語を素材にし、日本語の語彙・表現など言語的な内容を理解すると同時に、噺の背景にある日本社会への知識を養う。また、落語の噺を他者に伝え、演じるための練習を通して、効果的なコミュニケーションについて考察し、実践する。この授業目的のため、クラス活動は講義形式ではなく、落語を見、聞き、考え、練習し、演じるという過程を学生自身が実践するものであり、落語を演じたり、演読したりする際の学生の積極的な参加を必須とする。				
授業の目標	A: 語彙、待遇表現、江戸時代の社会背景など従前の学習になかった知識を広げる B: 作品を論理的に分析し、学習者自身及びコミュニケーションパートナーの理解の不足を補うための方策を検討する思考ができるようになる E: 自分の社会背景や考えを効果的に伝えるための言語技術及び交渉技術が高まる				
授 業 計 画					
回数	授業内容			授業外の学習時間と内容の指示	
1	オリエンテーション、アイスブレイキング			シラバスを読んで授業内容について確認する (1 時間)	
2	・学生個々による「落語トリビア」発表 ・落語の見方聞き方			「落語トリビア」発表準備(1 時間)	
3	・「落語トリビア」のピア評価について ・落語『長短』視聴、解説 ・落語『寿限無』①			・落語『長短』落ち部分の練習 ・「寿限無」の名前をイントネーションに気をつけて読んでくる(1 時間)	
4	・落語『長短』落ち部分、「寿限無」の読み方発表 ・落語『かんしゃく』前半鑑賞			「寿限無」の名前を覚えてくる(1 時間)	
5	・落語『かんしゃく』後半鑑賞 ・落語『寿限無』前半解説、読み練習			落語『寿限無』前半を声を出して読む(1 時間)	
6	・落語の演じ方(上下・しぐさ・道具・お辞儀)について解説、練習			落語『寿限無』後半の演じ分けを練習する(1 時間)	
7	・落語『千両みかん』前半鑑賞、解説			落語『寿限無』の全体を落語として演じる練習をする(1 時間)	
8	・『寿限無』発表			発表への感想をまとめる(1 時間)	
9	・『寿限無』発表へのピア評価、教師コメント ・『千両みかん』後半鑑賞、解説 ・グループ活動概要説明			グループで落語を鑑賞し、発表するための概要理解、背景理解、発表(PPT・演技)の構成をまとめる(1 時間)	
10	グループ活動&グループ毎の教師指導			グループで落語を鑑賞し、発表するための概要理解、背景理解、発表(PPT・演技)の構成をまとめる(1 時間)	
11	グループ活動&グループ毎の教師指導			グループで落語を鑑賞し、発表するための概要理解、背景理解、発表(PPT・演技)の構成をまとめる(1 時間)	
12	グループ発表 落語『目黒のさんま』『松山鏡』			グループ発表の練習、教師チュートリアル(1 時間)	
13	グループ活動&グループ毎の教師指導			グループで落語を鑑賞し、発表するための概要理解、背景理解、発表(PPT・演技)の構成をまとめる(1 時間)	
14	グループ活動&グループ毎の教師指導			グループで落語を鑑賞し、発表するための概要理解、背景理解、発表(PPT・演技)の構成をまとめる(1 時間)	
15	グループ発表 落語『死神』『転宅』			グループ発表の練習、教師チュートリアル(1 時間)	

評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など		30
期末レポートなど			授業への参加度など		30
小テストなど			その他①()		
宿題など			その他②()		
プレゼンテーションなど		40	その他③()		
教科書	授業内で適宜紹介する				
参考文献等	『ビジュアルワイド 江戸時代館』小学館、『おもしろ落語図書館』三遊亭圓窓著 大日本図書、 など				
関連科目など	特になし				
履修の留意点	・プレゼンテーションの評価はクラス内ピア評価とする ・日本語の教科書に出てくる語彙や言葉遣いとは異なるものが多いので、それら未習語彙に果敢に取り組むつもりで履修すること。 ・授業中の携帯電話は使用不可。 ・遅刻3回で欠席一回とみなす。 ・教室内での飲食は厳禁。 ・クラス状況によっては、授業スケジュールと取り扱う落語を変更する可能性がある				
連絡先／オフィスアワー		研究室(302) オフィスアワー(月曜4限) kawasaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			

科目名	応用日本語 II (論文読解)			科目NO	400
担当教員	宮崎 聡子	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
◎	○			○	
履修要件	プレイメントテストで日本語8のレベルにプレイされた学生				
科目規定	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。				
授業の概要	数名のグループに分かれ、それぞれ異なるテーマに取り組む。テーマは全て日本語の仕組みに関するものである。担当するテーマについて書かれた論文を読み、ハンドアウトを作成し、発表する。発表では全員参加で質疑応答を行う。最後に、発表した内容をレポートにまとめ提出する。				
授業の目標	A: 論文の主張を正しく理解し、まとめることができる B: 取り上げたテーマを発展させ、自分の意見を述べることができる。 E: 質疑応答の時間に積極的に発言し、他人と意見交換をしながら問題の解決案を提示できる。				
授 業 計 画					
回数			授業外の学習時間と内容の指示		
1	オリエンテーション		配布した論文を読む(1時間)		
2	[講義] 音声・音韻		論文をまとめたハンドアウトを作成する(1 時間)		
3	[発表と質疑応答①] 論文の内容をまとめ、発表する		母語との比較を行い、ハンドアウトを作成する(1 時間)		
4	[発表と質疑応答②] 母語との比較を行い、発表する		配布した論文を読む(1 時間)		
5	[講義] 形態論		論文をまとめたハンドアウトを作成する(1 時間)		
6	[発表と質疑応答①] 論文の内容をまとめ、発表する		母語との比較を行い、ハンドアウトを作成する(1 時間)		
7	[発表と質疑応答②] 母語との比較を行い、発表する		配布した論文を読む(1 時間)		
8	[講義] 文の構造と文法カテゴリー		論文をまとめたハンドアウトを作成する(1 時間)		
9	[発表と質疑応答①] 論文の内容をまとめ、発表する		母語との比較を行い、ハンドアウトを作成する(1 時間)		
10	[発表と質疑応答②] 母語との比較を行い、発表する		配布した論文を読む(1 時間)		
11	[講義] モダリティ		論文をまとめたハンドアウトを作成する(1 時間)		
12	[発表と質疑応答①] 論文の内容をまとめ、発表する		母語との比較を行い、ハンドアウトを作成する(1 時間)		
13	[発表と質疑応答②] 母語との比較を行い、発表する		各自発表した内容を短くまとめる(1 時間)		
14	振り返り		レポートを書く(1 時間)		
15	総括		レポートを書く(1 時間)		
評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など		
期末レポートなど		40	授業への参加度など		20
小テストなど			その他①()		
宿題など		10	その他②()		
プレゼンテーションなど		30	その他③()		

教科書	教科書は使用しない。ハンドアウトと論文を配布する。
参考文献等	「新しい日本語学入門」スリーエーネットワーク ほかに 授業中に適宜紹介する
関連科目など	言語学
履修の留意点	各課題に意欲を持って取り組むこと。
連絡先／オフィスアワー	研究室: 331 オフィスアワー: 木曜 4 限 メール: symiyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名	応用日本語 Ⅲ(古典日本語文法)			科目NO	400
担当教員	松本 真輔	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
◎	○			○	
履修要件	プレースメントテストで日本語8のレベルにプレースされた学生(日本語能力試験N1合格程度の日本語力が必要)				
科目規定	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。				
授業の概要	現代日本語との共通点、相違点を踏まえながら、古典文学作品を講読する際の足がかりとなる基礎的な文法知識(助動詞・助詞を中心に)の習得を目指します。古典文学作品に親しむと同時に、その背景となる、文化的・社会的な背景についても目を向けます。授業では『百人一首』を素材に学習を進める。毎時間、前回の授業内容を確認するために設問調査(小試験)を行います。この授業は学生参加が基本ですので、受講者が発言・発表する機会が頻繁にあります。				
授業の目標	古典日本語の基礎的な知識を身につける。その上で、 A: 古典日本語の基礎的な知識を身につける。 B: 類推力を養うことで、文脈から記述内容がおおよそ読み取れる。 E: 現代日本語に残る古典日本語文法(文語的表現)を把握し、自身の日本語力を豊かなものにする。				
授 業 計 画					
回数			授業外の学習時間と内容の指示		
1	1)シラバス(授業計画、評価方法)の確認 2)授業前アンケート。 3)『百人一首』の紹介		教科書の概要を把握する(1時間)		
2	1)古典文法と現代文法の違いを理解する。 2)授業を進める際に使われる文法用語を理解する。		古典語と現代語の仮名遣いの違いを確認する。また、品詞を区別できるようにする。(1時間)		
3	日本語の成り立ちについて理解する。		文字としての日本語の成立について説明できるようにする。(1時間)		
4	1)動詞の種類を理解する。 2)四段動詞の活用を理解する。		授業で学んだ和歌を覚え、動詞の活用について説明できるようにする。(1時間)		
5	上一段・下一段・カ変・サ変動詞を理解する。		授業で学んだ和歌を覚え、動詞の活用について説明できるようにする。(1時間)		
6	ナ変・ラ変・上一段・下一段動詞を理解する。		授業で学んだ和歌を覚え、動詞の活用について説明できるようにする。(1時間)		
7	形容詞・形容動詞の種類と活用について理解する。		授業で学んだ和歌を覚え、形容詞の活用について説明できるようにする。(1時間)		
8	1)1～7回の到達度試験と解説。 2)助動詞とは何かを理解する。		授業で学んだ和歌を覚え、助動詞について説明できるようにする。(1時間)		
9	助動詞「ず」「む」を理解する。		授業で学んだ和歌を覚え、助動詞「ず」「む」について説明できるようにする。(1時間)		
10	助動詞「き」「し」を理解する。		授業で学んだ和歌を覚え、助動詞「き」「し」について説明できるようにする。(1時間)		
11	助動詞「けり」「つ」「ぬ」「たり」「り」を理解する。		授業で学んだ和歌を覚え、助動詞「けり」「つ」「ぬ」「たり」「り」について説明できるようにする。(1時間)		
12	助動詞「す」「さす」「なり」を理解する。		授業で学んだ和歌を覚え、助動詞「す」「さす」「なり」について説明できるようにする。(1時間)		
13	1)助詞の働きと省略を理解する。 2)係助詞を理解する。		授業で学んだ和歌を覚え、助詞について説明できるようにする。(1時間)		

14	敬語の種類を理解する。	授業で学んだ教材をもとに、古典文法の敬語について、現代語との違いを念頭において説明できるようにする。(1時間)		
15	1) 授業のまとめ 2) 8～14 回の到達度試験と解説。	半年の授業を振り返り、学んだ和歌や文法事項について説明できるようにする。(1時間)		
評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)		60	授業時態度など	
期末レポートなど			授業への参加度など	20
小テストなど		20	その他①()	
宿題など			その他②()	
プレゼンテーションなど			その他③()	
教科書	吉海直人『暗唱百人一首』(永岡書店、2014 年)			
参考文献等	『社会人のためのビジュアルカラー国語百科』(教育研究メディアセンター 請求記号 : 910.2/Ta24)			
関連科目など	特になし			
履修の留意点	新しい知識をどんどん紹介するので、毎回復習は欠かさないように。			
連絡先／オフィスアワー	研究室:301 オフィスアワー: 未定 メールアドレス:nosmoke@outlook.jp			

科目名	応用日本語 IV (時事日本語)			科目NO	400
担当教員	安田 真由美	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
◎		○			○
履修要件	プレイメントテストで日本語8のレベルにプレイされた学生				
科目規定	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。				
授業の概要	いま日本で話題になっているニュースや書籍、新聞記事を取り上げ、その内容について理解するとともに、レジュメを作成して他の人に説明する。そして、その内容から気になる個所や問題となる個所について他人とディスカッションを行い、異なる視点からも理解を深める。				
授業の目標	A: 語彙や表現を広げ、ニュースや書籍、新聞記事を速く正確に理解することができる B: 書籍や新聞記事などから、問題となる個所や気になる個所を具体的に指摘することができる E: 問題となる個所や気になる個所について、他の人と討議することができる				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習時間と内容の指示	
1	オリエンテーション／新聞記事1			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
2	新聞記事2			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
3	新聞記事3			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
4	学生による記事の紹介①／新聞記事4			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
5	学生による記事の紹介②／新聞記事5			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
6	学生による記事の紹介③／新聞記事6			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
7	学生による記事の紹介④／新聞記事7			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
8	学生による記事の紹介⑤／新聞記事8			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
9	学生による記事の紹介⑥／新聞記事9			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
10	学生による記事の紹介⑦／新聞記事10			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
11	学生による記事の紹介⑧／新聞記事11			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
12	学生による記事の紹介⑨／新聞記事12			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
13	学生による記事の紹介⑩／新聞記事13			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
14	新聞記事14			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
15	新聞記事15、まとめ			復習、次の読み物の予習(1 時間)	
評価方法		評価方法	配分 (%)		評価方法
試験(中間・期末)			授業時態度など		5
期末レポートなど		15	授業への参加度など		15
小テストなど			その他①(レジュメ作成)		50
宿題など			その他②()		
プレゼンテーションなど		15	その他③()		

教科書	授業開始後指示する。
参考文献等	授業開始後指示する。
関連科目など	応用日本語Ⅰ～Ⅷ
履修の留意点	詳細な評価方法は、授業開始後指示する。
連絡先／オフィスアワー	研究室:339 オフィスアワー: 水曜3限 メール: yasuda@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名	応用日本語 V (論文作成)			科目NO	400
担当教員	新居田 純野	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
◎	○			○	
履修要件	(プレースメントテスト等により) 日本語Sレベルへの参加が許可されている日本語能力検定試験 <u>N1</u> 取得者				
科目規定	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。				
授業の概要	各自のテーマに沿った高度な論理的な文章の作成(3000字～5000字)に向けて、論文を組み立てるための知識及び文章作成能力の実践的な養成を目指す。				
授業の目標	A: 研究するテーマを自分で考えて決め、研究対象に選んだ専門分野の知識を修得した上で研究方法を体得する。 B: 自らが修得した情報や知識を論理的にまとめ、正確な日本語の文章で論理的に表現することができる。 E: 論文内容に関する意見提出及び自分の考えを提出して、意見交換ができる。				
授 業 計 画					
回数			授業外の学習時間と内容の指示		
1	シラバス(授業計画、評価方法)の確認、 授業内容、論文作成スケジュールについて確認。 研究テーマを決める際の注意事項について説明。		今一番関心のある三つのテーマとその概略について 次回までに考えてくる。 また関心のあるテーマに関する論文を一つ探してくる。(1 時間)		
2	授業中に使用するノートを配布(私家版)して、ノートの使い方を 説明する。各自のテーマ・内容について紹介する。 研究内容に即した参考論文となる論文の探し方について解説。 (ネット上での検索を中心に: CiNii の使い方、県内図書館縦断 検索など)		考えた三つのテーマに関する先行研究論文や書籍などの収集を する。(1 時間)		
3	論文を書く前にすべきことの再確認。(テーマの重要性) 一般的な論文構成について解説した後に 各自持参した論文をもとに、論文の構成について確認。 研究内容によっても様々な論文の書き方があることを再認識して もらう。		各自が収集した先行研究の構成等を中心に論文分析をしてくる。 (内容、構成、引用文献の書き方、先行研究の表記など) (1 時間)		
4	論文分析(宿題)のチェック。 収集した先行研究を使って、先行研究の情報の書き方を確認し、 ノートに実際に記入する。さらに、ネット上の検索エンジンを使って 関係論文の探し方を個々に指導する。		授業内で書く予定である論文のテーマ、概要をまとめる。 参考文献の収集を引き続き行う。(1 時間)		
5	各自は書く予定である論文の内容の確認およびアドバイスを 受けたうえで、修正を行なう。		自分の最終論文のテーマ、問題提起、研究の方法、論文の構成、 研究の背景、先行研究のまとめ、予想される結論等の概要を作成 する。 (1 時間)		
6	各自作成の最終論文に関する概要をまとめたものを冊子にして 配布。クラスメートの論文概要について、疑問点およびコメントを 書く。		クラスメートから出された疑問点について回答、解説をレポート形式 で作成する。(1 時間)		
7	コメント・疑問に対する回答、解説をチェック。 収集した先行研究の内容をまとめる。アドバイスを受けたのち 修正する。		先行研究のまとめの完成、および研究背景についてまとめる。 (1 時間)		

8	本論の作成(1) 内容、構成、章だてについてその都度教員のアドバイスをうけて修正していく。	本論の下書きを進めて、できたところまでを毎週チェックを受けて、修正していく。(1時間)
9	本論の作成(2) 内容、構成、章だてについてその都度教員のアドバイスをうけて修正していく。	本論の下書きを進めて、できたところまでを毎週チェックを受けて、修正していく。(1時間)
10	本論の作成(3) 内容、構成、章だてについてその都度教員のアドバイスをうけて修正していく。	本論の下書きを進めて、できたところまでを毎週チェックを受けて、修正していく。(1時間)
11	本論の作成(4) 内容、構成、章だてについてその都度教員のアドバイスをうけて修正していく。	本論の下書きを進めて、できたところまでを毎週チェックを受けて、修正していく。(1時間)
12	本論が完成したら、「はじめに(序論)」「おわりに(結論／まとめ)」の下書きに入る。内容の確認およびアドバイスを受けたうえで、修正を行なう。	論文の完成版を提出。(1時間)
13	各自の論文を冊子にして配布。クラスメートの論文について、評価を行なったうえで、疑問点およびコメントを書く。	クラスメートから出された疑問点について回答、解説をレポート形式で作成する。(1時間)
14	発表を仮定したレジメの作成 ノートを提出	論文の最終修正をする。(1時間)
15	論文の最終版を提出 ノート返却 講評	これまでの学習をもとに、さらに論文を発展するための資料集めおよび研究の方向性を考える。(1時間)

評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など		
期末レポートなど		60	授業への参加度など		20
小テストなど			その他①()		
宿題など		20	その他②()		
プレゼンテーションなど			その他③()		

教科書	配布プリント,生教材
参考文献等	授業内で紹介する
関連科目など	その他の応用日本語科目
履修の留意点	欠席する／した場合は必ず授業前／後に連絡し、次回授業前に研究室に来て課題を受け取って次回の授業で提出すること。
連絡先／オフィスアワー	場所:307 オフィスアワー(及び時間帯): 火曜日4限 メールアドレス: niida@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名	応用日本語 VI(ビジネス日本語)			科目NO	400
担当教員	大谷 鉄平	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
◎	○			○	
履修要件	プレイメントテストで日本語8のレベルにプレイされた学生				
科目規定	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。				
授業の概要	本授業では、プロジェクト学習を通して、ビジネスに関するさまざまな事柄を学びます。プロジェクト学習とは、企画→実施→成果物の作成→評価という一連の流れで、あるテーマについて追求する学習活動です。本授業はビジネス日本語の授業ですので、ビジネスに関係するテーマを扱います。テーマは、履修するみなさんと一緒に考えて決めます。テーマ例としては、長崎に来る外国人観光客向けのサービスの開発、長崎在住外国人向け多言語生活情報発信の環境整備、大学内のランチ環境の整備と改善などです。				
授業の目標	A:「プロジェクトのテーマに関する課題について、多面的に分析できるとともに、その解決策を考えることができる」ことを目指します。 B:「学生同士やプロジェクトの外部関係者と協力して活動できるとともに、プロジェクトの進捗を自分たちで管理し、自律的に活動に取り組むことができる」ことを目指します。 E:「学生同士や関係者との円滑なコミュニケーションができるとともに、ビジネスにふさわしいコミュニケーションができるようになる」ことを目指します。				
授 業 計 画					
回数			授業外の学習時間と内容の指示		
1	オリエンテーション		オリエンテーション時に配布した資料の熟読(1 時間)		
2	グループワーク① (ビジネス用語、表現、敬語表現等の確認)		テーマに関する情報収集および復習(1 時間)		
3	グループワーク① (収集した情報に関するグループ内討議と発表、全体討議)		他グループを含む収集情報のまとめ(1 時間)		
4	グループワーク① (ビジネス場面を想定した劇の構想ならびに台本の作成)		台本のグループ内での調整(1 時間)		
5	グループワーク① (劇の発表とグループ内での自主考察および全体討議)		小テストへの準備(1 時間)		
6	小テスト①		ビジネスに関する動画、ニュース、ドラマ等のデータ収集(1 時間)		
7	グループワーク② (各自持ち寄ったデータに関するグループ内討議と発表、全体討議)		他グループを含む情報収集のまとめ(1 時間)		
8	グループワーク② (選別したデータの視聴および全体討議、まとめ)		重要語句・表現等の自主的なまとめ(1 時間)		
9	グループワーク② (選別したデータの視聴および全体討議、まとめ)		重要語句・表現等の自主的なまとめ(1 時間)		
10	グループワーク② (選別したデータの視聴および全体討議、まとめ)		小テストへの準備(1 時間)		
11	小テスト②		ビジネスに関する書籍・雑誌・新聞・漫画等の情報収集(1 時間)		
12	グループワーク③ (使用書物のグループ内での選別と発表、全体討議)		各グループ毎の選別書物購入、使用箇所のコピー(1 時間)		
13	グループワーク③ (使用書物のグループ内での選別と発表、全体討議)		重要語句・表現等の自主的なまとめ(1 時間)		

14	グループワーク③ (使用書物のグループ内での選別と発表、全体討議)	重要語句・表現等の自主的なまとめ(1 時間)		
15	グループワーク③ (使用書物のグループ内での選別と発表、全体討議)	小テストへの準備(1 時間)		
評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など	25
期末レポートなど			授業への参加度など	25
小テストなど		30	その他①()	
宿題など			その他②()	
プレゼンテーションなど		30	その他③()	
教科書	使いません。			
参考文献等	活動の必要性に応じて紹介します。また積極的に自分たちで参考文献を探すことを推奨します。			
関連科目など	特になし。			
履修の留意点	本授業は学生同士の協力や自律的な取り組みが強く求められます。協力して作業ができない学生や、他の学生に作業を任せて自分は何もしない学生などは授業期間の途中でも履修をやめてもらうことがあります。また、選択するテーマによっては、学外での活動が多くなることが考えられます。学外活動の時間や交通費(長崎市内に行く程度)が必要なこともあらかじめ理解しておいてください。			
連絡先／オフィスアワー		研究室 :331	オフィスアワー: 火 4 限	メール: teppeikun09@yahoo.co.jp

科目名	応用日本語 Ⅷ(日本の近・現代小説)			科目NO	400
担当教員	宮崎 聖乃	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
◎	○			○	
履修要件	プレイメントテストで日本語8のレベルにプレイされた学生				
科目規定	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。				
授業の概要	夏目漱石、村上春樹、伊坂幸太郎など日本語の近・現代小説とその映像化作品を取り上げ、作品を味わうとともに日本の社会・文化に対する理解を深める。読解ではあらかじめ配布する語彙シートを使って語彙や表現を増やすとともに内容を予測して読み進め、読む前と後にディスカッションを行う。また題材ごとに小説では感想を映像化作品ではこれから見る人のためのレビューをまとめる。この授業を通して、日本の小説がより身近なものになることを期待する。				
授業の目標	A: 既習の知識を活かし、小説や映像作品を理解することができる。 B: 社会的・文化的コンテキストを理解し、小説や映像作品を鑑賞・評価することができる。 E: 他者に配慮しつつ、自分の意見や感想、予測を述べることができる。				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習時間と内容の指示	
1	オリエンテーション、教材①小説「夢十夜 第一夜」(夏目漱石)読む前に			教材①語彙シート(前半)の予習(1 時間)	
2	教材①小説「夢十夜一第一夜」(前半)／ディスカッション			教材①語彙シート(後半)の予習(1 時間)	
3	教材①小説「夢十夜一第一夜」(後半)／ディスカッション			感想をまとめる(1 時間)	
4	教材②映画「ユメ十夜 第六夜／第七夜」視聴／ディスカッション			映画「ユメ十夜 第七夜」あらすじ	
5	教材③映画「アヒルと鴨のコインロッカー」前半①			教材③まとめシートの記入(1 時間)	
6	教材③映画「アヒルと鴨のコインロッカー」前半②／ディスカッション			教材③まとめシートの記入(1 時間)	
7	教材③映画「アヒルと鴨のコインロッカー」後半／ディスカッション			レビューを書く／教材④予習シート記入(1 時間)	
8	教材④小説「アヒルと鴨のコインロッカー(部分)」(伊坂幸太郎)			教材④まとめシートの記入(1 時間)	
9	教材④小説「アヒルと鴨のコインロッカー(部分)」(伊坂幸太郎)／ ディスカッション			感想をまとめる／教材⑤の語彙シートの予習(1 時間)	
10	教材⑤小説「4月のある晴れた日に 100 パーセントの女の子と出会うことについて」(村上春樹「カンガルー日和」より)／ディスカッション			教材⑤語彙シートの予習(1 時間)	
11	教材⑤小説「4月のある晴れた日に 100 パーセントの女の子と出会うことについて」(村上春樹「カンガルー日和」より)			感想をまとめる(1 時間)	
12	教材⑥小説「チーズケーキの形をした僕の貧乏」(村上春樹「カンガルー日和」より)			教材⑦語彙シートの予習(1 時間)	
13	教材⑥小説「チーズケーキの形をした僕の貧乏」(村上春樹「カンガルー日和」より)／ディスカッション			感想をまとめる(1 時間)	
14	教材⑦短編映画「100%の女の子／パン屋襲撃」／ディスカッション			レビューを書く／教材⑦語彙シートの予習(1 時間)	
15	ビブリオバトル			最終レポートの準備	
評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など		
期末レポートなど		20	授業への参加度など		10
小テストなど			その他①()		
宿題など		70	その他②()		
プレゼンテーションなど			その他③()		

教科書	授業内で配布
参考文献等	授業内で紹介
関連科目など	その他の応用日本語科目
履修の留意点	特になし
連絡先／オフィスアワー	研究室： 417 オフィスアワー： 水曜4限(この時間以外はアポにて対応) メール： miyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名	日中翻訳演習 1A			科目NO	300
担当教員	クラス1（日本語6対象）： 楊 暁安 クラス2（日本語5対象）： 趙 紅林	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
◎		○			○
履修要件	初中レベルの日本語能力有する中国人留学生向けの講義				
科目規定	様々なテキストを用いて、日本語と中国語を相互に翻訳する基礎的な能力を養う。				
授業の概要	日本語を中国語に訳することを目的とする科目である。最初に簡単な文章を翻訳することから初め、徐々に新聞、雑誌、小説などに、掲載される記事や文章を訳す。				
授業の目標	A: 中国語と日本語の言語構造の特徴を理解し、翻訳する時の対応法を習得すること。 B: 和文中訳の演習を通して、翻訳のテクニックを身につけること。 E: 翻訳によって、日本の伝統、文化、社会への理解をより一層深めること。				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習時間と内容の指示	
1	授業について、授業外学習などについて 授業のやり方 グループ分け			グループで翻訳もの決める（1時間）	
2	翻訳の一般的技法(1) 単語 ことわざ 習慣用語など			グループで訳した文章提出（1時間）	
3	翻訳の練習 (加訳) について事例訳、翻訳練習			グループで訳した文章提出（1時間）	
4	翻訳の一般的技法(2) (減訳) について事例訳、翻訳練習			グループで訳した文章提出（1時間）	
5	翻訳の練習 (反訳) について事例訳、翻訳練習			グループで訳した文章提出（1時間）	
6	翻訳の一般的技法(3) (反訳) について事例、翻訳練習			グループで訳した文章提出（1時間）	
7	翻訳の練習 (拆訳) について事例、翻訳練習			グループで訳した文章提出（1時間）	
8	翻訳の練習			グループで訳した文章提出（1時間）	
9	短文翻訳 (～のように)と(～ほど)(数一)などについて翻訳練習			グループで訳した文章提出（1時間）	
10	翻訳練習			グループで訳した文章提出（1時間）	
11	短文翻訳練習			グループで訳した文章提出（1時間）	
12	短文翻訳			グループで訳した文章提出（1時間）	
13	通訳演習 四人一組で 二人が日本語を読んで、二人でその場で中国語に訳す。			グループで訳した文章提出（1時間）	

14	通訳演習四人一組で 二人が日本語を読んで、 二人でその場で中国語に訳す。	グループで訳した文章提出（1時間）		
15	まとめ、試験について	試験の準備 辞書用意すること(1時間)		
評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)		60	授業時態度など	10
期末レポートなど			授業への参加度など	10
小テストなど		10	その他①()	
宿題など		10	その他②()	
プレゼンテーションなど			その他③()	
教科書	プリント配布など			
参考文献等	日中、中日翻訳、通訳に関する本			
関連科目など	自分のレベルの日本語科目			
履修の留意点	筆記用具、辞書を必携すること			
連絡先／オフィスアワー		楊 暁安 メール: xiaoan@nagasaki-u.ac.jp 趙 紅林 メール: hu5jp@higbbiq.jp		

科目名	日中翻訳演習 2A			科目NO	400
担当教員	楊 暁安	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
◎	○			○	
履修要件	特に厳しい前提条件は付けません。				
科目規定	様々なテキストを用いて、日本語と中国語を相互に翻訳するより高度な能力を養う。				
授業の概要	本講では、日本語を中国語に翻訳するための基本的な方法と技巧を教授する。すでに学生は日本語を中国語に翻訳する基本的な知識を習得しているが、複雑な句や短文の翻訳についてはさらに進んだ専門的な学習が必要である。そこで、本講では三段階に分けて講義と訓練を進める。第一段階では短文の翻訳の構造を復習し、まず学生に日本語と中国語の基本的な構造上の対応関係を理解させ、最も基本的な文型が比較的流暢に翻訳できるようにする。第二段階では雑誌や新聞のニュースなどの翻訳を通して中国語表現の構造を整理し、比較的複雑ではあるが、やや短めの文章を正確に翻訳することに留意する。第三段階では具体的に代表的な日本の散文、小説を選んで翻訳を進める。この段階では原文の意味の正確な翻訳に心がけ、構文とことばの美しさに留意しつつ、さまざまなテキストを用いて、日本語と中国語を相互に翻訳するより高度な能力を養う。				
授業の目標	A: 翻訳についての基本的な認識を確立し、中国語と日本語の間での翻訳における特徴を理解すること。 B: さまざまな文章の翻訳を通じて、翻訳の理論と実践についての基礎を固めること。 E: 複雑な日本語文章を読んで、美しい中国語で表現できること。				
授 業 計 画					
回数	授業内容			授業外の学習時間と内容の指示	
1	受け身構文の翻訳 シラバス(授業計画、評価方法)の確認 日中両言語の受け身表現の比較 日本語受け身表現、直接受け身、間接受け身(迷惑の受身と持主受身) 各型受け身文の翻訳 文章の翻訳			学修内容の復習 宿題: 600字文章の翻訳	
2	使役文の翻訳 日中両言語の使役表現の比較 日本語の使役表現、被役表現、使役の助動詞、使役動詞各型使役文の翻訳 文章の翻訳			学修内容の復習 宿題: 1000字文章の翻訳	
3	た・ているの翻訳 「た」形の用法: 完了、さしそめた要求や命令、忘れていたことの想起、確認、期待していたことの実現 「ている」の用法: 動作の進行・継続、結果の状態を表す、実現・未実現、反復、経歴・記録、性質・特徴 各型「た」「ている」文の翻訳 文章の翻訳			学修内容の復習 宿題: 800字文章	
4	文章の翻訳(1) 乙武洋匡『五体不満足』の選訳			宿題: 1200字文章の翻訳	
5	転換と翻訳 転換: 品詞の転換、肯定・否定の転換、単文・複文の転換、主動文・受動文の転換、受動文・使役文の転換、疑問・推測・命令・呼びかけ・誇張など表現の転換 文章の翻訳			学修内容の復習 宿題: 850字文章の翻訳	
6	否定と反対訳 日本語の否定表現: 全否定・部分否定、二重否定・多重否定 反対訳: 肯定→否定、否定→肯定 文章の翻訳			学修内容の復習 宿題: 800字文章の翻訳	
7	語順と順訳・逆訳 概念訳と説明訳を使い分ける 順訳・逆訳を適用する 文章の流れをつくる文章の翻訳			学修内容の復習 宿題: 1200字文章の翻訳	
8	長文の分訳と短文の合訳 長文構造と短文構造 長文と短文の表現の比較 分訳の語順 文章の翻訳			学修内容の復習 宿題: 1200字文章	
9	文章の翻訳(2)[情景の描写] 安部公房『砂の女』の選訳			宿題: 800字文章の翻訳	
10	文章の翻訳(3)[回想録] 村上春樹『ノルウェイの森』の選訳			宿題: 1000字文章の翻訳	
11	文章の翻訳(4)[会話文] 石川達三『青春の蹉跎』の選訳			宿題: 1500字文章の翻訳	

12	文章の翻訳(5)[小説] 夏目漱石『坊っちゃん』の選訳	宿題: 1500字文章の翻訳		
13	詩の翻訳 詩の翻訳の基準 和歌と俳句の翻訳 現代詩の翻訳 歌詞の翻訳	宿題: 海援隊『贈る言葉』(歌詞)の翻訳		
14	総合復習 多種類作品の翻訳の比較 芥川龍之介『手巾』の翻訳①	宿題: 1000字文章の翻訳		
15	授業の総括 授業内容の総復習 芥川龍之介『手巾』の翻訳②	宿題: 800字文章の翻訳		
評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)		60	授業時態度など	10
期末レポートなど			授業への参加度など	10
小テストなど			その他①()	
宿題など		20	その他②()	
プレゼンテーションなど			その他③()	
教科書	プリントを配布			
参考文献等	庵春蘭 編著『新編日漢翻訳教程』 北京大学出版社 1998年3月			
関連科目など	「応用日本語」などの日本語科目			
履修の留意点	辞書は必携。電子辞書でも構いません。			
連絡先／オフィスアワー	メール: xiaoan@nagasaki-u.ac.jp			

科目名	日韓翻訳演習 A			科目NO	400
担当教員	梁 正善	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
◎	○			○	
履修要件	N1に合格していること。				
科目規定	様々なテキストを用いて、日本語と韓国語を相互に翻訳するより高度な能力を養う。				
授業の概要	韓国語母語話者の留学生を対象として主に翻訳のための基礎的な事項について学ぶ。また、対照言語学的な視点から日本語から韓国語への翻訳の際に注意すべき点、発想や表現の差異などについて考察する。Snsの活動を積極的にすること。				
授業の目標	A: 日本語力に加えて、翻訳に必要な母語力をレベルアップさせる。 B: 翻訳への基礎知識を分野別に踏まえてから、実践的な翻訳演習へと。 E: 翻訳を通してより自然なコミュニケーションを目指す。				
授 業 計 画					
回数	授業内容			授業外の学習の指示他	
1	シラバス(授業計画、方法)の確認、授業の前に翻訳の小テスト。			翻訳の小テストを通して各自レベルを確認。	
2	役割語のクイズ。小論文を用い、役割語について説明。			韓国人母語話者が間違いやすい論文を用い、各自要約してくることと要約を発表。	
3	翻訳とはなんのか？概要の説明を行う。			翻訳の課題。	
4	韓国の童話を日本語で翻訳された書物を用い講義(つまらなくさ)。特にオノマトペ(擬声語・擬態語+用言)の翻訳にポイント置きながら注意事項を説明。			各自日本の童話を用い韓国語で翻訳して発表。	
5	翻訳に関する韓国語文規定(分かち書き)について説明。基礎語彙の翻訳のテスト。新聞のコラムの翻訳の注意事項の講義			新聞のコラムを各自選び翻訳し発表。	
6	新聞の「天声人語」の翻訳の講義。			受講生に同じ日付の「天声人語」を翻訳してもらい発表。発表した後に他の学生との翻訳の違いを感想にまとめる。	
7	辞書にもない語彙の翻訳の説明とテスト。歌と詩(ポエム)の翻訳。			各自好きな歌と詩を選び翻訳して発表。	
8	韓国語文規定についての講義(外来語の表記について)、ドラマの翻訳について説明。韓国ドラマの翻訳について(冬ソナタ、ドリームハイ、派遣の品格等)			各自、日本ドラマ(5~10分の内容と台詞も打ちこんでくこと)を用い字幕を韓国語に変えて翻訳してきて発表。	
9	漫画翻訳(のだめカンタービレ)の注意事項を説明。卒業した先輩の漫画翻訳を閲覧。			各自、日本の漫画を10ページ以上の翻訳してSNSで載せてそれをみて各自コメントをつける。そして、授業で発表。	
10	両言語の相違点を全般的に説明。特に翻訳する際に注意事項の講義と小テスト。小説(冷静と情熱の間)の翻訳についての講義。			各自、日本の小説を10ページ以上読み翻訳してきて発表。	
11	日本の商品の説明文を翻訳する際の注意事項と実例を説明。翻訳の言い回しについて小テストと講義。			各自、日本の商品の説明文を翻訳してきて発表(お菓子、ゲームソフト、カイロ等)	
12	パンフレットの翻訳の注意事項と実際パンフレット(韓国のナミ島の韓国語版と翻訳版)の翻訳を比べて講義。慣用表現の翻訳の資料配布、感情表現の翻訳資料を配布。			パンフレットの翻訳課題1をSNSで載せること。課題を読み各自コメントを書くこと。	
13	パンフレットの翻訳2の講義(世界遺産登録)			パンフレットの翻訳課題2をSNSで載せること。課題を読み各自コメントを書くこと。	
14	パンフレットの翻訳3(長崎さるく)			パンフレットの翻訳課題3をSNSで載せること。課題を読み各自コメントを書くこと。	

15	期末レポートの説明。		今までの復習	
評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)/期末レポートなど		50	授業時態度など	20
小テストなど			授業への参加度など	15
宿題など		15	その他①()	
プレゼンテーションなど			その他②()	
教科書	テキスト購入は必要はありません。その都度、プリントを配ります。			
参考文献等	번역투의 유혹 일본어가 우리말을 잡아먹었다고? 이학사 役割語研究の展開 金水 敏編 くろしお出版, 우리말 알고 쓰기 경진문화사,			
関連科目など	日本語語学科目全般			
履修の留意点	毎回、課題を提出すること。日韓・韓日辞書を持参すること(電子辞書でも構いません)、欠席は必ず一両日中に連絡すること。			
連絡先/オフィスアワー	研究室: 310 オフィスアワー: 水曜日 4時限 メール: yang@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			

科目名	資格試験日本語 2A			科目NO	200
担当教員	田島 紀子	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
◎	○	○			
履修要件	日本語能力試験N3相当の文法を学習したことがある学生。第1週に行われるプレメントテストを受け、その指示に従うこと。				
科目規定	日本語能力試験対策に特化して、文法や表現などを学習する。				
授業の概要	日本語能力試験N3の高得点での合格、N2の受験を目指し、N3文法の復習及びN2レベルの文法の授業を行う。受講者は毎週、自分で問題を解き、疑問点や質問事項を整理して提出しなければならない。授業は毎回、受講者から提出された課題をもとに解説・練習等を行う。				
授業の目標	A: N3、N2レベルの文法・表現を理解し、適切に使うことができる。 B: 未知の文法・表現について、文脈や既知の知識に基づいて、意味を推測したり、使い方を考えたりすることができる。 C: 自らの文法知識を整理し、自律的に学習を進めることができる。				
授 業 計 画					
回数			授業外の学習時間と内容の指示		
1	J-cat オンラインにてクラス分けテスト		事前にシラバスを読んでおく(1 時間)		
2	シラバス(授業計画・評価方法)の確認 課題①実施・回収 (課題①～⑤は N3 の復習)課題②配布		課題②の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1 時間)		
3	課題①解説、課題②回収、課題③配布		課題③の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1 時間)		
4	課題②解説、課題③回収、課題④配布		課題④の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1 時間)		
5	課題③解説、課題④回収、課題⑤配布		課題⑤の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1 時間)		
6	課題④解説、課題⑤回収、課題⑥配布		課題⑥の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1 時間)		
7	課題⑤解説、課題⑥回収、課題①～⑤の復習		中間試験に向けて課題①～⑤を復習(1 時間)		
8	中間試験(試験範囲は課題①～⑤)課題⑦配布		課題⑦の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1 時間)		
9	テスト返却・解答解説、課題⑥解説、課題⑦回収・課題⑧配布		課題⑧の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1 時間)		
10	課題⑦解説、課題⑧回収、課題⑨配布		わからなかった単語、文型を整理し復習、課題⑨の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1 時間)		
11	課題⑧解説、課題⑨回収、課題⑩配布		課題⑩の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1 時間)		
12	課題⑨解説、課題⑩回収、復習プリント①配布		復習プリント①を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1 時間)		
13	課題⑩解説、復習プリント①回収		課題⑩の復習(1 時間)		
14	復習プリント①解説		課題⑥～⑩のプリントや授業で使ったプリントを見て期末試験へ向けて復習する(1 時間)		
15	まとめ(課題⑥～⑩の復習)、復習プリント②配布		復習プリント②を解き、正解を確認する。疑問点や質問事項をこれまでの授業で使ったプリントを見て確認する(1 時間)		

評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)		60	授業時態度など		
期末レポートなど			授業への参加度など		10
小テストなど			その他①()		
宿題など		30	その他②()		
プレゼンテーションなど			その他③()		
教科書	毎回の授業で課題プリント及びレジュメを配布する。				
参考文献等	「日本語能力試験 文のルールN3」、「日本語能力試験 文のルールN2」(スリーエーネットワーク)、日本語能力試験N2・N2試験に出る文法と表現(木原書店)、他授業の中で紹介する。				
関連科目など	その他の日本語科目				
履修の留意点	3回以上、課題を提出しなかった者、不可となった者は失格とする。				
連絡先／オフィスアワー		場所: 340日本語教育準備室 オフィスアワー(及び時間帯): 授業時間前後 メールアドレス: cloverdale1027@yahoo.co.jp			

科目名	資格試験日本語 3A			科目NO	300
担当教員	宮崎 聖乃	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
◎	○	○			
履修要件	プレイスメントテストを受講し、その指示に従うこと				
科目規定	日本語能力検定試験対策に特化して、文法や表現などを学習する。				
授業の概要	2015年度日本語能力試験N1受験に向けて、N2レベルの復習とN1の準備を行う。受講者は毎週、与えられた課題を解き、疑問点や質問事項を整理して提出しなければならない。授業は受講者から提出された課題をもとに解説・練習等を行う。				
授業の目標	A: N1合格レベルの知識を身につけることができる B: 基礎的な知識を応用させて問題を読み解くことができる C: 目標をもって学習できる				
授 業 計 画					
回数			授業外の学習時間と内容の指示		
1	オリエンテーション／診断テスト、課題配布(文法①)		文法①の課題に取り組み、次の授業に備える。(1 時間)		
2	診断テスト解説、文法①回収、課題配布(文法②)		文法②の課題に取り組み、次の授業に備える。(1 時間)		
3	文法①解説、文法②回収、課題配布(文法③)		文法③の課題に取り組み、次の授業に備える。(1 時間)		
4	文法②解説、文法③回収、課題配布(文法④)		文法④の課題に取り組み、次の授業に備える。(1 時間)		
5	文法③解説、文法④回収、課題配布(文法⑤)		文法⑤の課題に取り組み、次の授業に備える。(1 時間)		
6	文法④解説、文法⑤回収、課題配布(文法⑥)		文法⑥の課題に取り組み、次の授業に備える。(1 時間)		
7	文法⑤解説、文法⑥回収		中間試験に向けての準備(1時間)		
8	中間試験、課題配布(文法⑦)		文法⑦の課題に取り組み、次の授業に備える。(1 時間)		
9	文法⑥解説、文法⑦回収、課題配布(文法⑧)		文法⑧の課題に取り組み、次の授業に備える。(1 時間)		
10	文法⑦解説、文法⑧回収、課題配布(文法⑨)		文法⑨の課題に取り組み、次の授業に備える。(1 時間)		
11	文法⑧解説、文法⑨回収、課題配布(文法⑩)		文法⑩の課題に取り組み、次の授業に備える。(1 時間)		
12	文法⑨解説、文法⑩回収、課題配布(まとめプリント①)		まとめ①の課題に取り組み、次の授業に備える。(1 時間)		
13	文法⑩解説、まとめプリント①回収、課題配布(まとめプリント②)		まとめ②の課題に取り組み、次の授業に備える。(1 時間)		
14	まとめプリント①解説、まとめプリント②回収		総復習(1時間)		
15	まとめプリント②解説、		総復習(1時間)		
評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)		60	授業時態度など		
期末レポートなど			授業への参加度など		
小テストなど		20	その他①()		
宿題など		20	その他②()		
プレゼンテーションなど			その他③()		
教科書	プリント配布				

参考文献等	授業中に指示
関連科目など	自分が履修する日本語の授業
履修の留意点	毎回の課題に必ず取り組むこと
連絡先／オフィスアワー	miyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp 水曜4限 417研究室 この時間以外はアポにて対応

科目名	漢字語彙 4			科目NO	200
担当教員	非漢字圏: 宮崎 聡子	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
◎		○			○
履修要件	漢字を500字程度学習したことがある学生。 非漢字圏の留学生対象のクラスです。				
科目規定	漢字および語彙に特化した学習を通して、その運用能力を高めることを目的とする。				
授業の概要	日本語能力試験(JLPT)2級レベルの漢字を学習します。テキストを使って、1週間に約35漢字を勉強します。漢字だけでなく、その漢字を使った語彙も多く取り入れ、漢字・語彙力の向上を目指します。学習した漢字は、翌週、クイズがあります。クイズは毎週あります。セメスターの最後に期末試験を行います。				
授業の目標	A:「日本語能力試験N2レベルの漢字語彙の意味がわかり読めるようになる」ことを目指します。 B:「学習した漢字語彙を使った文章を読んだり書いたりできるようになる」ことを目指します。 E:「学習した漢字の使われる文章を読み、その内容について意見交換できるようになる」ことを目指します。				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習時間と内容の指示	
1	授業内容についての説明および実力診断テスト			次回扱う内容についての予習(漢字・語彙)(1時間)	
2	家庭用品で見る漢字の読み、意味確認。同じ部分・同じ音読みを持つ漢字の整理①			今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。 家庭用品のパッケージの漢字を調べる。(1時間)	
3	前週分のクイズ。家庭用品で見る漢字の読み、意味確認。同じ部分。同じ音読みを持つ漢字の整理②			今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。 家庭用品のパッケージの漢字を調べる。(1時間)	
4	前週分のクイズ。食品で見る漢字の読み、意味確認。同じ部分、同じ音読みを持つ漢字の整理③			今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。 食品の漢字を調べる。(1時間)	
5	前週分のクイズ。広告・チラシで見る漢字の読み、意味確認。同じ部分を持つ漢字の整理④			今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。 広告の漢字を調べる。(1時間)	
6	前週分のクイズ。広告・地図で見る漢字の読み、意味確認。同じ部分を持つ漢字の整理⑤			今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。 広告の漢字を調べる。(1時間)	
7	前週分のクイズ。展示室などで見る漢字の読み、意味確認。同じ部分を持つ漢字の整理(復習)			今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。 (1時間)	
8	前週分のクイズ。求人募集で見る漢字の読み、意味確認。複数訓読みがある漢字の整理①			今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。 求人広告の漢字を調べる。(1時間)	
9	前週分のクイズ。メニューで見る漢字の読み、意味確認。複数訓読みがある漢字の整理②			今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。 成分表示の漢字を調べる。(1時間)	
10	前週分のクイズ。気象情報で見る漢字の読み、意味確認。複数訓読みがある漢字の整理③			今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。 気象情報の漢字を調べる。(1時間)	
11	前週分のクイズ。新聞で見る漢字の読み、意味確認。複数訓読みがある漢字の整理④			今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。 新聞見出しの漢字を調べる。(1時間)	
12	前週分のクイズ。新聞で見る漢字の読み、意味確認。読みが複数ある漢字の整理①			今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。 新聞見出しの漢字を調べる。(1時間)	
13	前週分のクイズ。新聞で見る漢字の読み、意味確認。読みが複数ある漢字の整理②			今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。 新聞見出しの漢字を調べる。(1時間)	
14	前週分のクイズ。総復習1			総復習(1時間)	
15	総復習2。期末クイズ			総復習(1時間)	

科目名	漢字語彙 4			科目NO	200			
担当教員	漢字圏: 大谷 敦子	評価方法	使用言語	日本語	単位	法 1 配分(%)		
授業の到達目標								
A		B		C		D	E	
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力		学習に取り組む 態度・意欲		コラボレーションと リーダーシップ		効果的な コミュニケーション力
◎		○						○
履修要件	日本語能力試験対策、日本語総まとめ、N2漢字 漢字を500字程度学習したことがある学生。漢字圏の短期留学生対象のクラスです。							
科目規定	漢字に及び語彙で特化した学習を通して、その運用能力を高めることを目的とする。							
授業の概要	日本語能力試験(JLPT)1級レベルの漢字を学習します。テキストを使って、1週間に約4ページ進めます。漢字だけでなく、その漢字を使った語彙も多く取り入れ、漢字・語彙の両方を伸ばすことを目指します。また、生教材を用いた発表等の演習も行います。							
授業の目標	この授業は非漢字圏出身学生を対象として考えています。漢字圏出身学生が履修する場合は、クラス分けや学習内容がシラバスどおりに A、「日本語能力試験N2レベルの漢字語彙の意味がわかり読めるようになる」ことを目指します。 B、「学習した漢字語彙を使った文章を読んだり書いたりできるようになる」ことを目指します。 C、「学習した漢字の使われる文章を読み、その内容について意見交換できるようになる」ことを目指します。 漢字は授業だけでなく自学自習が大切です。予習・復習ができない学生の履修は歓迎しません。 30分以上の遅刻または早退は、欠席として扱います。また、遅刻3回で欠席1回として扱います。							
授 業 計 画								
連絡先／オフィスアワー		宮崎 聡子 研究室: 331 オフィスアワー: 木曜4限 メール: smiyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp						

回数		授業外の学習時間と内容の指示
1	授業内容についての説明	次回扱う内容についての予習(漢字・語彙) (1 時間)
2	漢字の読み、意味確認。同じ部分・同じ音読みを持つ漢字の整理①	今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。(1 時間)
3	漢字の読み、意味確認。同じ部分。同じ音読みを持つ漢字の整理②	今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。(1 時間)
4	漢字の読み、意味確認。同じ部分、同じ音読みを持つ漢字の整理③	今週扱った漢字語彙の復習。発表準備 (1 時間)
5	店舗で見る漢字の発表。全体での読み、意味確認①	今週扱った漢字語彙の復習。発表準備 (1 時間)
6	店舗で見る漢字の発表。全体での読み、意味確認②	今週扱った漢字語彙の復習。発表準備 (1 時間)
7	店舗で見る漢字の発表。全体での読み、意味確認③	中間試験準備(1 時間)
8	中間試験	次週分の漢字語彙の予習。(1 時間)
9	漢字の読み、意味確認。複数訓読みがある漢字の整理①	今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。(1 時間)
10	漢字の読み、意味確認。複数訓読みがある漢字の整理②	今週扱った漢字語彙の復習と次週分の漢字語彙の予習。(1 時間)
11	漢字の読み、意味確認。複数訓読みがある漢字の整理③	今週扱った漢字語彙の復習。発表準備 (1 時間)
12	書字媒体で見る漢字の発表。全体での読み、意味確認①	今週扱った漢字語彙の復習。発表準備 (1 時間)
13	書字媒体で見る漢字の発表。全体での読み、意味確認②	今週扱った漢字語彙の復習。発表準備 (1 時間)
14	書字媒体で見る漢字の発表。全体での読み、意味確認③	今週扱った漢字語彙の復習。(1 時間)
15	総復習	期末試験準備(1 時間)

評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(期末)		50	授業時態度など		10
期末レポートなど			授業への参加度など		20
小テストなど(漢字クイズ)			その他①()		
宿題など			その他②()		
プレゼンテーションなど		20	その他③()		
教科書	日本語能力試験対策 日本語総まとめ N1漢字				
参考文献等	必要に応じて適宜紹介します。				
関連科目など	日本語4				
履修の留意点	Kanji and Vocabulary4B と同じ学習内容を扱います。 この授業は非漢字圏出身学生を対象として考えています。漢字圏出身学生が履修する場合は、クラス分けや学習内容がシラバスどおりにならない場合がありますので、あらかじめそのことを理解して履修してください。詳細は、第1回目のオリエンテーション時の指示に従ってください。 漢字は授業だけでなく自学自習が大切です。予習・復習ができない学生の履修は歓迎しません。また、グループワークによる発表もありますので、他の学生と協調できない学生の履修も歓迎しません。				
連絡先／オフィスアワー		大谷 鉄平 研究室 :331 オフィスアワー: 火4限 メール: otani@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			

科目名	ビジネス日本語 A			科目NO	300
担当教員	大谷 鉄平	使用言語	日本語	単位	1
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
○	○			◎	
履修要件	日本語5以上にプレイスされた、中級レベル以上の日本語力を持っていること。				
科目規定	ビジネスにおける日本語の運用に特化し、日本語能力の向上を目的とする。				
授業の概要	すでに身につけている日本語運用能力をフルに活かし、日本語でビジネス・経済・マーケティングに関する洞察力を磨きます。 本授業では、グループワークによる発表ならびに全体討議の形式をとり、総合的かつ実践的な日本語能力を磨きます。				
授業の目標	A:「扱うケースに関連するビジネス上の知識や文化を理解できるようになる」ことを目指します。 B:「扱うケースに関する課題を適確に把握したり、その解決方法として適切な方法を考えることができるようになる」ことを目指します。 E:「ケースの読解やディスカッションを行うことを通して、高度なコミュニケーションができるようになると同時に、ビジネス場面で必要とされるコミュニケーションとはどういうことか理解できるようになる」ことを目指します。				
授 業 計 画					
回数			授業外の学習時間と内容の指示		
1	オリエンテーション		オリエンテーション時配布資料の熟読(1 時間)		
2	発表デモンストレーション、グループ決め		次回範囲の予習(1 時間)		
3	第1章「行動経済学ってなんだ？」(1)		授業のふりかえり(1 時間)		
4	第1章「行動経済学ってなんだ？」(2)		次回範囲の予習(1 時間)		
5	第2章「人間の本質をとらえる」(1)		授業のふりかえり(1 時間)		
6	第2章「人間の本質をとらえる」(2)		次回範囲の予習(1 時間)		
7	第3章「直感ハバカにできない」(1)		授業のふりかえり(1 時間)		
8	第3章「直感ハバカにできない」(2)		次回範囲の予習(1 時間)		
9	第5章「その思い込み、大丈夫？」(1)		授業のふりかえり(1 時間)		
10	第5章「その思い込み、大丈夫？」(2)		次回範囲の予習(1 時間)		
11	第6章「時間とお金の不思議な関係」(1)		授業のふりかえり(1 時間)		
12	第6章「時間とお金の不思議な関係」(2)		次回範囲の予習(1 時間)		
13	第8章「こんなに役立つ行動経済学」(1)		授業のふりかえり(1 時間)		
14	第8章「こんなに役立つ行動経済学」(2)		授業のふりかえり(1 時間)		
15	第8章「こんなに役立つ行動経済学」(3)		期末レポート作成		
評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など		20
期末レポートなど		40	授業への参加度など		20
小テストなど			その他①()		
宿題など			その他②()		
プレゼンテーションなど		20	その他③()		

教科書	真壁昭夫(2011)『最新 行動経済学入門―「心」で読み解く景気とビジネス―』、朝日新聞出版、700円＋税		
参考文献等	「DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー」2015年7月号、ダイヤモンド社		
関連科目など	特になし。		
履修の留意点	本授業は、ビジネスマナーや敬語の使い方などを学ぶものではありません。 本授業は、旧「ビジネス日本語1、2、3」の合同授業です。		
連絡先／オフィスアワー	研究室 :331	オフィスアワー: 火 4 限	メール: otani@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名	講座日本事情 1 A			科目NO	200
担当教員	堀川 瑛司	使用言語	日本語	単位	2
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
◎		○	○		
履修要件	日本語4・5クラス				
科目規定	日本の文化や社会を多面的に捉え、その理解を促進するとともに、日本語能力の向上も目的とする。				
授業の概要	「生活」と「地理」と「社会」の三つの観点から文化理解を目指す。 日本人・社会について最終的に結論を出すのではなく、文化の多様性・個性に対する「気づき」をもつ。				
授業の目標	日本の文化や社会を多面的に捉え、その理解を促進するとともに、日本語能力の向上も目指す。 A: 独自の異文化理解の観点を説明できる B: 日本文化と自文化の異同を説明できる C: 日本文化の現状を理解する				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習時間と内容の指示	
1	ガイダンス			スポーツの予習(4 時間)	
2	講義「スポーツ」			スポーツなどの復習、郵便・宅配サービスの予習(4 時間)	
3	確認クイズ「スポーツ」、講義「郵便・宅配サービス」			宅配サービスなどの復習、買い物の予習(4 時間)	
4	確認クイズ「郵便・宅配サービス」、講義「買い物」			買い物の復習、娯楽の予習(4 時間)	
5	確認クイズ「買い物」、講義「娯楽」			娯楽の復習、交通の予習(4 時間)	
6	確認クイズ「娯楽」、講義「交通」			交通の復習、中間報告の準備(4 時間)	
7	確認クイズ「交通」、調査内容の中間報告			中間報告の検討、国土と気候の予習(4 時間)	
8	講義「国土と気候」			国土と気候の復習、特産物の予習(4 時間)	
9	確認クイズ「国土と気候」、講義「特産物」			特産物の復習、儀礼の予習(4 時間)	
10	確認クイズ「特産物」、講義「儀礼」			儀礼の復習、衣服の予習(4 時間)	
11	確認クイズ「儀礼」、講義「衣服」			衣服の復習、住居の予習(4 時間)	
12	確認クイズ「衣服」、講義「住居」			住居の復習、教育の予習(4 時間)	
13	確認クイズ「住居」、講義「教育」			教育の復習、日本の中の外国人の予習(4 時間)	
14	確認クイズ「教育」、講義「日本の中の外国人」			日本の中の外国人の復習、調査報告の準備(4 時間)	
15	確認クイズ「日本の中の外国人」、調査報告			まとめ(4 時間)	
評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など		10
期末レポートなど		30	授業への参加度など		10
小テストなど		20	その他①()		
宿題など		10	その他②()		
プレゼンテーションなど		20	その他③()		

教科書	オリジナルプリント(配布)	
参考文献等	適宜紹介する	
関連科目など		
履修の留意点	受講予定者はオリエンテーション(第1回目)から出席すること。 授業開始時に前回の内容について確認するための小テストを実施する。	
連絡先/オフィスアワー	研究室:306	オフィスアワー:木曜1限 メール: horikawa@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名	講座日本事情 2 A			科目NO	300
担当教員	大谷 鉄平	使用言語	日本語	単位	2
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
◎		○	○		
履修要件	日本語6・7クラス				
科目規定	日本の文化や社会を多面的に捉え、その理解を促進するとともに、日本語能力の向上も目的とする。				
授業の概要	日本に暮らす複数の外国人が語った「自国と日本との違い」「日本人像」に関する文章を通じ、比較文化的感性を養うとともに、「日本人とは何か」について考察する。本授業では、グループワークによる発表ならびに全体討議の形式で、総合的かつ実践的な日本語能力を磨く。				
授業の目標	日本の文化や社会を多面的に捉え、その理解を促進するとともに、日本語能力の向上も目指す。 A: 独自の異文化理解の観点を述べられる B: 日本文化と自文化について異同が述べられる C: 日本文化と現状について理解する				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習時間と内容の指示	
1	オリエンテーション			授業方針の提示、教材に関する内容の概説	
2	発表デモンストレーション グループ決め			「近未来の自転車ライダー？」 を題材としたグループ発表の準備	
3	「日本のここに驚いた！」（1）			「「しょうがない」と「がんばる」が共存する」 を題材としたグループ発表の準備	
4	「日本のここに驚いた！」（2）			「大変な病気なのに働いている？」 を題材としたグループ発表の準備	
5	「日本のここに驚いた！」（3）			「私は他の惑星から来た宇宙人？」 を題材としたグループ発表の準備	
6	「日本人と結婚して」（1）			「カッとするのはエネルギーの無駄遣い」 を題材としたグループ発表の準備	
7	「日本人と結婚して」（2）			「母は私を日本人だと思っています」 を題材としたグループ発表の準備	
8	「日本に来て変わっていく私」（1）			「疎外感を感じたこともあったけれど」 を題材としたグループ発表の準備	
9	「日本に来て変わっていく私」（2）			「お互いの国の関係はギクシャクしても」 を題材としたグループ発表の準備	
10	「日本に来て変わっていく私」（3）			「大学生が質問をしてこないのには困った」 を題材としたグループ発表の準備	
11	「日本の教育について、ひと言」（1）			「日本の先生は忙しい」 を題材としたグループ発表の準備	
12	「日本の教育について、ひと言」（2）			「日本人はウソつき？」 を題材としたグループ発表の準備	
13	「日本のみなさん、聞いてください」（1）			「兄妹が手をつないでもヤキモチをやかないで」 を題材としたグループ発表の準備	
14	「日本のみなさん、聞いてください」（2）			「日本の女性について思う、いくつかのこと」 を題材としたグループ発表の準備	
15	「日本のみなさん、聞いてください」（3）			期末レポート作成	

評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など	20
期末レポートなど		40	授業への参加度など	20
小テストなど			その他①()	
宿題など			その他②()	
プレゼンテーションなど		20	その他③()	
教科書	加藤恭子編(2015)『日本人のここがカッコイイ!』文藝春秋、780 円＋税			
参考文献等	適宜紹介する			
関連科目など	「日本の社会B/A」「日本の文化B/A」			
履修の留意点	授業時に日本語を間違えてしまうことは、恥ずかしくありません。 積極的に、日本語で、思ったことを発言することが求められます。 ただ黙っているだけでは、評価は下がります。			
連絡先／オフィスアワー	研究室 :331	オフィスアワー: 火4限	メール:	teppeikun09@yahoo.co.jp

科目名	アクティブ日本事情 A			科目NO	200
担当教員	宮崎 聖乃	使用言語	日本語	単位	2
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
○	○		◎		
履修要件	日本語3以上にプレイスされた学生が望ましい				
科目規定	学内外におけるアクティビティを通じて、応用的な日本語能力の取得と目的とする。				
授業の概要	「一番身近な日本社会―大学」「日本のテクノロジーとサービス」「日本社会におけるマイノリティ」の3つテーマについて、クラス内でのディスカッション、日本人学生とのディスカッションやアクティビティ(ビジターセッション)、学外からゲストスピーカーを招いてのディスカッション、見学、ポスター発表などを行う。これらの授業を通して、実践的な日本能力を身につけるとともに、日本の社会や文化について理解を深め、さらに自文化を見つめ直す機会となることを期待する。2回のポスター発表を予定しており、うち1回(学期最終週)は自分で選んだテーマについてのポスター発表を行う。				
授業の目標	A: 日本の文化や社会に対する理解と関心を深める。異文化について学ぶことで自文化に対して客観的に見るができるようになる。 B: 効果的な情報収集の方法や発表について検討し実践することができる。 D: 多様な日本語話者と日本語によるコミュニケーションを行うことで、実践的な日本語コミュニケーション力を身につけ協力的なコミュニケーションができるようになる。				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習時間と内容の指示	
1	オリエンテーション(ビジターセッション、ポスター発表、見学、ヒューマンライブラリーについて)			ビジターセッションの準備(4 時間)	
2	テーマ①「一番身近な日本社会―大学」についての準備(ビジターセッションの準備)			ビジターセッションの準備(4 時間)	
3	ビジターセッション			振り返り・フィードバック(FB)シートの記入(4 時間)	
4	ビジターセッションのフィードバック／テーマ②「日本の伝統文化」諏訪神社見学についての準備			テーマ②についての予習シート記入(4 時間)	
5	諏訪神社見学(学外活動のため 11/7 土曜日に実施)			見学の準備／感想のまとめ／まとめシート記入(4 時間)	
6	見学のフィードバック／テーマ①または②についてのポスター発表準備(ブレインストーミング／KJ 法)			ポスター発表準備(4 時間)	
7	ポスター発表準備(ディスカッション／ポスター作成)			ポスター発表準備(4 時間)	
8	ポスター発表準備(ポスター作成／練習)			ポスター発表準備／練習(4 時間)	
9	ポスター発表			振り返り・FB シートの記入(4 時間)	
10	ポスター発表のフィードバック／テーマ③「日本社会におけるマイノリティ」			予習シート記入(4 時間)	
11	学外からゲストスピーカーを招いての小グループによるディスカッション(ヒューマンライブラリー)			振り返り・FB シートの記入／感想のまとめ(4 時間)	
12	ディスカッションのフィードバック／各自のテーマによるポスター発表の準備(ブレインストーミング／KJ 法)			各自のテーマによるポスター発表準備(4 時間)	
13	各自のテーマによるポスター発表の準備(ポスター作成)			各自のテーマによるポスター発表準備(4 時間)	
14	各自のテーマによるポスター発表の準備(ポスター作成／練習)			各自のテーマによるポスター発表準備／練習(4 時間)	
15	各自のテーマによるポスター発表			振り返り・FB シートの記入(4 時間)	

評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など	
期末レポートなど			授業への参加度など	
小テストなど			その他①()	
宿題など		50	その他②()	
プレゼンテーションなど		50	その他③()	
教科書	なし			
参考文献等	授業内で紹介			
関連科目など	その他の日本語科目			
履修の留意点	受講生は20名程度を予定しており、受講希望者多数の場合は抽選となることがある。第5回の交通費(300円程度)は自己負担とする。			
連絡先／オフィスアワー	miyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp 水曜4限 417研究室 この時間以外はアポにて対応			

科目名	日本の文化A			科目NO	100
担当教員	宮崎 賢太郎	使用言語	日本語	単位	2
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
◎		○			○
履修要件					
科目規定	日本の文化を多面的にから紹介し、現在の日本を構成する様々なシステムの文化的背景の理解を目的とする。				
授業の概要	日本には、さまざまな「〇〇道」と呼ばれる日本文化を代表する芸道がある。それらの道は日本人がより豊かで、より深い生き方を求めて探求し続けてきた集大成であり、現代日本社会においてもいまだに日本人の文化、伝統の中核を形成しているといっても過言ではない。それらは室町時代の東山文化に発し、中国より伝来した禅宗の影響が大きい。日中の文化比較も試みてみよう。				
授業の目標	A: 東山文化を中心とした日本文化の具体的な諸相を知り、自国の文化とのかかわりが理解できるようになる B: 日本文化の形成になぜ禅宗が深くかかわっているのかが理解できるようになる E: 日本文化の特性について、自分の言葉(日本語)で語れるようになる				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習時間と内容の指示	
1	シラバスを説明し、授業の概要、授業の目標、成績評価、試験実施方法などについて相互に確認しあった。日本文化の特性について説明する。			次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してくるよう指示。(4 時間)	
2	日本文化の特徴である「型の文化」と「道の文化」について説明する。			自分で日本文化について基本的なことを調べてくるように指示。(4 時間)	
3	日本文化の源泉である禅思想の歴史と、禅の空、無、悟りについて説明する			次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してくるよう指示。(4 時間)	
4	日本文化の底流をなす「わび」「さび」について DVD を通して感覚として理解させる。			自分で「わび」「さび」とは何か、調べてくるように指示。(4 時間)	
5	視聴覚教材を通して日本の庭園、建築、書画に共通する特色を説明する			次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してくるよう指示。(4 時間)	
6	日本文化を代表する能楽、世阿弥の思想について紹介する			自分で能について基本的なことを調べてくるように指示。(4 時間)	
7	視聴覚資料を通して能における幽玄美について説明する			次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してくるよう指示。(4 時間)	
8	日本文化を代表する茶道とは何か、千利休の茶道論について説明する			自分で茶道について基本的なことを調べてくるように指示。(4 時間)	
9	視聴覚資料を通して茶道の魅力を紹介し、わび寂びについて説明する			次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してくるよう指示。(4 時間)	
10	俳句の精神について松尾芭蕉の生涯と思想について説明する			自分で芭蕉について基本的なことを調べてくるように指示。(4 時間)	
11	俳句作成の基礎知識を説明し、日本の代表的な作品を紹介、鑑賞する			自分で俳句を2首作ってくるよう課題を提出。(4 時間)	
12	新渡戸稲造「武士道」における武士道精神について説明する			次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してくるよう指示。(4 時間)	
13	「葉隠」における武士道精神と禅思想との関係について			武士道について基本的なことを調べてくるように指示。(4 時間)	
14	日本刀の芸術性について視聴覚資料を基に説明する			次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してくるよう指示。(4 時間)	

15	全体のまとめとして、禅思想が日本文化の根底に普遍的に流れていることを確認する	これまでの授業の内容を整理し、まとめるよう指示。 (4 時間)		
評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)		60	授業時態度など	
期末レポートなど			授業への参加度など	10
小テストなど		10	その他①()	
宿題など		20	その他②()	
プレゼンテーションなど			その他③()	
教科書	なし			
参考文献等	授業中に資料を配布する			
関連科目など	日本の社会B/A			
履修の留意点	6回(6回を含む)以上欠席すると受験資格なし 授業中携帯電話など使用しない 指定された席に座ること			
連絡先/オフィスアワー	giovanni@ngs1.cncm.ne.jp にメール送信のこと			

科目名	日本の文学A			科目NO	100
担当教員	常吉 幸子	使用言語	日本語	単位	2
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
◎		○			○
履修要件	日本語がだいたい理解できること。ストーリー展開についてきて感想・意見を述べることができ、わからないことは質問し、説明を求めるなど、教師とコミュニケーションできること。				
科目規定	文学史上に残る日本文学の流れや作家及び作品を分析しその特徴を理解できる。				
授業の概要	日本近代文学を理解する。現在「標準語」と呼ばれるものの成立と「言文一致運動」から、日本の近代小説は始まった。その点を理解した上で、いくつかの作品を熟読したい。				
授業の目標	日本の「近代小説」の読みやすい短篇のうちから、一～二編選んで熟読したい。作品の選定については、学生の希望も容れるつもりである。下記授業計画は、昨年度実施したもの。				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習の指示他	
1	近代日本語の成立。			概説。内容をしっかり理解して欲しい。授業で使ったファイルを配布するので、十分に復習するように。(4 時間)	
2	日本における「近代小説」の成立。			概説。内容をしっかり理解して欲しい。授業で使ったファイルを配布するので、十分に復習するように。(4 時間)	
3	坪内逍遙作『細君』の冒頭を読む。小説の中の「敬語」について。			概説。内容をしっかり理解して欲しい。授業で使ったファイルを配布するので、十分に復習するように。プリントとして配布する本文を朗読することを薦める。(4 時間)	
4	宮沢賢治の童話「オッペルと象」第一回 第一日曜を音読する。			授業中に使った教材ファイルを配布するので充分復習するとともに、繰り返し朗読することを薦める。(4 時間)	
5	宮沢賢治の童話「オッペルと象」第二回 第一日曜を考察する。			授業中に使った教材ファイルを配布するので充分復習するとともに、繰り返し朗読することを薦める。(4 時間)	
6	宮沢賢治の童話「オッペルと象」第三回 第二日曜の音読と考察。			授業中に使った教材ファイルを配布するので充分復習するとともに、繰り返し朗読することを薦める。(4 時間)	
7	宮沢賢治の童話「オッペルと象」第四回 第五日曜の音読と考察			授業中に使った教材ファイルを配布するので充分復習するとともに、繰り返し朗読することを薦める。(4 時間)	
8	宮沢賢治の詩『永訣の朝』を読む。			授業中に使った教材ファイルを配布するので充分復習するとともに、繰り返し朗読することを薦める。(4 時間)	
9	宮沢賢治の童話「なめとこ山の熊」第一回			授業中に使った教材ファイルを配布するので充分復習するとともに、繰り返し朗読することを薦める。(4 時間)	
10	宮沢賢治の童話「なめとこ山の熊」第二回			授業中に使った教材ファイルを配布するので充分復習するとともに、繰り返し朗読することを薦める。(4 時間)	
11	宮沢賢治の童話「なめとこ山の熊」第三回			授業中に使った教材ファイルを配布するので充分復習するとともに、繰り返し朗読することを薦める。(4 時間)	
12	宮沢賢治の童話「なめとこ山の熊」第四回			授業中に使った教材ファイルを配布するので充分復習するとともに、繰り返し朗読することを薦める。(4 時間)	
13	宮沢賢治の童話「なめとこ山の熊」第五回			授業中に使った教材ファイルを配布するので充分復習するとともに、繰り返し朗読することを薦める。(4 時間)	

14	宮沢賢治の童話「なめとこ山の熊」第六回	授業中に使用した教材ファイルを配布するので充分復習するとともに、繰り返し朗読することを薦める。(4 時間)		
15	宮沢賢治の童話「なめとこ山の熊」第七回 この作品をどう理解するか、意見を出し合って話し合い、理解を深める。	レポートを書く。(4 時間)		
評価方法		配分 (%)	評価方法	配分 (%)
試験(中間・期末)			授業時態度など	
期末レポートなど		50	授業への参加度など	30
小テストなど		20	その他①()	
宿題など			その他②()	
プレゼンテーションなど			その他③()	
教科書	一二編選んで読む小説は、プリントとして配布する。			
参考文献等	適宜、指示する。			
関連科目など	日本文学A			
履修の留意点	第十五回のように、レポート提出に関わる回には、とくに気をつけて欠席しないこと。また、何回か行われる小テストについても、後で補填できないので、必ず受験すること。			
連絡先／オフィスアワー		場所:4階講師室 オフィスアワー(及び時間帯):午後6時以降 メールアドレス:tzune@icloud.com		

科目名	日本の社会A			科目NO	100
担当教員	石川 昭仁	使用言語	日本語	単位	2
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
◎		○			○
履修要件	日本語の理解能力のある学生を対象とする。				
科目規定	日本社会における様々なシステムを紹介し、現在の日本についての理解を促進する。				
授業の概要	外国人として現代日本社会と日本人のものの見方・考え方をより良く理解するために、戦後の日本の発展と諸課題を概観し、またライフサイクルごとにその時々で直面する人生の諸問題についての日本人の考え方を紹介し、日本人理解を深める。				
授業の目標	A: 戦後日本の経済成長について基礎知識を獲得し、生活の変化について説明することができる。 B: 現代日本社会が直面する諸問題について、その概要を説明することができる。 E: 比較社会・文化的な視点から、日本人のライフサイクルにおける価値選択について自分の意見を発表することができる。				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習時間と内容の指示	
1	戦後日本の歩みを概観する			配布資料の予習と単語リストの作成(4時間)	
2	戦後の経済成長と国民生活の変化(1)			配布資料の予習と単語リストの作成(4時間)	
3	戦後の経済成長と国民生活の変化(2)			配布資料の予習と単語リストの作成(4時間)	
4	戦後の経済成長と国民生活の変化(3)			配布資料の予習と単語リストの作成(4時間)	
5	まとめ(ディスカッション)			ディスカッションのテーマの発表準備(4時間)	
6	現代日本社会の特色(1) グローバル化			配布資料の予習と単語リストの作成(4時間)	
7	現代日本社会の特色(2) 高度情報社会			配布資料の予習と単語リストの作成(4時間)	
8	現代日本社会の特色(3) 少子高齢化			配布資料の予習と単語リストの作成(4時間)	
9	現代日本社会の特色(4) 直面する諸課題			配布資料の予習と単語リストの作成(4時間)	
10	まとめ(ディスカッション)			ディスカッションのテーマの発表準備(4時間)	
11	現代日本人の生活(1) 恋愛・結婚観			配布資料の予習と単語リストの作成(4時間)	
12	現代日本人の生活(2) 子育てと家族			配布資料の予習と単語リストの作成(4時間)	
13	現代日本人の生活(3) 学校の諸問題			配布資料の予習と単語リストの作成(4時間)	
14	現代日本人の生活(4) 職業選択と老後			配布資料の予習と単語リストの作成(4時間)	
15	まとめ(ディスカッション)			ディスカッションのテーマの発表準備(4時間)	
評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など		
期末レポートなど		70	授業への参加度など		10
小テストなど			その他①(単語ノートの作成・提出)		20
宿題など			その他②()		
プレゼンテーションなど			その他③()		

教科書	資料を授業中に配布する	
参考文献等	授業中に指示する	
関連科目など	特になし	
履修の留意点	特になし	
連絡先／オフィスアワー	メール: ishikawa@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp 研究室:315	

科目名	長崎と世界A			科目NO	200
担当教員	本田 貞勝	使用言語	日本語	単位	2
授業の到達目標					
A	B	C	D	E	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力	
◎	○			○	
履修要件	日本語で論理的な文章を書く能力がある短期留学生が対象。教科書を購入して授業に臨むこと。				
科目規定	日本の中でも古くから海外との交流を深めてきた長崎の文化についての理解を目的とする。				
授業の概要	教科書を通して長崎の歴史の特異性を学ぶ。 長崎の歴史、文化をジャーナリストの視点と切り口で解説し、現代社会との関連、世界との関連を学ぶ。				
授業の目標	A: 自国に戻ってからも長崎の歴史を発表できるよう知識を身につける。 B: 現代社会の動きに関心を持ち、国際社会に通用する人間力の向上に資する。 E: できるだけバランスのとれた思考となるよう、ジャーナリストの姿勢を貫く。				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習時間と内容の指示	
1	教科書を通じ、何を学ぶかを概観、要望や注文を考えるよう指示する。			教科書の読了を強く指示。(4時間)	
2	授業への要望や注文をレポート提出してもらう。			教科書を読んでない学生が多かったため、再度読了を指示。(4時間)	
3	提出されたレポートに基づき、今後の授業の進め方を話し合う。			国内外の出来事に関心をもつよう指導。(4時間)	
4	長崎奉行の主舞台となった長崎の風景や地形をパワーポイントで解説。臨場感を高める。			世界の目から徳川幕府の鎖国政策を考えるよう指示。(4時間)	
5	徳川幕府の鎖国政策、島原の乱、外国作家の鎖国観、南蛮貿易のからくりなど学ぶ。			天正少年遣欧使節の予習。(4時間)	
6	キリスト教伝来から弾圧、信徒発見まで歴史的考察。時事問題は日本の少子高齢社会について。			江戸時代の外交を予習するよう。(4時間)	
7	オランダ風説書、鎖国等、長崎は外交都市であった。時事問題はパリで起こった同時多発テロ。			教科書の熟読。(4時間)	
8	長崎奉行の職責と歴史的役割。時事問題はロシアとトルコの対立、COP21 の行方など。			徳川幕府とは何ぞや、の考察。(4時間)	
9	徳川幕府が長期政権となった理由、特徴な何か。時事問題は COP21 パリ協定の影響。			教科書、出版をどう考えるか。(4時間)	
10	「長崎奉行物語」から学んだこと。			なぜ原爆は長崎に落とされたのか。(4時間)	
11	長崎に原爆が投下された歴史的意味。原爆投下をどう思うか。			核兵器の威力と被害の実相。(4時間)	
12	核兵器の威力、原理、被爆の実態。被害はどのように世界へ伝えられたか。			世界の武器はどのように変遷したか。(4時間)	
13	NPT,CTBT,核兵器禁止条約、非核地帯など世界の現状について。			内戦について調べておくこと。(4時間)	
14	長崎の平和運動、大学の建学の精神、被爆都市長崎の役割について。			授業の総括(4時間)	
15	長崎の歴史の特異性、授業を総括。時事問題は甘利経済再生担当相の辞任問題。			まとめ(4時間)	

評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)		80	授業時態度など	10
期末レポートなど			授業への参加度など	10
小テストなど			その他①()	
宿題など			その他②()	
プレゼンテーションなど			その他③()	
教科書	長崎奉行物語(本田貞勝著、雄山閣、3024円)			
参考文献等	「龍馬の長崎」「コラム長崎散歩」(いずれも本田貞勝著、本学図書館所蔵)			
関連科目など	長崎文化論/Ⅱ			
履修の留意点	現代社会に関心を持ち、生きた教育を目指す。できるだけパワーポイントを活用する。			
連絡先／オフィスアワー		メールアドレス: sadakatsu@ark.ocn.ne.jp		

科目名	日本のビジネスA			科目NO	100
担当教員	庵谷 治男	使用言語	日本語	単位	2
授業の到達目標					
A	B	C	D	A	
知識を理解し 取り組む力	論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	知識を理解し 取り組む力	
◎	○			◎	
履修要件	日本のビジネスに関心があり、積極的に授業へ参加する意欲があること。				
科目規定	日本におけるビジネスのあり方やビジネスモデルを学びながら、その特徴を理解することを目的とする。				
授業の概要	日本企業が提供する製品とサービスについて、代表的な事例を学習しながらビジネスの仕組みについて理解する。授業の方法は、PPTIによる説明だけでなくDVD観賞なども通じて効果的な学習を目指す。また、グループワークを複数回実施することで議論を発展させる。				
授業の目標	A: 日本企業が提供する製品とサービスについて、ビジネスの仕組みを理解することができる。 B: 日本企業の国際化に関する現状と課題について思考することができる。 E: 日本企業の利益管理や問題点についてグループワークを行い、コミュニケーション力を磨くことができる。				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習の指示他	
1	イントロダクション			シラバスを読み授業にのぞむ(4時間)	
2	利益管理①			ハンドアウトの復習と参考文献の該当箇所を購読(4時間)	
3	利益管理②			ハンドアウトの復習と参考文献の該当箇所を購読(4時間)	
4	利益管理③			ハンドアウトの復習と参考文献の該当箇所を購読(4時間)	
5	利益管理④			ハンドアウトの復習と参考文献の該当箇所を購読(4時間)	
6	日本のものづくり①			ハンドアウトの復習と参考文献の該当箇所を購読(4時間)	
7	日本のものづくり②			ハンドアウトの復習と参考文献の該当箇所を購読(4時間)	
8	日本のものづくり③			ハンドアウトの復習と参考文献の該当箇所を購読(4時間)	
9	日本のサービス①			ハンドアウトの復習と参考文献の該当箇所を購読(4時間)	
10	日本のサービス②			ハンドアウトの復習と参考文献の該当箇所を購読(4時間)	
11	日本のサービス③			ハンドアウトの復習と参考文献の該当箇所を購読(4時間)	
12	日本のサービス④			ハンドアウトの復習と参考文献の該当箇所を購読(4時間)	
13	日本の国際化①			ハンドアウトの復習と参考文献の該当箇所を購読(4時間)	
14	日本の国際化②			ハンドアウトの復習と参考文献の該当箇所を購読(4時間)	
15	総括			これまでの学習内容を総復習する(4時間)	
評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)		60	授業時態度など		
期末レポートなど			授業への参加度など		10
小テストなど			その他①(グループワーク)		30
宿題など			その他②()		
プレゼンテーションなど			その他③()		

教科書	とくになし(ハンドアウトを配付予定)
参考文献等	加護野忠雄・吉村典久編(2006)『1からの経営学』碩学舎。 伊藤宗彦・高室裕史編(2010)『1からのサービス経営』碩学舎。
関連科目など	ビジネス日本語 B/A
履修の留意点	とくになし
連絡先／オフィスアワー	otanih@nagasaki-u.ac.jp

科目名	自由課題研究A			科目NO	400
担当教員	小島居 伸介 野田 雄史 松本 真輔	使用言語	日本語	単位	2
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
○		◎	○		
履修要件	日本語で論理的な文章を書く能力がある短期留学生を対象とする。				
科目規定	学生個々人が自ら探求したいと思うテーマについてレポートを作成する。				
授業の概要	日本の文化や社会の諸問題について、各自でテーマを定め、文献等の情報を収集し、レポートを作成する。 テーマの参考例としては、以下の通りである。 ・日本の伝統文化(茶道、武道、着物、食文化など) ・現代の日本文化(マンガ、映画、文学、音楽など) ・日本の社会(日本社会論、教育問題、環境問題など) この他にも取り上げたいテーマがあれば、担当教員が指導可能な範囲において自由に設定できる。				
授業の目標	A: 日本の文化や社会について、正確な情報や知識を修得することができる。 B: 自らが修得した情報や知識を論理的にまとめ、正確な日本語の文章で適切に表現することができる。 C: 目標設定、自主的な調査、論文作成等を通じて、自らの学習意欲の向上を涵養することができる。				
授 業 計 画					
回数	授業内容		授業外の学習時間と内容の指示		
1	受講希望者の合同オリエンテーションを実施。受講者の 予定テーマの確認。クラス分けの実施。		次回までに各自のテーマの概要を準備。(4 時間)		
2	受講者各自のレポートのテーマの発表。レポートの ガイドラインの説明。		次回までにレポートのテーマについてさらに深めておく。(4 時間)		
3	レポートの書き方について、基本的な心得を説明。		レポートのアウトラインを考えておく。(4 時間)		
4	合同授業として、レポート作成のための文献検索演習を 実施。		各自のレポート作成のための参考文献を探しておく。(4 時間)		
5	レポート作成のための研究発表の要領を説明。		各人の研究を進め、発表の準備をしておく。(4 時間)		
6	レポート作成の準備として、研究内容を順次発表。		各人の研究を進め、発表の準備をしておく。(4 時間)		
7	レポート作成の準備として、研究内容を順次発表。		各人の研究を進め、発表の準備をしておく。(4 時間)		
8	レポート作成の準備として、研究内容を順次発表。		各人の研究を進め、発表の準備をしておく。(4 時間)		
9	レポート作成の準備として、研究内容を順次発表。		各人の研究を進め、発表の準備をしておく。(4 時間)		
10	レポート作成の準備として、研究内容を順次発表。		各人の研究を進め、発表の準備をしておく。(4 時間)		
11	レポート作成の準備として、研究内容を順次発表。		各人の研究を進め、発表の準備をしておく。(4 時間)		
12	レポート作成の準備として、研究内容を順次発表。		各人の研究を進め、発表の準備をしておく。(4 時間)		
13	レポート作成の準備として、研究内容を順次発表。		各人の研究を進め、発表の準備をしておく。(4 時間)		
14	レポート作成の準備として、研究内容を順次発表。		各人の研究成果をまとめ、レポートを準備する。(4 時間)		
15	これまでの研究成果をまとめ、レポートを完成させる。		レポートの執筆要領の最終確認。(4 時間)		

評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)		50	授業時態度など	
期末レポートなど			授業への参加度など	20
小テストなど			その他①()	
宿題など			その他②()	
プレゼンテーションなど		30	その他③()	
教科書	開講時に指示する。			
参考文献等	開講時に指示する。			
関連科目など	自分のテーマと関連する科目を履修することを推奨する。詳細については開講時に指示する。			
履修の留意点	履修者によってテーマが異なるので、担当教員との個別指導をよく聞きながら、レポート作成にあたること。			
連絡先／オフィスアワー		小鳥居 伸介	研究室 : 322	メールアドレス: kotorii@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
		溝田 勉	研究室 : 403	メールアドレス: mizota@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
		松本 真輔	研究室: 301	メールアドレス: nosmoke@outlook.jp

科目名	実習・日本の伝統文化 1（書道・茶道・将棋）		科目NO	100	
担当教員	（書道）出口 すゑ美 ／（茶道）高橋 富美子 ／（将棋）下里 亘		単位	1	
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
			◎	○	○
履修要件	特になし				
科目規定	日本の伝統的な文化を実際に体験し、日本における文化のあり方について学ぶことを目的とする。				
授業の概要	（書道）実技が主なので、全体指導と個別指導をしたい。机間を回り、一人ひとりの実態に応じて矯正、達成度を観察。既習技能を活用し、日本の伝統文化である書きぞめに挑戦させたい。（DVD書道鑑賞（江副景舟）） （茶道）茶道の基本、道具の名前、茶道の足の運び方、初心者のお茶の点て方、盆略点前の点前を習得する。 （将棋）日本の伝統的な娯楽のひとつ将棋の紹介				
授業の目標	（書道）日本の伝統文化である書道への誘い 毛筆による基礎的な書写能力の習得 （茶道）日本の歴史的伝統文化茶道を学ぶ。 （将棋）将棋のルールを学びながら日本の伝統文化の一端に触れる C: 異文化理解のために、様々な実習を通じて、学習意欲を喚起することができる。 D: 様々な実習を通じて、周囲と協力しながらひとつの目標を達成することができる。 E: 様々な実習を通じて、コミュニケーション能力を養うことができる。				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習の指示他	
1	（書道）書道入門、道具（用具）の説明、基本的点画の説明			学習内容の復習（1 時間）	
2	（書道）漢字の筆使いについて			学習内容の復習、DVD 鑑賞（1 時間）	
3	（書道）かなの筆使いについて			学習内容の復習（1 時間）	
4	（書道）小筆の筆使いについて			学習内容の復習（1 時間）	
5	（書道）半折1／4の条幅へ挑戦			学習内容の復習（1 時間）	
6	（書道）まとめ（総括）			これまでの学習成果を自己復習する（1 時間）	
7	（将棋）将棋のルール			駒の動かし方を学習する（1 時間）	
8	（将棋）対局			対局をしながら進めていく（1 時間）	
9	（将棋）対局			対局をしながら進めていく（いろいろな相手と）（1 時間）	
10	（茶道）初歩の茶道、割稽古、裏千家歴代の話、お茶の頂き方			学習内容の復習（1 時間）	
11	（茶道）割稽古、帛紗捌き、たたみ方			学習内容の復習（1 時間）	
12	（茶道）盆略点前稽古 DVD 鑑賞			学習内容の復習（1 時間）	
13	（茶道）盆略点前稽古			学習内容の復習（1 時間）	
14	（茶道）茶室にて足の運びにて盆略点前お客でお茶の頂き方			学習内容の復習（1 時間）	
15	（茶道）茶室にて足の運びにて盆略点前お客でお茶の頂き方			これまでの学習成果を復習する（1 時間）	

評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など	20
期末レポートなど			授業への参加度など	80
小テストなど			その他①()	
宿題など			その他②()	
プレゼンテーションなど			その他③()	
教科書	(書道) 手本等は都度配布 (将棋) プリントを用意			
参考文献等	(書道) 中教出版《書の世界》、安東聖空著《梅雪かな帖》、 榎倉香邨著《かな帖》、教育出版《書写 教師用指導書》、二玄社《中国書法選》、 長崎書道会《書道の歩み》、斉藤路石著《実用書道教範》、小野鷺堂著《かな書道》、 宮澤鷺州著《楽しめる漢字かな交じり書》、藤原宏・氷田光風編《毛筆硬筆書写字典改訂新版 講談社》 主幹 有岡ジュン 崖 《書道研究玄筆会》 江副功(景舟) 著 DVD書道			
関連科目など	実習・日本の伝統文化 2・3, 実習・日本の武道			
履修の留意点	(将棋) できればチェスや中国将棋を知っていた方が望ましい。 (茶道) 白い靴下を持って来て履き替えること。長い髪の毛は結ぶこと。			
連絡先/オフィスアワー	国際交流センター事務室 ic@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			

科目名	実習・日本の伝統文化 2（華道・着付・かるた）		科目NO	100	
担当教員	(華道)白井 恭子 / (着付)藤間 弥寿幸 / (かるた)佐々木 美沙		単位	1	
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
			◎	○	○
履修要件	特になし				
科目規定	日本の伝統的な文化を実際に体験し、日本における文化のあり方について学ぶことを目的とする。				
授業の概要	(華道)500有余年の歴史をもついけばな池坊、たゆまぬ伝承と創造につらぬかれた今日のいけばな様式、立華、生花、自由花の中から自由花を指導する。 (着付)きものをたくさん見たい、触りたい、着てみたい。そして着てみたいが叶ったら、写真で残したいという憧れをできる限り叶えて、きものの文化を伝え、理解を深めていただきたい。 (かるた)日本独特のカードゲームである「かるた」について学ぶ。まずかるた遊びを体験し、かるたの仕組みについて理解する。さらにかるたの歴史や種類について学ぶ。主に「いろはがるた」と「小倉百人一首かるた」を用いて授業を行う。				
授業の目標	(華道)自由花の基礎。四季の草木の端々しいのちに触れ、花をいける喜びと感動を表現する。 (着付)1. 日本の民族衣裳「きもの」を知る 2. きものの「やくそく」を学ぶ・・・シーズンによってのちがいがい／TPOによってのちがいがい／男・女によってのちがいがい (かるた)かるたの仕組みを理解し、学生だけでも簡単なかるた遊びができるようにする。実際のかるた遊びを通し、学生たちが互いによりコミュニケーションを深める。 C: 異文化理解のために、様々な実習を通じて、学習意欲を喚起することができる。 D: 様々な実習を通じて、周囲と協力しながらひとつの目標を達成することができる。 E: 様々な実習を通じて、コミュニケーション能力を養うことができる。				
授 業 計 画					
回数	授業内容			授業外の学習の指示他	
1	(華道)池坊の歴史、様式の紹介と実技(持ち帰り用の花器での指導)			学習内容の復習(1時間)	
2	(華道)いけばなの基礎知識と実技(学校所定の花器)を使って花材のため方、水あげ法、道具の使い方			学習内容の復習(1時間)	
3	(華道)線的な要素を生かしての実技			学習内容の復習(1時間)	
4	(華道)面的な要素を生かしての実技			学習内容の復習(1時間)	
5	(華道)点的な要素を生かしての実技			学習内容の復習(1時間)	
6	(華道)マッスの要素を生かしての実技			これまでの学習成果を復習する(1時間)	
7	(かるた)「いろはがるた」を用いて、日本独特のカードゲームである「かるた」のルールを理解する。自分たちでオリジナルかるたを作る。			オリジナルかるたを作るための筆記用具(色鉛筆・マジックなど)を用意する。(1時間)	
8	(かるた)前回の授業で作ったかるたでかるた遊びをする。かるたの歴史と多様なかるたについて学ぶ。			トランプや花札など、かるたに似ているカードゲームを探す。(1時間)	
9	(かるた)「競技かるた」を題材にしたアニメ、『ちはやふる』を鑑賞する。小倉百人一首を使った「散らし取り」をする。			指定されたホームページ・・・「World of Kyogi Karuta」を閲覧し、競技かるたのルールを理解する。(1時間)	
10	(着付)きもののやくそく「下着やシーズンによってのきもの」			学習内容の復習(1時間)	
11	(着付)男性のきもの「ゆかたやウールのきもの、ハオリやハカマ」			学習内容の復習(1時間)	
12	(着付)女性のきもの「夏のきもの、冬のきもの」振り袖、とめそで			学習内容の復習(1時間)	
13	(着付)フォーマルなきものを着てみましょう			学習内容の復習(1時間)	
14	(着付)自分で着てみましょう			学習内容の復習(1時間)	
15	(着付)きもので写真			これまでの学習成果を復習する(1時間)	

評価方法		配分(%)	評価方法	配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など	20
期末レポートなど			授業への参加度など	80
小テストなど			その他①()	
宿題など			その他②()	
プレゼンテーションなど			その他③()	
教科書	(かるた)プリントを配布する。			
参考文献等	(かるた)書籍: 田辺聖子『歌がるた小倉百人一首』(角川文庫)、末次由紀『ちはやふる』(講談社KCBELoveコミックス) ウェブサイト:「World of Kyogi Karuta」 http://karuta.game.coocan.jp/			
関連科目など	実習・日本の伝統文化 1・3, 実習・日本の武道			
履修の留意点	特になし			
連絡先／オフィスアワー		国際交流センター事務局 ic@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		

科目名	実習・日本の伝統文化3 <琴>		科目NO	100	
担当教員	吉岡 雅翠		単位	1	
授業の到達目標					
A		B		C	
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力		学習に取り組む 態度・意欲	
				◎	
				○	
履修要件	音楽が好きなこと。自分の箏爪を持つ(一括購入)。毎回遅刻せずに出席できること。受講者制限あり(15名まで)				
科目規定	日本の伝統的な文化を実際に体験し、日本における文化のあり方について学ぶことを目的とする。				
授業の概要	・日本の伝統楽器について知る。 ・初心者対象に、箏を指の練習から始め、簡単な曲を弾けて合奏できるようになる。				
授業の目標	・箏の練習を通して、日本文化への理解を深める。 ・和室での練習で心落ち着く時間を持ち、合奏を通して仲間と協調することの大切さ、楽しさを知る。 C: 異文化理解のために、様々な実習を通じて、学習意欲を喚起することができる。 D: 様々な実習を通じて、周囲と協力しながらひとつの目標を達成することができる。 E: 様々な実習を通じて、コミュニケーション能力を養うことができる。				
授 業 計 画					
回数				授業外の学習の指示他	
1	オリエンテーション(箏の曲を聴く・箏に触れてみる) 箏の爪選び			シラバスと参考図書(本学図書館所蔵)などを読んで授業に のぞむ。(1 時間)	
2	箏の基礎知識・基本奏法の練習			日本の伝統音楽を聴いて課題の準備をする。(1 時間)	
3	基本奏法の練習・「さくら」を弾く			基本奏法の復習、「さくら」のメロディを覚える。(1 時間)	
4	基本奏法の練習・「さくら」・日本の唄(「春が来た」他)			基本奏法の復習、「さくら」の歌詞の意味を考える。(1 時間)	
5	基本奏法の練習・「さくら」			基本奏法の復習、楽譜をみながら指を動かし練習する。(1 時間)	
6	基本奏法の練習・「さくら」合奏・日本の唄			基本奏法の復習、楽譜をみながら指を動かし練習する。(1 時間)	
7	箏以外の日本の楽器紹介・基本奏法の練習・日本の唄			学習内容の復習(1 時間)	
8	基本奏法の練習・「三段の調」			学習内容の復習(1 時間)	
9	「三段の調」・日本の唄			学習内容の復習(1 時間)	
10	「三段の調」・日本の唄			学習内容の復習(1 時間)	
11	箏を中心とした日本音楽の DVD 鑑賞・「三段の調」			学習内容の復習(1 時間)	
12	「三段の調」・日本の唄(「七夕」)			学習内容の復習(1 時間)	
13	「三段の調」・日本の唄			学習内容の復習(1 時間)	
14	「三段の調」・日本の唄			学習内容の復習(1 時間)	
15	「三段の調」合奏・授業のまとめ			これまで学習したこと総復習(1 時間)	
評価方法			配分(%)	評価方法	
試験(中間・期末)				授業時態度など	
期末レポートなど				授業への参加度など	
小テストなど				その他①(各曲の習熟度)	
宿題など				その他②()	
プレゼンテーションなど				その他③()	
教科書	資料貸与				

参考文献等	『生田流の箏曲』講談社・『実践「和楽器」入門』ヤマハ・『邦楽百科事典』音楽之友社(いずれも本学図書館所蔵)		
関連科目など	実習・日本の伝統文化 1・2, 実習・日本の武道		
履修の留意点	箏の爪代金(約4,000円)を用意すること。和室(正座)での練習。 受講希望者多数の場合は、受講人数の制限を行うので初回授業に必ず出席すること。 初回授業の欠席者は受講資格を失うものとする。		
連絡先／オフィスアワー	オフィスアワー(及び時間帯): 授業の前後 メールアドレス: yoshioka@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		

科目名	実習・日本の武道（合気道・剣道・相撲講義）		科目NO	100	
担当教員	（合気道）鍋木 幸次郎 ／ （剣道）下里 亘 ／（相撲講義）Tiedemann, Mark		単位	1	
授業の到達目標					
A		B	C	D	E
知識を理解し 取り組む力		論理的思考力・ 問題解決力	学習に取り組む 態度・意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的な コミュニケーション力
			◎	○	○
履修要件	特になし				
科目規定	日本の伝統的な文化を実際に体験し、日本における文化のあり方について学ぶことを目的とする。				
授業の概要	（合気道）合気道は単なる護身術ではありません。日本武道の一つの形、相手との一体化や相手と争わない精神がその技の根本に置かれています。「合気とは愛なり」という言葉どおり、相手と敵対するのではなく、心も体も相手にまかせることから技が生まれます。その練習の過程で、人との和というものを体感することができる武道です。 （剣道）伝統的な日本の剣道の研究。日本の武道を知り、その基本理論と概念を理解します。				
授業の目標	（合気道）合気道の技と心に触れます。護身術にも使える技を通して、力の抜き方、相手との合わせ方を学びます。 （剣道）日本の武道を実際に体験することにより、日本文化についての理解を深める。 C: 異文化理解のために、様々な実習を通じて、学習意欲を喚起することができる。 D: 様々な実習を通じて、周囲と協力しながらひとつの目標を達成することができる。 E: 様々な実習を通じて、コミュニケーション能力を養うことができる。				
授 業 計 画					
回数	授業内容			授業外の学習の指示他	
1	（相撲講義）実技ではなく相撲についての解説を行う			学習内容の復習（1時間）	
2	（合気道）力の抜き方を中心に合気道の基本の姿勢と動きを学ぶ			学習内容の復習（1時間）	
3	（合気道）体さばきを中心に合気道の基本の動きを学ぶ			学習内容の復習（1時間）	
4	（合気道）1教・2教・3教などを中心に相手の動きを押さえ込む基本技を学ぶ			学習内容の復習（1時間）	
5	（合気道）合気道の代表的な投げ技を学ぶ（投げる前まで）			学習内容の復習（1時間）	
6	（合気道）これまでの復習と他の様々な技を学ぶ			学習内容の復習（1時間）	
7	（合気道）これまでの復習と後ろ取りの技を学ぶ			学習内容の復習（1時間）	
8	（合気道）これまでのまとめと二人取りの技を学ぶ			これまでの学習成果を復習する(1時間)	
9	（剣道）序論 剣道、礼法、刀			学習内容の復習(1時間)	
10	（剣道）基本の足さばき、構えについて			学習内容の復習（1時間）	
11	（剣道）（技・稽古）相手と共に練習			学習内容の復習（1時間）	
12	（剣道）（切り返し きりかえし）相手と共に練習			学習内容の復習（1時間）	
13	（剣道）DVD			剣道の紹介 生涯修行、段位について（1時間）	
14	（剣道）日本剣道形			学習内容の復習（1時間）	
15	（剣道）復習			これまでの学習成果を復習する（1時間）	
評価方法		配分(%)	評価方法		配分(%)
試験(中間・期末)			授業時態度など		20
期末レポートなど			授業への参加度など		80
小テストなど			その他①()		
宿題など			その他②()		
プレゼンテーションなど			その他③()		

教科書	特になし
参考文献等	(剣道) 全日本剣道連盟 (Ed.): Japanese-English Dictionary of Kendo. Tokyo 2000 Miyamoto, Musashi: The book of five rings. Shambhala 200 Takuan Soho: The Unfettered Mind. Kodansha 2003 Yamamoto, Tsunetomo: Hagakure. Kodansha 2002 Suzuki, Daisetsu: Zen and Japanese Culture. Tuttle 1988 Herrigel, Eugen: Zen in the Art of Archery. Vintage 1999 http://www.kendo.or.jp/ http://www.osi.uio.no/kendo/pdf/Noma.pdf http://www.kendo-fik.org/ http://www.kendo-fik.org/english-page/english-page2/brief-history-of-kendo.htm http://www.youtube.com/watch?v=XWzdlpayeFk http://www.youtube.com/watch?v=MXMfPPWkMVY&feature=related
関連科目など	実習・日本の伝統文化 1・2・3
履修の留意点	(合気道) 運動ができる服装。スカート不可(受身ができる服)。手首を取る技が多いので腕時計などは授業前にはずすこと。 (剣道) 服装(注意!) 剣道の服装(稽古着、袴)を買う必要はありません。適当なスポーツウェアで、金属ジッパーのない厚い綿または同類のものがよいです。すべての貴金属類を事故防止の為に外してください。手足の爪をきれいに切ること。 イヤリングとピアスは外すこと。もしそれができないならばテープでおおうことです。また腕時計、チェーン、ネックレス、その他のアクセサリも外してください。すべて事故防止の為です。相手と共に練習しますので衛生管理にも気をつけてください。 日本人の学生は初心者であることが望ましいです。(防具着用の稽古はありません。)
連絡先/オフィスアワー	メール: ic@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (国際交流センター事務室)

Course Name	Japanese Culture A			Course Numbering	100
Instructor	Grajadian, Maria	Language	English	Credit(s)	2
Criterion-Referenced Evaluation					
A		B		C	
D		E			
Ability to understand and work on the content		Logical comprehension, Issue solving ability		Attitude and motivation towards the class	
Collaboration and leadership		Effective communication skill			
◎		○		○	
Registration Requirements	Ability to understand the course content in English.				
Course Description	The aim of the course is to gain knowledge of Japanese culture, while introducing several aspects of it.				
Course Summary	This course aims at familiarizing international students with Japanese culture and society in a historical perspective. The focus of the course in Fall 2015 lies on contemporary Japan (postwar Japan) and strives to draw an image of Japan as a repository of millennial traditions while being simultaneously embedded within an international, increasingly globalized world.				
Course Goals	A: to encourage the empirical perception of cultural phenomena (Japanese or not) B: to develop the ability in finding theoretical arguments to support the empirical observations E: to increase the confidence in publicly presenting own ideas				
Course Plan					
Class	Content			Outside of Class Assignments and Required Time	
1	Introduction: main concepts and ideas (dentô/denshō, mono no aware, giri/ninjō, wakon yōsai, ai)			Donald Keene (1990): Appreciations of Japanese Culture, pp. 11–70 and review/reflection (4 hrs)	
2	Japan as a socio-cultural phenomenon, classes and social stratification			Yoshio Sugimoto: An Introduction to Japanese Society, Cambridge/New York/Melbourne/Tokyo: Cambridge University Press, 2010, ch. 1 and ch. 2 and review/reflection (4 hrs)	
3	Geographical and generational variations, the educational system: unity within diversity			Yoshio Sugimoto: An Introduction to Japanese Society, Cambridge/New York/Melbourne/Tokyo: Cambridge University Press, 2010, ch. 3 ch. 4 and review/reflection (4 hrs)	
4	The family ideal and the problematic of gender: masculinity and femininity			Yoshio Sugimoto: An Introduction to Japanese Society, Cambridge/New York/Melbourne/Tokyo: Cambridge University Press, 2010, ch. 5 and ch. 6 and review/reflection (4 hrs)	
5	Work, leisure, group orientation and loneliness, ‘Japaneseness’, authenticity and hybridity			Yoshio Sugimoto: An Introduction to Japanese Society, Cambridge/New York/Melbourne/Tokyo: Cambridge University Press, 2010, ch. 7 and ch. 8 and review/reflection (4 hrs)	
6	Cultural consumption and entertainment industry I: printed media and visual media (1)			Yoshio Sugimoto: An Introduction to Japanese Society, Cambridge/New York/Melbourne/Tokyo: Cambridge University Press, 2010, ch. 9 and ch. 10 and review/reflection (4 hrs)	
7	Cultural consumption and entertainment industry II: visual media (2) and musical media			Preparation of presentation and term-paper (4 hrs)	
8	Students' presentations I: Love Hotels, Non-verbal communication and body language, LGBT in Japan			Preparation of presentation and term-paper (4 hrs)	
9	Students presentations II: Mizu-shoubai in modern Japan, Transformation of the ie-system in Japan: New family structures, The Goddess Amaterasu			Preparation of presentation and term-paper (4 hrs)	
10	Students' presentations III: Female Gender Roles in Anime: Naruto and Full Metal Alchemist			Preparation of presentation and term-paper (4 hrs)	

11	Students' presentations IV: Manga and Anime as socio-cultural phenomena, Cosplay in the USA and Japan	Preparation of presentation and term-paper (4 hrs)			
12	Students' presentations V: Xenophobia in Japan, Japanese Urban Legends, Contestation movements and subversive culture in Japan	Preparation of presentation and term-paper (4 hrs)			
13	Globalization and internationalization I: cultural imperialism, Cool Japan	Preparation of term-paper (4 hrs)			
14	Globalization and internationalization II: orientalism, occidentalism, self-orientalization	Preparation of term-paper (4 hrs)			
15	Conclusion: syncretism and nostalgia	Preparation of term-paper (4 hrs)			
Evaluation		Value (%)	Evaluation		Value (%)
Exam (Midterm•Final)			Class attitude		15
Final Report		50	Class participation		10
Quizzes			Other ①()		
Assignments			Other ②()		
Presentation		25	Other ③()		
Textbook	Yoshio Sugimoto: An Introduction to Japanese Society, Cambridge/New York/Melbourne/Tokyo: Cambridge University Press, 2010.				
References	Donald Keene (1990): Appreciations of Japanese Culture				
Related Courses	Seminar in Japanese Studies (Japanese Pop Culture) B/A				
Registration Notes	None				
Contact / Office Hours		maria-m-grajdian@nagasaki-u.ac.jp; for office hour/individual counseling please make an appointment via e-mail.			

Course Name	Seminar in Japanese Studies A			Course Numbering	300
Instructor	Grajdan, Maria	Language	English	Credit(s)	2
Criterion-Referenced Evaluation					
A		B	C	D	E
Ability to understand and work on the content		Logical comprehension, Issue solving ability	Attitude and motivation towards the class	Collaboration and leadership	Effective communication skill
◎		○			○
Registration Requirements	Ability to understand the course content in English.				
Course Description	The aim of this course is to encourage students to gain knowledge and better understanding of certain themes related to Japan.				
Course Summary	This course aims at familiarizing international students with Japanese contemporary popular culture as well as its connection with traditional Japan. During the course in Fall 2015, the focus lies on specific phenomena of Japanese popular culture while highlighting the interactive network of cultural production and consumption in late-modern Japan as well as its roots in classical concepts and ideals.				
Course Goals	A: to encourage the empirical perception of cultural phenomena (Japanese or not) B: to develop the ability in finding theoretical arguments to support the empirical observations E: to increase the confidence in publicly presenting own ideas				
Course Plan (Fall 2015 Syllabus Report)					
Class	Content			Outside of Class Assignments and Required Time	
1	Introduction: printed media and the transgression of knowledge in modern Japan I (Japanese encyclopedias)			Joy Hendry (1999): Other people’s Worlds, pp. 1–33 and review/reflection (4 hrs)	
2	Printed media and the transgression of knowledge in modern Japan II (Kawabata Yasunari & Mishima Yukio)			Appreciations of Japanese Culture, pp. 11–70 and review/reflection (4 hrs)	
3	Printed media and the transgression of knowledge in modern Japan III (Murakami Haruki & Murakami Ryū)			Roland Kelts (2007): Japanamerica, pp. 11–34 and review/reflection (4 hrs)	
4	Visual media I: Tezuka Osamu (+ prewar anime)			The Firebird: The Cosmozone of Love and review/reflection (4 hrs)	
5	Visual media II: Kon Satoshi; Shinkai Makoto			Tokyo Godfathers and review/reflection; Beyond the Clouds, The Promised Place and review/reflection (4 hrs)	
6	Musical media II: Misora Hibari (+ enka); aidoru; visual-kei			Enka videos and review/reflection, Aidoru videos and review/reflection, Visual-kei videos and review/reflection (4 hrs)	
7	Syncretic media: Hisaishi Joe, Kanno Yōko, Kajiura Yuki (anime/film music)			Preparation of presentation and term-paper (4 hrs)	
8	Students’ presentations I: Bakemono no ko, Naruto,Time of Eve			Preparation of presentation and term-paper (4 hrs)	
9	Students’ presentations II: Origins of Lolita Fashion, Current state of relationships and technology, Full Metal Alchemist			Preparation of presentation and term-paper (4 hrs)	
10	Students’ presentations III: Japanese TV Dramas, Japanese Fashion, Akatsuki no Yona, Japanese minorities in popular culture			Preparation of presentation and term-paper (4 hrs)	
11	Students’ presentations IV: Haibane Reimei, Cosplay, Sailor Moon, Shokugeki no Soma)			Preparation of presentation and term-paper (4 hrs)	
12	Students’ presentations V: Dragon Ball, Sex and violence in anime, Yakuza)			Preparation of term-paper (4 hrs)	
13	Phenomena of Japanese popular culture I: Takarazuka Revue			Preparation of term-paper (4 hrs)	
14	Phenomena of Japanese popular culture II: Studio Ghibli			Preparation of term-paper (4 hrs)	
15	Conclusion: postwar: postwar Japan and the entertainment industry; submission of term-papers			Preparation of term-paper (4 hrs)	

Evaluation		Value (%)	Evaluation	Value (%)
Exam (Midterm・Final)			Class attitude	15
Final Report		50	Class participation	10
Quizzes			Other ①()	
Assignments			Other ②()	
Presentation		25	Other ③()	
Textbook	Handouts provided in class			
References	Sandra Buckley: Encyclopedia of Contemporary Japanese Culture, London/New York: Routledge, 2002. Joy Hendry (1999): Other people’ s Worlds Roland Kelts (2007): Japanamerica Donald Keene (1990): Appreciations of Japanese Culture			
Related Courses	Japanese Culture B/A			
Registration Notes	None			
Contact / Office Hours		maria-m-grajdian@nagasaki-u.ac.jp; for office hour/individual counseling please make an appointment via e-mail.		

Course Name	Japanese Linguistics A			Course Numbering	200
Instructor	Yamak, Pascal	Language	English	Credit(s)	2
Criterion-Referenced Evaluation					
A		B		C	
Ability to understand and work on the content		Logical comprehension, Issue solving ability		Attitude and motivation towards the class	
◎		○		○	
Registration Requirements	This course is primarily designed for English native or near native students. No Japanese background is required to participate in the course.				
Course Description	This course encourages students to improve Japanese skills by learning Japanese linguistics.				
Course Summary	Some of the main features and components of the Japanese language usually introduced in textbooks for beginner to low-intermediate learners will be contrasted with their counterparts in English.				
	The basic grammatical forms considered will be mostly analyzed in the two following steps to ensure in-depth comprehension of their meaning and use: ①Description and characterization of some of the syntactico-semantic values of basic Japanese grammar as attributed by their particular linguistic context. ②Determination of the core meaning underlying these specific values through paraphrasing, first with non-specialized terms and later with more technical terminology borrowed from modern linguistics to the extent it can be easily understood by non-linguists.				
	A significant part of the class will be devoted to application of the descriptions provided, through translation activities in both ways and/or oral drills performed in group. Unnatural Japanese (or English) translations or oral expressions will not only be corrected, but also explained for improved comprehension of the possible correct forms.				
Course Goals	A: Provide students with a sound theoretical and practical understanding of basic and pre-intermediate Japanese grammar B: Introduce some of the conceptual and methodological tools in linguistics that students may use in their further study of the Japanese language for improved learning performance. E: Encourage students to get familiarized with these linguistics tools for improved learning performance and therefore more effective oral and written communication skills				
Course Plan					
Class	Content			Outside of Class Assignments and Required Time	
1	1. Main syntactic features of the Japanese sentence 2. Classification of parts of speech 3. Classification of particles and brief description of the main particles 4. Particle practice quiz			Review of handout materials Homework: Particle practice quiz (4 hrs)	
2	1. Morphological groups of verbs and adjectives 2. Inflection bases 3. Examples of suffix alternations from a verbal base form 4. Verb/adjective conjugation quizzes			Review of handout materials Homework: Verb/adjectives conjugation quizzes (4 hrs)	
3	1. Plain past/gerund forms of verbs and I-adjectives 2. Verb/adjective conjugation quiz 3. Examples of Japanese intransitive verbs with English transitive counterparts (aru/iru, perception/ability verbs ,au, suki/hoshii, mitsukaru)			Review of the handout materials Homework: Verb/adjectives conjugation quizzes Sentence-making practice using the intransitive verbs introduced in the class (4 hrs)	

4	1. The three categories of honorifics (keigo): teineigo (polite language)/sonkeigo (respectful language)/kenjoogo (humble language). 2. Description of honorifics (1): nominal prefixes, personal suffixes/nouns 3. Sentence-making practice using honorifics	Review of the handout materials Homework: Sentence-making practice using personal suffixes/nouns (4 hrs)
5	Description of honorifics (2): 1. Main respectful and humble forms of verbs-Production rules and usage 2. Plain verbs with lexical respectful and humble counterparts 3. Japanese personal pronouns-Semantic and syntactic features	Review of handout materials Homework: Respectful and Respectful verb form quizzes Sentence-making practice using respectful and humble verb forms (4 hrs)
6	1. Description of the usages of WA: topic/contrastive marker 2. Discussion on the basic meaning of WA 3. Particle practice quiz (WA or case particle?)	Review of handout materials Homework: Particle practice quiz. (WA or case particle?) (4 hrs)
7	1. Description of the usages of GA as a nominative case (subject) marker: + neutral description (unstressed GA) + exhaustive listing (stressed GA) 2. Particle practice quiz (WA or GA?)	Review of handout materials Homework: Particle practice quiz. (WA or GA?) (4 hrs)
8	1. Definition of the basic meaning of DAT NI: existential location 2. Definition of the two basic readings of DAT NI: stative location and goal 3. DAT NI in stative construals (spatial location, possessive constructions) 4. Sentence-making practice using NI in stative construals	Review of handout materials Homework: Sentence-making using NI with stative reading (4 hrs)
9	1. DAT NI in dynamic construals (1) as a goal marker (1): + Agentive/ caused motion and change-of-state constructions + Constructions with verbs and adjectives denoting conceptual motion + Constructions with verbs of mental reaction 2. Sentence-making practice using NI in dynamic construals.	Review of handout materials Homework: Translation of English sentences into Japanese using NI with a stative reading (4 hrs)
10	1. DAT NI in dynamic construals (1) as a goal marker (2): + NI-passives (direct/indirect/possessive) + Comparison of NI-passives with KARA/NI-YOTTE passives, Vte-morau/kureru constructions and causative constructions + Inanimate NI-passives 2. Sentence-making practice using NI-passive constructions	Review of handout materials Homework: Translation of English passive sentences into Japanese using NI-passive constructions (4 hrs)
11	1. Limitations of conventional descriptions of DE 2. Overview of the senses of the uses of DE 3. Basic meaning of DE as locator of a dynamic event (LOC) (1) +Topological and functional features of LOC 4. Description of spatial and instrumental DE 5. Comparison of spatial readings of DE and NI 6. Sentence-making practice using spatial and instrumental DE	Review of handout materials Homework: Particle practice quiz (NI or DE?) (4 hrs)

12	1. Basic meaning of DE as locator of a dynamic event (LOC) (2) + DE as denoting a contingent LOC + LOC as an attribute of one of the arguments or a composition of attributes of two arguments of the predicate + LOC as the overt component of a multidimensional functional locator 2. Description of manner and temporal DE. Comparison of temporal DE and NI. 3. Uses of DE in stative construals 4. Comparison quizzes: causative constructions versus constructions including causal DE;); ~GA yoi versus ~DE yoi.	Review of handout materials Homework: comparison quizz (futari-de Tokyo-ni iku (felicitous) versus *futari-de kekkonsuru (infelicitous) (4 hrs)			
13	(1) -(R)U and -TA as absolute and relative tense markers (2) Some uses of -(R)U and -TA irrelevant to tense distinction (3) Sentence-making practice using tense markers -(R)U and -TA	Review of handout materialsHomework: sentence-making using -(R)U and -TA as relative tense markers (4 hrs)			
14	(1) -(R)U and -TA as aspect markers (2) General and specific aspectual interpretations of -TE-IRU (3) Comparison between Experiential -TE-IRU and -TA KOTO-GA ARU (4) Sentence-making practice using aspect markers -(R)U, -TA and -TE-IRU	Review of handout materials Homework: quizzes on the aspectual readings of -TE-IRU; translation of Japanese sentences including -TE-IRU with different aspectual readings (4 hrs)			
15	(1) Description of other aspectual constructions: [VerbINF]-AUX Type: (1) -OWARU/-OERU/-YAMU, (2) -HAJIMERU/-DASU [VerbCONJ]-AUX Type: (1) -TE-ARU, (2) -TE-SHIMAU, (3) -TE-IKU/-TE-KURU [AdjADV]-NARU Type: -KU/NI-NARU (2) Sentence-making practice and quizzes related to the above aspect markers	Review of handout materials (4 hrs)			
Evaluation		Value (%)	Evaluation		Value (%)
Exam (Midterm•Final)			Class attitude		10
Final Report		70	Class participation		10
Quizzes		10	Other ①()		
Assignments			Other ②()		
Presentation			Other ③()		
Textbook	No textbooks will be used for this course. All course materials will be handed out in class.				
References	Lists of reference publications (including online reference materials) will be supplied at the commencement of the course and each lecture.				
Related Courses	Japanese language courses				
Registration Notes	Attendance of a minimum of ten classes is required to pass this course.				
Contact / Office Hours	E:mail: ypyamak3244fej@wave.plala.or.jp				

Course Name	Contemporary Japanese Literature A			Course Numbering	200
Instructor	Tiedemann, Mark	Language	English	Credit(s)	2
Criterion-Referenced Evaluation					
A		B		C	
D		E			
Ability to understand and work on the content		Logical comprehension, Issue solving ability		Attitude and motivation towards the class	
Collaboration and leadership		Effective communication skill			
◎		○		○	
Registration Requirements	Little to no background in literary studies is required. Students will have to access and read these stories either in English (as most of the students will be doing), in the original Japanese (for Japanese natives), or in translation in any other language. Concerning English language ability, student must have the ability to take the daily quizzes (in English), over the daily readings, to have the ability to keep up with the class discussions, to give a simple presentation about a book (in English) to the class, and to write a short paper on a theme in the book. This class will be capped at 40 students. There is a maximum of 10 spots for degree-seeking students.				
Course Description	Students will learn about Japanese literature and culture through reading and understanding contemporary Japanese literature.				
Course Summary	This course is an introduction to some of the fiction being produced in the contemporary society of Japan. First, we will look at two novels and several short stories by one of Japan's most prolific and popular writers, Haruki Murakami, which illustrate his development as a writer and the progress of his ideas about such things as consciousness, imagination, concepts of reality, and the meaning of an existential existence in the modern world. We will also look at works, some disturbing, some disgusting, by other contemporary writers (mostly women) who peer into the soul of Japanese society as they see it today. Note: Because this is a literature in translation class, students from non-English language traditions are welcome to read the works in other languages.				
Course Goals	A: This is intended to be an introductory-level class that will be accessible to students with little literary background, but who have an interest in the contemporary scene of Japanese literature. The first step is to understand the basics of each story, including the portrayal and motivations of the characters, as well as the basic plot structures. B: In discussion, we will look at what these stories can tell us about Japanese society as well as how an understanding of Japanese society can contribute to an understanding of the stories. We will also look at how the stories fit into categories of genre and their use of literary devices. E: The goal of these and other discussions is to try to determine what the author is communicating and what the story means to us.				
Course Plan					
Class	Content			Outside of Class Assignments and Required Time	
1	Introduction to the course. Background to Japanese literature. "Yumiyura City," Yasunari Kawabata; "Love in the Morning," Yukio Mishima (handouts)			"On Meeting my 100% Perfect Girl . . ." (pdf); "TV People " (pdf); "The Elephant Vanishes" (pdf) (4 hours)	
2	"On Meeting my 100% Perfect Girl . . ." (pdf); "TV People " (pdf); "The Elephant Vanishes" (pdf)			Hard-Boiled Wonderland and the End of the World, Haruki Murakami, Ch. 1-17 (4 hours)	
3	Hard-Boiled Wonderland and the End of the World, Haruki Murakami, Ch. 1-17			Hard-Boiled Wonderland, Ch. 18 to end (4 hours)	
4	Hard-Boiled Wonderland, Ch. 18 to end			Norwegian Wood, Haruki Murakami, Ch. 1-5 (4 hours)	
5	Norwegian Wood, Haruki Murakami, Ch. 1-5			Norwegian Wood, Ch. 6 to end; "Mazelfe" (pdf) (4 hours)	
6	Norwegian Wood, Ch. 6 to end;			Kitchen, Banana Yoshimoto, all; "Moonlight Shadow" (pdf); (4 hours)	
7	Kitchen, Banana Yoshimoto, all; "Moonlight Shadow" (pdf);			"Sproing!" "Mazelfe" (pdf) "Japan's Junglest Day"(4 hours)	
8	"Sproing!" "Mazelfe" (pdf) "Japan's Junglest Day"			Villain, Shuichi Yoshida Ch. 1-2 (4 hours)	
9	Villain, Shuichi Yoshida Ch. 1-2			Villain, Shuichi Yoshida Ch. 3-5 (4 hours)	
10	Villain, Ch. 3-5			Prepare presentations and paper on their book (4 hours)	
11	Students' Presentation Day; accompanying papers due			Outline the events in Villain (4 hours)	

12	Villain, the movie	<i>Twinkle, Twinkle, Emi Shimokawa, all.</i> (4 hours)		
13	<i>Twinkle, Twinkle</i> , Emi Shimokawa, all.	<i>In the Miso Soup, Ryu Murakami, through p. 81</i> (4 hours)		
14	<i>In the Miso Soup</i> , Ryu Murakami, all;	<i>In the Miso Soup</i> , p. 81 to the end (4 hours)		
15	<i>In the Miso Soup</i> , p. 81 to the end; In-class summative essay	Prepare for Final Exam (4 hours)		
Evaluation		Value (%)	Evaluation	Value (%)
Exam (Midterm• Final)		30	Class attitude	10
Final Report			Class participation	10
Quizzes		40	Other ①()	
Assignments			Other ②()	
Presentation		10	Other ③()	
Textbook	Although a few copies of the novels are available in the library, students will be responsible for securing the reading materials themselves.			
References	Provided as necessary			
Related Courses	None			
Registration Notes	** Accommodations for the quizzes and exams may be requested for non-native English speakers *** If students need additional coursework in order to meet the demands of their home university, they should let the instructor know very early on in the semester and work out an appropriate plan in consultation with both the home university and the instructor.			
Contact / Office Hours		Office: 330	Office hour: Monday 2 nd period	E-mail: mdtiedemann@mac.com

Course Name	Peace Studies			Course Numbering	400
Instructor	Tiedemann, Mark	Language	English	Credit(s)	2
Criterion-Referenced Evaluation					
A		B	C	D	E
Ability to understand and work on the content		Logical comprehension, Issue solving ability	Attitude and motivation towards the class	Collaboration and leadership	Effective communication skill
		○		◎	○
Registration Requirements	None				
Course Description	This course encourages students to examine and understand peace from different perspectives.				
Course Summary	This is a discussion class that will attempt to challenge students to become more knowledgeable in topics related the achievement of peace and security, and especially the pitfalls on the road to a more peaceful world. Students will be required to closely read a variety of essays in order to inspire them to think more deeply and more clearly about such things as the sources of conflict between peoples and cultures and the nature of peace. The topic of peace will be looked at from different angles, including the quality of peace, its vulnerability, and ways to try to bring about this desirable, but elusive goal.				
Course Goals	B: D: The goal of the course is to make students better aware of the complex issues surrounding the topic of peace, to give them some tools to use in the future as they assess situations of conflict and conflict resolution, and to, therefore, become better global citizens. E: Participation in the class discussion and the experience of the book report to the class will contribute to communication skills.				
Course Plan					
Class	Content		Outside of Class Assignments and Required Time		
1	Introduction, What is war? Peace? Peace Studies?		“National Images and International Systems,” Boulding [AP 1&2nd Ed; pdf] “Peace and Conflict Instability Ledger,” Hewitt, [P&C; pdf] (4 hours)		
2	Lecture: The Atomic Bombing in Nagasaki, prepartations for A-Bomb debates		“Race to control natural riches fueling world’s conflicts: U.N.” [pdf] (4 hours)		
3	A-Bomb debates		“Demographics of Radical Islam,” [doc] (4 hours)		
4	Causes of War The Individual / The Group / The State/ Economics, discussions		“Neoconservatism” Encyclopedia Britannica [doc] “Counter the Narrative” 60 Minutes [mp3 and mp4] (4 hours)		
5	Ideology		“Terrorism Past and Present,” [AP 2nd Ed; pdf]; “Dying to Win: The Strategic Logic of Suicide Terrorism,” Pape [AP 2nd Ed; pdf] (4 hours)		
6	Terrorism		“New Era in World Politics,” Huntington [pdf] (4 hours)		
7	Deception and Misconceptions		“Conflict Escalation and Problem Solving,” Pruitt & Fry [pdf] “Introduction” from Contemporary Conflict Resolution, [pdf] (4 hours)		
8	Avoiding Conflict Diplomacy, Negotiation, Conflict Resolution		Atomic Issues worksheet (4 hours)		
9	Atomic Bomb Issues: Atomic Bomb survivor’s testimony (YouTube), Atomic Issues today		“Peace Through Strength Platform” [web archive] “The Peace Racket” [pdf] “International Law,” Barash [AP 1&2nd Ed; pdf] (4 hours)		
10	International Organizations and International Law, Peace Through Strength		“Peace Movements in History,” Young [AP 1st Ed; pdf] (4 hours)		
11	Peace Movements, Non-Violence		“Nation Building,” “Evolution of U.N. Peacekeeping,” Goulding [AP 114; pdf] “International Peacekeeping: The U.N. versus Regional Organizations,” Wallenstein & Heldt [P&C; pdf] Stephenson [doc] (4 hours)		

12	Building Negative Peace Nation Building, Peacekeeping	“Women, Human Security, and Peace-building: A Feminist Analysis” (4 hours)	
13	Building Positive Peace Feminist Perspectives	“Human Rights,” Barash {AP 1&2nd Ed; pdf} U.N. Universal Declaration of Human Rights {handout; doc} (4 hours)	
14	Human Rights	“Global Economic Solidarity,” Sachs {AP 2nd Ed; pdf} “UN Millennium Project: Goals, targets & indicators” {web archive} (4 hours)	
15	Economic & Ecological Well-Being	Prepare for the Final Exam (4 hours)	
Evaluation		Value (%)	Value (%)
Exam (Midterm•Final)			Class attitude
Final Report			Class participation
Quizzes		70	Other ①()
Assignments			Other ②()
Presentation		30	Other ③()
Textbook	None		
References	Provided as necessary.		
Related Courses	None		
Registration Notes	Because the goal of the course is to get students to think more clearly and deeply about various issues, and essential step is to read the assigned readings. Daily quizzes will test students' diligence. Whether a student passes the class or not will depend mostly upon these quizzes. Students will also be required to read and give a book report presentation on a book from the reading list. *** If students need additional coursework in order to meet the demands of their home university, they should let the instructor know very early on in the semester and work out an appropriate plan in consultation with both the home university and the instructor.		
Contact / Office Hours	Office: 330 Office hour: Monday 2 nd period E-mail: mdtiedemann@mac.com		

Course Name	Japanese Literary History A			Course Numbering	200
Instructor	Marra, Claudia	Language	English	Credit(s)	2
Criterion-Referenced Evaluation					
A		B	C	D	E
Ability to understand and work on the content		Logical comprehension, Issue solving ability	Attitude and motivation towards the class	Collaboration and leadership	Effective communication skill
◎		○			○
Registration Requirements	Genuine interest in Japanese literature (English translations), sufficient English to read and understand assignments and to participate actively in class discussions.				
Course Description	Students will understand Japanese literature through gaining knowledge of Japanese literal history.				
Course Summary	After a general introduction to Japanese literary history, we will be focussing on monsters, ghosts and other mysterious creatures as they appear in Japanese literature.				
Course Goals	A/B: Become acquainted with an academic approach to and understand the basic terms and concepts involved in the study of Japanese literature. Acquire knowledge about styles and concepts of aesthetics in Japanese literary traditions. E: Develop a cross-cultural and comparative cultural understanding.				
Course Plan					
Class	Content			Outside of Class Assignments and Required Time	
1	Introduction, Explanation of Assignments			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
2	Ancient and Classical literature			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours tudying time per class.	
3	The Influence of Chinese Literature			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
4	Medieval Literature			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
5	Early Modern Literature			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
6	Modern Literature ~ Contemporary Literature			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
7	Konjaku Monogatari I			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
8	Konjaku Monogatari II			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
9	Nō drama			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
10	Kabuki drama			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
11	Ueda Akinari: Ugetsu Monogatari			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
12	Akutagawa Ryunosuke: Kappa			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	

13	Kenji Miyazawa: Short stories	Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
14	Tanizaki Junichiro: Short stories	Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
15	Final discussion	Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
Evaluation		Value (%)	
Exam (Midterm・Final)			Class attitude
Final Report		50	Class participation
Quizzes			Other ①()
Assignments			Other ②()
Presentation		20	Other ③()
Textbook	Ueda: Ugetsu Monogatari. British Columbia 1985 Koriyama, Allen: Japanese Tales from Times Past. Tokyo 2015 Ury: Tales of times now past: sixty-two stories from a medieval Japanese collection. Berkeley 1985 Jones: Ages ago: thirty-seven tales from the Konjaku Monogatari Collection. Harvard 2013 Miyazawa: The Milky Way Railroad. Stone Bridge Press 1996 Miyazawa: 注文の多い料理店 The Restaurant of many Orders. (英語・日本語CD付き) Tokyo 1998 Miyazawa: Once and Forever. New York 1993 Umehara: Lotus and Other Tales of Medieval Japan. Tokyo 1993 Kimbrough: Wondrous Brutal Fictions. New York 2013 Tyler: Japanese Tales. New York 1987 Koda Rohan: Pagoda, Skull & Samurai. Tokyo 1985 Sato: Miyazawa Kenji Selections. Berkely 2007 Shimazaki: Warrior Ghost Plays from the Japanese Noh Theater. Cornell 1993 Akutagawa: Kappa. Tokyo 1970		
References	Kawai: Dreams, Myths and Fairy Tales in Japan. Einsiedeln 1995 Kawai: The Japanese Psyche: Major Motifs in the Fairy Tales of Japan. New York 1996 Drazen: A Gathering of Spirits: Japan's Ghost Story Tradition. Bloomington 2011 Kilpatrick: Miyazawa Kenji and His Illustrators: Images of Nature and Buddhism in Japanese Children's Literature. Leiden 2012 Foster: The Book of Yokai. Berkeley 2015 Foster: Pandemonium and Parade. Berkely 2008 Davison: Yurei: The Japanese Ghost. Seattle 2015 Meyer: The Night Parade of One Hundred Demons. o.O. 2012 Meyer: The Hour of Meeting Evil Spirits: An Encyclopedia of Mononoke and Magic. o.O. 2015 Iwasaka: Ghosts and the Japanese: Culture Experience in Japanese Death Legends. Utah 1994 Suter: Holy Ghosts: The Christian Century in Modern Japanese Fiction. Honolulu 2015 Brandon, Leiter: Masterpieces of Kabuki. Honolulu 2004 Thomas: Drawing on Tradition. Honolulu 2012 Gabriel: Spirit Matters. Honolulu. 2006 Ebihara: Land of Rising Ghosts & Goblins. o.O. 2012 Shimazaki: Edo Kabuki in Transition: From the Worlds of the Samurai to the Vengeful Female Ghost. New York 2016		
Related Courses	Overview of Japanese History B/A		
Registration Notes	None		
Contact / Office Hours	Thursday 3 rd period, office 324, e-mail marra[.]@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		

Course Name	Overview of Japanese History A			Course Numbering	100
Instructor	Marra, Claudia	Language	English	Credit(s)	2
Criterion-Referenced Evaluation					
A		B		C	
Ability to understand and work on the content		Logical comprehension, Issue solving ability		Attitude and motivation towards the class	
◎		○		○	
Registration Requirements	A sufficient English-level to follow this class and a genuine interest in studying Japanese history.				
Course Description	In this course, students will acquire basic knowledge of Japanese history for in-depth exploration.				
Course Summary	This class will provide a general historical overview from prehistoric to modern times for students without experience in the study of Japanese history.				
Course Goals	A/B: Become acquainted with an academic approach to and understand the basic terms and concepts involved in the study of Japanese history. Acquire knowledge about Japanese historic developments and their effects on society and culture. E: Develop a cross-cultural and comparative historical understanding.				
Course Plan					
Class	Content			Outside of Class Assignments and Required Time	
1	Introduction, Japanese Prehistory and Ancient Japan			Please study the booklist for this class and look up the key events of the Paleolithic, Jōmon, Yayoi and Kofun periods,	
2	Classical Japan I : Asuka period, Influence of Chinese Culture and Buddhism			Please make yourself familiar with the key concepts of Shintō and Buddhism and read up about Japans political structure of that time. Studying time 4 hrs.	
3	Classical Japan II: Nara period			Please read up about the legal, economical and political developments of the Nara period, 4 hrs.	
4	Classical Japan III: Heian period			Please study the achievements of Japanese Court culture and think about reasons for the rise of the samurai, who eventually brought this period to an end. 4 hrs.	
5	Medieval Japan I: Kamakura period and Kemmu restauration			Please read up on the structural and political changes implemented by the new military leaders. Please also check cultural and religious developments. 4 hrs.	
6	Medieval Japan II: Ashikaga shogunate, Nanban trade, Arrival of Christianity			Please make yourself familiar with the geopolitical environment of Japan and the history of Christian mission in Asia. 4 hrs.	
7	Medieval Japan III: Sengoku period, Beginning Persecution of Christianity			Please make yourself familiar with the main protagonists of this period: Oda Nobunaga, Toyotomi Hideyoshi and Tokugawa Ieyasu. 4 hrs.	
8	Early Modern Japan: Edo period I – Stabilizing Tokugawa rule, Sakoku politics			Please read up how the Tokugawa managed to rule the country over more than 250 years. Think about reasons for Japan's isolationist politics. 4 hrs.	
9	Early Modern Japan: Edo period II – Life in Edo			Make yourself familiar with Edo society, lifestyles, fashion etc. 4 hrs.	
10	Early Modern Japan: Bakumatsu period – The arrival of the Black ships, end of Tokugawa rule			Please make yourself familiar with the political situation of Asia at the time, check the colonial interests of Western powers and find out about Japan's response to these events. 4 hrs.	

11	Modern Japan I : Meiji period I – Restructuring of the government, modernization of the country	Please read up on the Japanese discussion about the advantages and disadvantages of Westernization. 4 hrs.		
12	Modern Japan II : Meiji period II – Japanese Imperialism and Foreign policy	Please read up on Japans relationships with its Asian neighbors. 4 hrs.		
13	Modern Japan III: Taishō and prewar Shōwa period	Please read up on Japans role in World War I and the following developments leading to World War II. 4 hrs.		
14	Contemporary Japan I : Shōwa period – World War II and after	Please read up on Japan’s role in World War II and the post war economic miracle. 4 hrs.		
15	Contemporary Japan II: Heisei period	Please make yourself familiar with the contemporary political, social and economic system. 4 hrs.		
Evaluation		Value (%)	Evaluation	Value (%)
Exam (Midterm•Final)			Class attitude	
Final Report		50	Class participation	30
Quizzes			Other ①()	
Assignments			Other ②()	
Presentation		20	Other ③()	
Textbook	There is no textbook for this class. For a thorough introduction I recommend the 6 volume “Cambridge History of Japan” edited by J.W. Hall. As for compact introductions, you may want to check out Mason/Caiger: “A History of Japan”, Reischauer’s “Japan–The Story of a Nation” or Allinson’s “Columbia Guide to Modern Japanese History”. Please see me if you’d like recommendations for reference books in other languages.			
References	Hall, John Whitney. The Cambridge History of Japan. Cambridge: Cambridge University Press. 1988–1999. Hall John Whitney. Japan: From Prehistory to Modern Times. 1970. Reischauer, Edwin O. Japan: The Story of a Nation. 1990. Mason/Caiger: A History of Japan. 2004. Jansen, Marius B. The Making of Modern Japan. 2002. Allinson, Gary D. The Columbia Guide to Modern Japanese History. 1999. Totman: Japan before Perry. 1981. Dunn: Everyday Life in Traditional Japan. 1997.			
Related Courses	Japanese Literary History B/A, Nagasaki Fieldwork Seminar			
Registration Notes	Regular, well prepared and active participation are required for this class. Please be prepared for unannounced short tests and refrain from plagiarism in your reports.			
Contact / Office Hours	Thursday 3 rd period, office 324, e-mail marra[@]tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			

Course Name	Introduction to Japanese Society			Course Numbering	100
Instructor	Tiedemann, Mark	Language	English	Credit(s)	2
Criterion-Referenced Evaluation					
A		B		C	
D		E			
Ability to understand and work on the content		Logical comprehension, Issue solving ability		Attitude and motivation towards the class	
Collaboration and leadership		Effective communication skill			
◎		○		○	
Registration Requirements	Students have to have a sufficient English-language ability to read the materials, understand the lectures, and successfully take the quizzes and exams. This class will be capped at 40 students. There is a maximum of 10 spots for degree-seeking students.				
Course Description	The aim of the course is to gain knowledge of basic Japanese society.				
Course Summary	In this class we will look at Japanese social relationships and institutions. We will examine the ways in which the forms of social structure — groups, organizations, communities, social categories (such as class, sex, age, or race), and various social institutions (such as kinship, economic, political, or religious) affect the attitudes, actions, and opportunities of the Japanese people.				
Course Goals	A: This course aims to develop students’ basic understanding of the social institutions of Japan and major characteristics of Japanese society, referencing such topics as identity, religion, class, family, gender, social organization, governance, work, education, and current politics. B: Unifying the study of these diverse subjects of study is the goal of understanding how the actions and consciousness of the Japanese both shape and are shaped by surrounding cultural and social structures. E: At certain points during classes students will be asked to think about topics and interact with other students to discuss the topics.				
Course Plan					
Class	Content			Outside of Class Assignments and Required Time	
1	Introduction, Sharing of preconceived notions about Japanese society			Organization of notes taken on preconceived notions. (4 hours)	
2	Introduction to and discussion of some societal concepts applied to the Japanese and other cultures			“Structure and Nature of Japan” (4 hours)	
3	Lecture: People and Geography			“The Japan Phenomenon & the Social Sciences” (IJS Ch 1) (4 hours)	
4	Lecture: Interpreting Japan—From the Outside			“Gender Stratification & the Family System” (IJS Ch 6) (4 hours)	
5	Lecture: Family			“Religion in contemporary Japanese lives” (4 hours)	
6	Lecture: Religion			Religion	
7	Lecture: Leisure			“Class and Stratification” (IJS Ch2) (4 hours)	
8	Lecture: Class in Japanese Society			“Ritual & the Life Cycle” (4 hours)	
9	Lecture: Interpersonal Relations			“Diversity & Unity in Education” (IJS Ch5) (4 hours)	
10	Lecture: Education			“Aging and social welfare in Japan” (4 hours)	
11	Lecture: Health and Social Welfare			“Collusion & Competition in the Establishment” (IJS Ch8) (4 hours)	
12	Lecture: Government			“Popular Culture & Everyday Life” (IJS Ch 9) (4 hours)	
13	Lecture: Popular Culture			“Forms of Work in Cultural Capitalism” (IJS Ch 4) (4 hours)	
14	Lecture: Employment			“Civil Society & Friendly Authoritarianism” (IJS Ch 10) (4 hours)	
15	Lecture: Enlightened Authoritarianism			Prepare for the Final Exam (4 hours)	

Evaluation		Value (%)	Evaluation		Value (%)
Exam (Midterm+Final)		40	Class attitude		
Final Report			Class participation		
Quizzes		60	Other ①()		
Assignments			Other ②()		
Presentation			Other ③()		
Textbook	<i>An Introduction to Japanese Society</i> , 3 rd ed., Yoshio Sugimoto, Cambridge, 2010. (IJS)				
References	<i>Understanding Japanese Society</i> , 4 th ed., Joy Hendry, Routledge, 2013. (UJS)				
	<i>Routledge Handbook of Japanese Culture and Society</i> , Bestor et. al. Eds., Routledge, 2011. (RHJCS)				
	<i>Modern Japanese Culture</i> , Yoshio Sugimoto Ed., Cambridge, 2009. (MJC)				
	<i>The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture</i> , Roger Davies, Ed., Tuttle, 2002				
	<i>Japan's Cultural Code Words</i> , Boye Lafayette De Mente, Tuttle, 2004				
Related Courses	None				
Registration Notes	Accommodations for the quizzes and exams may be requested for non-native English speakers				
Contact / Office Hours		Office: 330	Office hour: Monday 2 nd period	E-mail: mdtiedemann@mac.com	

Course Name	Japanese Business A			Course Numbering	200
Instructor	Umali, Celia	Language	English	Credit(s)	2
Criterion-Referenced Evaluation					
A		B		C	
Ability to understand and work on the content		Logical comprehension, Issue solving ability		Attitude and motivation towards the class	
◎		○		○	
Registration Requirements	Good knowledge of English is important.				
Course Description	The aim of this course is to help students learn and have a better understanding of how to do business in Asia given the different management systems and business practices.				
Course Summary	We will study the differences and similarities in business practices and management systems in different countries in Asia and the role culture plays in the management effectiveness of firms. The inner workings of Asian firms at the different phases of the internationalization process will also be analyzed.				
Course Goals	A: Interactive learning will be carried out wherein students will be encouraged to engage in fruitful discussions and exchange of ideas on certain topics. B: For each lecture topic there will be questions for critical thinking and discussions. C: Each student is required to submit a final report. This entails research on related topic and presentation of the final report.				
Course Plan					
Class	Content		Outside of Class Assignments and Required Time		
1	Introduction to comparative management		Chen, Min. Asian Management System, Introduction. (4 hrs)		
2	Comparative management models		Chen, Min. Asian Management System , Chap. 1 (4 hrs)		
3	Importance of cross cultural literacy in business		Hill, Charles. International Business, MacGraw Hill, 2014, Chap. 4 Schermerhorn, John and Daniel Bachrach. Introduction to Management, Wiley,2015 Chap 5 (4 hrs).		
4	Chinese management style and business practices		Chen, Min. Asian Management System , Chaps. 4,5 and 6 Hasegawa H. and C. Noronha, Asian Business and Management, Palgrave MacMillan, 2009. Chap. 9 (4 hrs.)		
5	Korean management style and business practices		Chan, Sup Chang and N.J. Chang, The Korean Management System,Quorum Books. 1994. Chps. 5,6 and 7; Hasegawa H. and C. Noronha, Asian Business and Management, Palgrave MacMillan, 2009. Chap 11. (4 hrs.)		
6	Japanese management style and business practices		Chen, Min. Asian Management System , Chap. 13. Hasegawa H. and C. Noronha, Asian Business and Management, Palgrave MacMillan, 2009. Chap 8. Jackson,Keith and Miyuki Tomioka, The Changing Face of Japanese Manangement. (4 hrs.)		
7	Understanding business cultures in Japan and the US, Comparing Japanese, Korean and US management systems		Chen, Min. Asian Management System , Chap. 13. (4 hrs).		
8	Government and business relationship in Japan and Korea		Chen, Min. Asian Management System , Chap. 11(4 hrs).		
9	Comparing Japan’s Keiretsu and Korea’s Chaebols		Chan, Sup Chang and N.J. Chang, The Korean Management, Chap. 6. Chen, Min. Asian Management System , Chap. 12.(4 hrs).		
10	Communication style in Japan and the US		Lee Sang and Gary Schwendiman (eds) Management by Japanese System , Chap. 21 (4 hrs).		

11	Social values and business practices in other Asian nations	Hasegawa H. and C. Noronha, Asian Business and Management, Rowley, Chris and S. Abdul-Rahman, The Changing Face of Management in Southeast Asia,Routlege, 2008. (4 hrs).		
12	European management values	Wood, Margaret, International Business, Chap. (4 hrs).		
13	Report Presentation	Research and report writing (4 hrs).		
14	Report Presentation	Research and report writing (4 hrs).		
15	Report Presentation	Research and report writing (4 hrs).		
Evaluation		Value (%)	Evaluation	Value (%)
Exam (Midterm•Final)			Class attitude	20
Final Report		50	Class participation	20
Quizzes			Other ①()	
Assignments		10	Other ②()	
Presentation			Other ③()	
Textbook	None			
References	Chen, Min. Asian Management System. Thomson, 2004. Hasegawa H. and C. Noronha, Asian Business and Management, Palgrave MacMillan, 2009.			
Related Courses	Japanese Management B			
Registration Notes	None			
Contact / Office Hours		umari@nagasaki-u.ac.jp		

Course Name	Japanese Management A			Course Numbering	200
Instructor	Umali, Celia	Language	English	Credit(s)	2
Criterion-Referenced Evaluation					
A		B	C	D	E
Ability to understand and work on the content		Logical comprehension, Issue solving ability	Attitude and motivation towards the class	Collaboration and leadership	Effective communication skill
◎		○			○
Registration Requirements	Good knowledge of English is important.				
Course Description	This course focuses on the Japanese economy , business and management system.				
Course Summary	The lecture will deal with the Japanese economy, business and management. First we will look at the current economic situation in Japan. Then we will analyze the business and economic structures and key relationships in business. We will also discuss the Japanese corporate system, structure and management. Lastly, we will study the Japanese production and distribution systems, and small and medium-size enterprises.				
Course Goals	A: Interactive learning will be carried out wherein students will be encouraged to engage in fruitful discussions and exchange of ideas on certain topics. B: For each lecture topic there will be questions for critical thinking and discussions. C: Each student is required to submit a final report. This entails research on related topic and presentation of the final report.				
Course Plan					
Class	Content		Outside of Class Assignments and Required Time		
1	Current situation of the Japanese economy		Reading materials will be provided later (4 hrs).		
2	Japanese corporate groupings (Keiretsu) in transition, key economic relationships in Japan		Read Chap.1 Government-business relations in Japan and South Korea and Chap. 12, Comparative large Japanese and Korean business groups, Chen, Min. Asian Management System, Thompson 2004. (4 hrs).		
3	Kaisha: characteristics and corporate strategy		Read Chaps. 13 Japanese management style, Chen, Min. Asian Management System, Thompson 2004; Chap. 7, Human Resource Management, Haghirian, Parissa,, J-Management, Iuniverse Inc., 2009.(4 hrs).		
4	Kaisha: work place and work system		Read Chaps. 13 Japanese management style, Chen, Min. Asian Management System, Thompson 2004; Chap. 7, Human Resource Management, Haghirian, Parissa,, J-Management, Iuniverse Inc., 2009. (4 hrs).		
5	Recruitment		Read Jackson, Keith and Miyuki Tomoika,, Chap. 4, Starting a career, The Changing Face of Japanese Management ,Routledge, 2004. (4 hrs).		
6	Training and education and career development		Read Jackson, Keith and Miyuki Tomoika, Chap. 5, Losing patience, The Changing Face of Japanese Management ,Routledge, 2004; Chap. 2 Human Resource Management, Haghirian, Parissa, Understanding Japanese Management Practices, Business Expert Press, 2010. (4 hrs).		
7	Japanese management system in transition		Reading materials will be provided later (4 hrs).		
8	Japanese production system: lean production and kanban system		Read Jeffrey Liker, The Toyota Way, MacGraw-Hill, 2004; Chap. 8, Production Management, Haghirian, Parissa,, J-Management, Iuniverse Inc., 2009. (4 hrs).		

9	Japanese production system: kaizen and quality circles	Read Jeffrey Liker, The Toyota Way, MacGraw-Hill, 2004; Chap. 8, Production Management, Haghirian, Parissa,, J-Management, Iuniverse Inc., 2009. (4 hrs).		
10	Outsourcing	Reading materials will be provided later (4 hrs).		
11	Small and medium size enterprises (SMEs)	Read handouts from METI White Paper on SMEs (4 hrs).		
12	Distribution system in Japan	Read Chap. 19 Chen, Min. Asian Management System, Thompson 2004; Chap. 9. Marketing , and Chap. 11 Distribution, Haghirian, Parissa,, J-Management, Iuniverse Inc., 2009; Chap.5 Entering the Japanese Market and Chap. 8, Selling Your Product to Japanese Customer; Haghirian, Parissa, Understanding Japanese Management Practices, Business Expert Press, 2010.(4 hrs).		
13	Report Presentation	Research and report writing (4 hrs).		
14	Report Presentation	Research and report writing (4 hrs).		
15	Report Presentation	Research and report writing (4 hrs).		
Evaluation		Value (%)	Evaluation	Value (%)
Exam (Midterm+Final)			Class attitude	20
Final Report		50	Class participation	20
Quizzes			Other ①()	
Assignments		10	Other ②()	
Presentation			Other ③()	
Textbook	None			
References	Chen, Min. Asian Management System, Thompson 2004. Haghirian, Parissa, Understanding Japanese Management Practices, Business Expert Press, 2010. Haghirian, Parissa,, J-Management, Iuniverse Inc., 2009. Inohara, Hideo, Human Resource Development in Japanese Companies, APO, 1990. Jackson, Keith and Miyuki Tomoika, The Changing Face of Japanese Management ,Routledge, 2004.			
Related Courses	Japanese Business A			
Registration Notes	None			
Contact / Office Hours	umari@nagasaki-u.ac.jp			

Course Name	Japanese Film A			Course Numbering	200
Instructor	Gale, Paul	Language	English	Credit(s)	2
Criterion-Referenced Evaluation					
A		B		C	
Ability to understand and work on the content		Logical comprehension, Issue solving ability		Attitude and motivation towards the class	
◎		○		○	
Registration Requirements	Students must attend the first class. An ability to understand and participate in discussions at native-level English is a requirement for this class. This class will be capped at 40 students. There is a maximum of 10 spots for Japanese students.				
Course Description	Students will understand characteristics of Japanese films while gaining knowledge of them.				
Course Summary	This course will give an overview of Japanese live-action cinema. Films viewed will be from a variety of genres, dealing with various social topics that open discussion on society in Japan and its connection with the global community. Films will be shown in class with English subtitles. Students will be given access to a collection of DVDs to encourage them to expand their own interest in Japanese cinema, in preparation for a presentation project. Although this class is centered on watching films, students will be expected to participate in class discussions about the films and topics presented in each film. Class participation will be a significant part of students’ grade.				
Course Goals	A: To provide a general introduction to Japanese live-action cinema B: To watch, and discuss in depth, six Japanese films in topic areas E: To explore and expand individual knowledge of and interest in Japanese cinema				
Course Plan					
Class	Content			Outside of Class Assignments	
1	IntroductionsJapanese Dramas: <i>Nodame Cantabile: Episode 1</i> (2009)			Email information for Dropbox Read: “Bushido” (4 hrs)	
2	“Jidaigeki”: <i>Bushi no Ichibun</i> (2006)			Read: “Hagakure” (4 hrs)	
3	“Jidaigeki”: <i>Bushi no Ichibun</i> (2006)			<i>Bushi no Ichibun</i> response essay and wkst. Read: “Intimacy for Sale” (4 hrs)	
4	Documentary: <i>The Great Happiness Space</i> (2006) <i>Bushi no Ichibun</i> response essay and wkst. DUE			Watch: Vice Japan’s “King of Hosts” & “A Day In the Life: High Class Hostess” (4 hrs)	
5	Documentary: <i>Tokyo Girls</i> (2000) Presentation group list & movie selection DUE			Read: “Commodified Romance” <i>GHS</i> , “King”, “Hostess”, <i>Tokyo Girls</i> response essay (4 hrs)	
6	Comedy: <i>Tanpopo</i> (1985) <i>GHS</i> , “King”, “Hostess”, <i>Tokyo Girls</i> response essay and wkst. DUE			Read: “Food, Play, Business, and the Image of Japan in Junzo Itami’s <i>Tanpopo</i> ” (4 hrs)	
7	Comedy: <i>Tanpopo</i> (1985)			<i>Tanpopo</i> response essay and wkst. Read: “Manga: Japan’s Favorite Entertainment Media” (4 hrs)	
8	Romance: <i>Kimi ni Todoke</i> (2010) <i>Tanpopo</i> response essay and wkst. DUE			Read: “Japanese High School System” (4 hrs)	
9	Romance: <i>Kimi ni Todoke</i> (2010)			<i>Kimi ni Todoke</i> response essay & wkst./Prepare for presentations (4 hrs)	
10	Early-out presentations <i>Kimi ni Todoke</i> response essay and wkst. DUE			Prepare for presentations (4 hrs)	
11	Early-out presentations			Read: “Criminal Justice in Japan” (4 hrs)	
12	Suspense: <i>Suspect X</i> (2009)			Read: “Women in the Workplace” (4 hrs)	
13	Suspense: <i>Suspect X</i> (2009)			Read: “Japanese Otaku Culture” <i>Suspect X</i> response essay/wkst. (4 hrs)	
14	Comedy: <i>Detroit Metal City</i> (2008) <i>Suspect X</i> response essay and wkst. DUE			Read: “The Otaku in Transition” (4 hrs)	
15	Comedy: <i>Detroit Metal City</i> (2008)			DMC response essay and wkst. (4 hrs)	

Evaluation		Value (%)	Evaluation		Value (%)
Exam (Midterm•Final)／Final Report			Class attitude (attendance)		10
Final Report			Class participation		
Quizzes			Other ①(response essays)		30
Assignments		20	Other ②()		
Presentation		40	Other ③()		
Textbook	None. A variety of set readings from essays and articles in English on Japanese film and culture will be assigned.				
References	none				
Related Courses	none				
Registration Notes	Students must attend at least two thirds of semester classes and must attend the first class. An absence is an absence, no excuses. Being late will result in half attendance points. Being 20 or more minutes late to one class will equal one absence. 15% will be deducted from late assignments. An ability to understand and participate in discussions at native-level English is a requirement for this class.				
Contact / Office Hours		paul_gale928@hotmail.com			

Course Name	The Opening of Japan and the Great Hanshin Earthquake (1980s–1990s)			Class Section 3: Review class material & 1990s– The Lost 200 Years of Japan (Document 3) (4 hours)
Instructor	Kumar, Krishan (1990s and beyond) Burke–Gaffney, Brian	Language	English	Review class material for final exam & Video of the Aging population of Japan (4 hours)
15	Revision and Final Exam			Criterion-Referenced Evaluation
Evaluation		Value (%)	Evaluation	
Exam (Midterm•Final)/ Final Report		75	Class attitude (attendance)	
Ability to understand		Attitude and	Motivation	
Quizzes and work on the content		towards	Collaboration and	
Assignments ◎		the class	Class participation	
Presentation		Other ①()	leadership	
Registration		Other ②()	Effective communication skill	
Textbook		An ability to understand and participate in discussions at native-level English is a requirement for this class. (N/A) Materials will be supplied where and when required.		
References		This class will be capped at 40 students. There is a maximum of 10 spots for degree-seeking students. W.G. Beasley, “The Modern History of Japan” http://www.nfs.nias.ac.jp Shills under the old details of Japanese history of 1902010g Lane Eams and Brian Burke–Gaffney, Nagasaki Foreign Settlement Website a broad introduction some of the important aspects of Japanese history from the end of the Edo feudal period to the present day. The first (http://www.nfs.nias.ac.jp) will focus on the Meiji Era, different cultural issues of the time. The second portion will look at the various elements that contributed to the Pierre Loti, “Madame Chrysanthemum” ation of Japan and its imperialistic ambitions. This lead to World War II, the atomic bombings and the American occupation, all of which will (http://www.gutenberg.org/files/3995/3995-h/3995-h.htm) nined in detail. The final section of the course will focus on several important, cultural, economical, and influential events that occurred Brian Burke–Gaffney, “Hashima: The Ghost Island” e war, from the introduction of Godzilla in the 1950s to the terrorist attacks in Tokyo in the 1990s; this will be delivered via short lectures, (http://www.cabinetmagazine.org/issues/7/hashima.php) ntaries, news clips, readings and class discussions. Brian Burke–Gaffney, “The Life of Kuraba Tomisaburo” ents will be expected to prove that they read and understood the assigned reading materials. In addition, students must be attentive to (http://www.uwosh.edu/home_pages/faculty_staff/earns/tommy.html) s time lectures and activities.		
Related Courses		Overview of Japanese History B/A g class discussions and the exams, students will be challenged to interpret the basic concepts in light of their growing understanding of		
Registration Notes		Students must attend at least two thirds of semester classes and must attend the first class. An absence is an absence, no excuses. An ability to understand and participate in discussions at native-level English is a requirement for this class. Thus, discussions and class activities are essential in helping develop a more sophisticated understanding of Japanese history. Part of the proof missing 5 classes is tantamount to failure. understanding should be demonstrated in the execution of the examinations. Students will be expected to study for approximately 1–4 hours per week outside of class.		
Contact / Office Hours		Tiedemann, Mark: (Weeks 6–10) Office: 330 Office Hour: Monday 2 nd period E-mail: mdtiedemann@mac.com Kumar, Krishan (Weeks 11–15) Office: 337 Office Hour: Tuesday 2 nd period E-mail: kumar@tc.nagaskai-gaigo.ac.jp		
1	The Opening of Japan: Historical Background			Supplemental readings (4 hours)
2	The Nagasaki Foreign Settlement: People and Events			Supplemental readings (4 hours)
3	Nagasaki and the Modernization of Japan			Supplemental readings (4 hours)
4	Nagasaki in Art, Literature and Music			Supplemental readings (4 hours)
5	Militarization and the Decline of Nagasaki as an International Port			Supplemental readings (4 hours)
6	The Making of a Militarized Japan			“The Greater Asia Co-Prosperity Sphere” (4 hours)
7	World War II from the Japanese Perspective, Part I			“The Eagle Against the Sun” (4 hours)
8	World War II from the Japanese Perspective, Part I			“From Doolittle to Nagasaki: Japan Brought to Its Knees” (4 hours)
9	The War Comes Home: The Bombings of Japanese Cities, the Atomic Bombings, and the End of the War			“Bearing the Unbearable” (4 hours)
10	The Occupation of Japan			Class Section 3: Japanese Cinema: 1950s onwards reading (Document 1) (4 hours)
11	The entrance of Godzilla and Japanese Cinema I (1950s–1960s)			Class Section 3: Review class material & Watch 2 Documentary Videos on Life and culture in 1970s Japans (4 hours)
12	Japanese Cinema II and the start of Karaoke (1960s–1970s)			Class Section 3: Review class material & Banking Crisis in Japan (Document 2) and Articles about Kobe Earthquake (Reading 1 & 2) (4 hours)

Course Name	Nagasaki Fieldwork A			Course Numbering	300
Instructor	Himeno, Junuchi 姫野 順一	Language	English	Credit(s)	2
Criterion-Referenced Evaluation					
A		B	C	D	E
Ability to understand and work on the content		Logical comprehension, Issue solving ability	Attitude and motivation towards the class	Collaboration and leadership	Effective communication skill
○				○	◎
Registration Requirements	None				
Course Description	Students will learn about Nagasaki' s history and culture through examining historice sites in Nagasaki.				
Course Summary	This class will introduce the history of Nagasaki and its culture through lectures and visiting to historic sites. Another aspect of this class is focused to the atomic bomb and world heritage at Nagasaki. Students will learn about unique Nagasaki history and pecuripr experience of atmic bomb in Nagasaki through lectures and fieldtrips.				
Course Goals	A: Become acquainted with an academic approach to and understand the basic terms and concepts involved in the study of Japanese religion. Acquire knowledge about styles and concepts of aesthetics in Japanese religious traditions. Understand basic symbolism and iconography. Understand how cultural activities contribute to the formation of individual and society within the context of Japanese culture. Develop a cross-cultural and comparative understanding. D/E: Study in pairs or groups the differences in religious beliefs and their impact on culture				
Course Plan					
Class	Content			Outside of Class Assignments and Required Time	
1	Introduction / Summary of Nagasaki history, culture and rural life			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
2	Lecture on Portugal Trade and Christianity			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
3	Lecture: on Dejima (old Dutch factory) trade and Dutch Culture, Foreigh Settlement			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
4	Lecture: on China Town , China trade, China temple and their culture			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
5	Lecture: on world heritage of Christianity in Nagasaki			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
6	Lecture: on world heritage of industrial revolution in Nagasaki			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
7	Lecture: Experience of atmic bomb at Nagasaki Composing pares and gropes to visit sites and plan to examin			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
8	Fieldtrip with Junichi Himeno: Nagasaki History and Cultural Museum or Gunkanjima (ruin of coal mine)			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
9	Discussion of world heritage in Nagasaki at visiting site			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
10	Fieldtrip with Junichi Himeno: Memorial sites of atmic bomb or Memorial Museum of atomic bomb			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	
11	Discussion of international peace at visiting site			Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.	

12	Fieldtrip with Junich Himeno: 26-Martyr-Site (Admission 500 Yen) and Christian sites: Santo Domingo Church (archeological site),	Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.			
13	Fieldtrip with Junichi Himeno: China temple (Sofukuji: Admission 200 Yen)	Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.			
14	Fieldtrip with Junichi Himeno: Old Foreign settlement and Dejima, and/or Oura Church (Admissin 300 Yen)	Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.			
15	Final discussion at visiting site	Study the assigned materials as announced in our first class, calculate a minimum of 4 hours studying time per class.			
Evaluation		Value (%)	Evaluation		Value (%)
Exam (Midterm・Final)			Class attitude		
Final Report		50	Class participation		50
Quizzes			Other ①()		
Assignments			Other ②()		
Presentation			Other ③()		
Textbook	none				
References	Nagasaki Interpreter Association, <i>Your Guide to Nagasaki, Saron Yururi</i> (500Yen) Your Complete Guide to Study in Nagasaki www.nagasaki-u.ac.jp/ryugaku/dlfiles/nagasaki-guide.pdf Nagasaki International Association, <i>A Guidebook for Living in Nagasaki Prefecture</i> www.nia.or.jp/english/gaikoku/img/eseikatsu.pdf The History of Christianity in Nagasaki https://www.pref.nagasaki.jp/s_isan/en/outline/02.html Nagasaki City-Peace & Atomic Bomb http://nagasakipeace.jp/index_e.html				
Related Courses	Overview of Japanese History B/A				
Registration Notes	The course schedule will be determined at a later date.				
Contact / Office Hours	Himeno, Junuchi	Office:336	Office hour: Thu. 10:30-12:00	E-mail: himeno@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp	

Course Name	Teaching English as a Foreign Language (TEFL)			Course Numbering	300
Instructor	Kumar, Krishan	Language	English	Credit(s)	2
Criterion-Referenced Evaluation					
A		B		C	
Ability to understand and work on the content		Logical comprehension, Issue solving ability		Attitude and motivation towards the class	
○				◎	
Registration Requirements	(Maximum 15 participants)				
Course Description	This course aims to help students to gain TEFL experience through learning English education.				
Course Summary	This module aims to have students gain a basic introduction to the world of TEFL, and experience planning, designing and teaching a lesson. It will introduce students to the key principles of TEFL. It is a great introductory course for those considering a future job in EFL, as many of the topics covered in this module are present in many professional TEFL/TESOL teaching certificates.				
Course Goals	To introduce students to the world of TEFL/TEAL/TESL/TESOL. Introduce them to a number of the core principles of EFL. To give them an insight into teaching English via a 1-to-1 learner profile as well as a small classroom teaching practice. Learner Profile (LP) – This requires choosing a learner of English within the University for 1-to-1 teaching. You are required to perform a needs analysis and give them two short personalised lessons (recorded) followed by a project describing your learner and devising a possible syllabus for them. Teaching Practice (TP) – This requires using the knowledge acquired from the course as well as your own self study to plan and implement a live lesson (30 minutes) to a group of students. Whilst implementing your lesson, your classmates will evaluate your performance and provide you with feedback for you to consider when teaching in the future. A: This course is very intensive and requires a great deal of out of class work/reading/research and preparation. How you adapt the learnt material to your project and teaching is one of the principal components of this module. C: A teacher’s job is to motivate his/her students to learn. Therefore, your attitude and motivation are an important element within the LP and TP. E: Some of the best ideas and plans fail because of inconsistent or ineffective communication. In order to teach you need to communicate and do so effectively.				
Course Plan					
Class	Content			Outside of Class Assignments and Required Time	
1	Introduction to the module and TEFL; English as a global language			Review class material; research some teaching methods/approaches for next week’s class (4 hours)	
2	Introduction to teaching methodology and approaches in TEFL			Review material and comprise your own notes (4 hours)	
3	English Grammar and Phonology (BrE & AmE differences)			Continue researching grammar not covered in class as preparation for your LP and TP (4 hours)	
4	Receptive and productive skills: the 4 skills			Think about, research and make notes on how you would teach one of the 4 skills (4 hours)	
5	Introduction to material design and development			Practice making a material (s) for your future LP/TP (4 hours)	
6	Needs Analysis, and course and syllabus design (Learner Profile introduction)			Review all current class material in preparation for the LP (4 hours)	
7	Introduction to English for Academic Purposes (EAP)/Specific Purposes (ESP)			Review class material: teaching practice preparation beings (4 hours)	

8	Introduction to Testing and Assessment in ELT	Review class material: teaching practice preparation beings (4 hours)		
9	Introductio	Lesson Preparation and final preparation for Teaching Practice (TP)		
10	Lesson Preparation and final preparation for Teaching Practice (TP)	Final preparation for TP (4 hours) (Send copy of your lesson plan and materials to instructor at least 24 hours BEFORE your TP session)		
11	Teaching Practice (TP1) and peer evaluation	Write up peer evaluation notes and consult with classmates		
12	Teaching Practice (TP2) and peer evaluation	Write up peer evaluation notes and consult with classmates; Continue working on LP (4 hours)		
13	Teaching Practice (TP4) and peer evaluation	Write up peer evaluation notes and consult with classmates; Continue working on LP (4 hours)		
14	Teaching Practice (TP5) and peer evaluation	Write up peer evaluation notes and consult with classmates; Prepare for short discussion about everyone’s TP lesson (4 hours)		
15	Peer Review and evaluation	Review all work; Finish and organise your LP; Submit LP both via electronic and hard copy. (4 hours)		
Evaluation		Value (%)	Evaluation	Value (%)
Exam (Midterm•Final)			Class attitude	
Final Report			Class participation	15
Quizzes			Other ① (Leamer Profile 30 + Reflection 15)	45
Assignments			Other ② (Teaching Practice 40 + Reflection 15)	55
Presentation			Other ③ ()	
Textbook	N/A; materials will be distributed when and where required (Books about teaching English can be found in the library for reference)			
References	Introduced as necessary			
Related Courses	None			
Registration Notes	– Due to the course structure and assessment requirements, only full term and academic year students may register. Maximum of 15 students. – This module requires committed students and full attendance is highly recommended. – Due to severe time constraints failure to attend your scheduled TP session will result in module failure. – Missing lessons is unadvised but occasionally unavoidable. However, missing 3 consecutive lessons may be deemed as course withdrawal and thus failure. Missing 5 lessons is tantamount to automatic module failure. (NOTE 1: Students will be expected to study for approximately 1–4 hours per week outside of class.) (NOTE 2: Students who have already completed, or in the process of studying for the Trinity Cert.TESOL, CELTA or related course may not find this course beneficial as they would have already covered several sections of the material found in this module) (NOTE 3: This is an introductory course and thus does not lead to TEFL certification. However, it aims to provide a foundation that acts as preparation for future certificate candidates)			
Contact / Office Hours	Office hours: Tuesday 2nd period	Office: 337	E-mail Address: kumar@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp	